網膜出血ヲ證明セバ診斷上大ナル意義ヲ有ス。

療法　腰椎穿刺ヲ反復シテ比較的大ナル液量(五〇—一〇〇—一五〇立方仙迷)ヲ排泄セシムルハ大ニ效ヲ奏スルコトアリ、此穿刺ト共ニ「グラチン」、(メルク會社製)ノ皮下注入ヲ行フヲ宜シトス。此處置ノ外原因ニ對シテ戰フ可キハ勿論ナリ。

七　「メニンギスムス」Meningismus, Hydrocephaloid

腦膜炎性變化ノ捉フ可キナクシテ而カモ腦膜炎ニ類似ノ病像ヲ呈スルコトアリ、殊ニ小兒ニ於テ多シ。之ヲ名ケテ「メニンギスムス」ト云フ。乳兒ニ於テハ消化不良ノ場合ニ於テ所謂中毒症ナル症候群ノ一部トシテ現ハレ、又其他ノ熱性疾患ニ於テ之レヲ見ル、稍〻長ジタル小兒ニ於テハ熱射病ノ一顯現型トテ來ル。

此等ノ狀態ニ於テハ爾餘ノ症ハ腦膜炎ニ類スルモ、顱門ノ膨隆其他ノ腦壓症候ヲ缺クニヨリ容易ニ眞正ノ腦膜炎ヨリ區別シ得可シ、加之「メニンギスムス」ニアリテハ顱門ハ却テ陷凹スルコト多シ。

療法ハ原因ニヨリテ之ヲ決ス可シ。

第二　慢性腦水腫 Hydrocephalus chronicus internus

頭腔內ニ多量ノ非炎性體液ノ瀦溜スル狀態ヲ名ケテ慢性腦水腫ト云フ。此狀態ヲ將來スル原因ハ頗ル多シト雖ドモ、結果トシテ現ハルル臨牀的病像ハ極メテ近似シ、殆ンド原因的診斷ヲ下スヲ能クセシメザルニ至ル。故ニ今暫ク茲ニ其臨牀的病像ヲ一括シテ單ニ之ヲ慢性腦水腫ノ名ヲ以テ命ズ。

體液ノ蝟集スル場所ニヨリ腦水腫ヲ分ツテ二トナス。一ハ外腦水腫 Hydrocephalus externus ニシテ、液ノ專ラ軟硬兩腦膜ノ間腔ニ蝟集スル場合ヲ稱ス。甚稀有ニ屬シ多クハ出血性硬腦膜炎ノ結果ナリ。又腦質ノ萎縮ノ爲頭腔容積ト內容トノ間ニ於ケル炎衝ヲ來ストキハ之ヲ眞空ニ因スル腦水腫 Hydrocephalus e vacuo ト名ク。此一種ニシテ腦ノ兩半球菲薄ナル膜囊トナルコトアリ、之ヲ水腫無腦 Hydranencephalie ト云フ。極メテ稀有ナル畸形ノ一ナリ。以上ノモノニ反シテ、體液腦室ニ蝟集シ、其擴大ヲ將來スルモノヲ內性腦水腫 Hydrocephalus internus ト謂フ。此第二ノモノハ吾人ノ極メテ屢〻遭遇スル處ニシテ、臨牀上重要ナルモノナレバ、以下專ラ之ニ就キテ記述セン、而シテ單ニ腦水腫ト呼ブ時ニアリテハ多クハ此後者ヲ意義ス。

外腦水腫
- 眞空ニ因スル腦水腫
- 水腫無腦

內性腦水腫
- 後天性
- 二次性又ハ鬱積性腦水腫

原因　其發現ニヨリ後天性及先天性ノ二種ニ分ツ。後天性ノモノニアリテハ腦膜球菌腦膜炎ノ結果トシテ來ルモノ最多ク、漿液性腦膜炎ニモ此症ヲ殘スモノナキニアラズ。又腦腫瘍ノ爲ニ所謂二次性又ハ鬱積性腦水腫 sog. secundäre oder Stauungshydrocephalus ヲ來ス。先天性素因ニヨルモノハ多クハ兩親ノ飲酒、血族結婚等其原因ヲナスガ如シ。先天性ト後天性トニ論ナク遺傳黴毒ト密接ナル關係ヲ見ルコト尠カラザルハ

人ノ普ク知ル處ナリ。又佝僂病ニ於テモ此症ノ合併ヲ見ルコトアルガ如シ。

液ノ蝟集ヲ來ス原因ハ其流出ヲ妨グルニアルモノノ如クシルヰ氏水導管、マゲンヂ氏孔又ハモンロ氏孔ノ閉鎖ニ因ルガ如シ、又腦腫瘍ノ場合ニハガレン氏大靜脈ノ壓迫モ腦液鬱積ノ原因ヲナスモノナラン。然レドモ多クノ場合ニ於テハ其集積ノ原因ノ果シテ液ノ分泌過多ニアリヤ、將又吸收ノ困難ニアリヤハ全ク不明ニシテ、其疾病ノ所在ニ關シテモ脈絡膜血管ナルカ將腦室被膜ナルカ亦是今日未定ノ問題ナリ。

臨牀的病像　最幼兒卽顱門閉鎖前ニ發スルモノト然ラザルモノトニヨリ其病像ニ多少ノ相違アリ。

二年未滿ノモノ

二年未滿ニ現ハルモノニアリテハ頭蓋著シク大ニ顏面之ニ比シテ甚シク小ニシテ、兩者ノ調和ヲ缺クハ一見極メテ特有ナリ。頭圍往々ニシテ胸圍ヲ凌駕シ、甚シキハ六七十仙迷ニ達ス。頭髮ハ菲薄ニシテ、頭部皮下ニハ青色ヲ呈スル靜脈ノ蜒々蛇行スルヲ透見セシム殊ニ號泣時ニ於テ著明ナリ。顏面ハ多クハ纖小ニシテ優麗愛ス可ク、額部徒ニ廣ク頤ニ向ツテ狹ク倒逆三角形ヲ呈シ、膨大セル頭部ト共ニ恰モ楞梓形(マルガロ)ヲ呈ス(大文字屋又ハ福助)。頭部ハ橫ニ大ナルノミナラズ高又大ニ、鼻根ヨリ毛際ニ至ル長ハ略、鼻根ヨリ頤ニ至ルニ等シ。鼻根モ既ニ廣ク、兩眼ハ爲メニ遠ク相離レテ存ス。耳又側下方ニ偏シテ頭部ト斜位ニ存シ、外聽道ハ時ニ水平ニ扁平トナル。眼球ハ互ニ輳合シ且ツ下轉シ、瞳孔ハ爲ニ一部下眼瞼ニヨリテ覆ハルルニ至ル。而シテ鞏膜ハ大部分上眼瞼ト虹彩トノ間ニ露出シテ、白ク光澤ヲ放ツ。瞳孔ハ多クハ散大スルヲ常トシ時ニ左右大ヲ異ニスルコトアリ、光線反應往々ニシテ鈍シ。又眼球運動ニ於テハ水平震盪ヲ呈ス。頭部ヲ觸診スレバ顏門ノ極度ニ散開スルヲ觸ル可ク、時ニハ軟性彈性ニ隆起ス、骨縫合部ハ開散シテ溝ヲ作ルモノアリ。頭蓋ノ形狀ハ始メ多クハ球形ナルモ漸次顱頂部及顳顬部ニ於テ側方ニ突出シテ楞梓形ヲ呈スルニ至ル、而シテ前頭部モ突隆シ、後頭骨鱗狀部ハ遂ニ水平ノ位置ヲトルニ至ル。頭蓋骨ハ一般ニ菲薄トナリ往々ニシテ張子細工ノ如ク之ヲ壓凹シ得ルモノアリ。

反射

反射、殊ニ脚部ノ反射ハ亢進ヲ示シ、上肢ニ於テハ失節及震顫ヲ見其興奮時ニ於テ殊ニ著明ナリ。又時ニハ一種ノ常同的姿勢ヲ取ルモノアリ。腦膜炎ニ續發セルモノニアリテハ項强直ヲ持續スルコト稀ナラズ。又內轉筋ノ攣性ノ爲メニ兩脚ノ交叉ヲ見ルコト少カラズ。急痼性痙攣發作ハ必ズシモ之ヲ來スモノニアラザルモ幼兒ニ於テハ往々之ヲ見ル。

精神的發育

患兒ハ多クハ人ヲ恐レズ、好ンデ人ノ愛寵スルヲ待ツ。然レドモ一旦興奮スルヤ啼泣甚シク、四肢ノ失節的運動ヲ以テ頻ニ椀クヲ見ル。精神的ニハ輕度ノモノニアリテハ何等ノ障碍ヲ蒙ラザルモノアリ、稀ニハ却テ其發育ノ極メテ佳良ナルモノアリ。然レドモ多クハ多少ノ薄弱ヲ呈シ、白痴又ハ痴愚ノ部類ニ入ル可キヲ常トス。殊ニ言語、步行等ノ著シク後ルルヲ通則トス。步行ノ難澁攣性ハ最屢見ルモノナリ。

身體的發育

身體的發育ハ母乳兒ニアリテハ往々ニシテ極メテ佳良ナルコトアリ、然レドモ一般ニ殊ニ人工營養ヲ受クル者ニアリテハ營養不良ナルモノ多シ。嘔吐ノ來ルコト往々ニシテ時ニハ週期的ニ之ヲ反復スルコトアリ、齒牙發生モ遲滯スルコト通常ナリ。

顱門閉鎖後ノ小兒

以上ハ主トシテ顱門鎖閉前ノ小兒ニ來ル病像ナルモ、稍〻長ジテ顱門ハ全ク閉鎖シ了セルモノニ於テハ其病像ニ多少ノ差異ヲ來ス。蓋シ此場合ニアリテハ頭部ノ異常擴大ニ對シテ、非常ノ抵抗ノ存ス可キハ理ノ見易キ處ニシテ、從テ茲ニアリテハ腦壓迫ノ症狀甚劇ニシテ病像中最著明ナルモノトナル。然レドモ頭部擴大ハ茲ニアリテモ比較的迅速ニ進ムモノニシテ、本病診斷上ニハ缺ク可カラザルノ一徵ナリ。其他症候中重視ス可キモノハ歩行及視官ノ障碍ナリ。脚部ニハ强キ攣性ヲ來シ、膝蓋腱及アキレス腱反射ハ極度ニ亢進シ。時ニハリットル氏病ノ典型的病像ヲ呈スルニ至ルモノアリ。視神經萎縮ハ甚ダ屢〻見ル處ニシテ兩外側半盲症ヲ來シ、往往ニシテ急速ナル失明ニ陷ルコトアリ。發作性ニ來ル劇頭痛、眩暈、嘔吐、耳鳴等ヲ訴フルモノ多シ。又種々ノ腦神經麻痺ヲ來ス。又震顫及小腦性失節ヲ主徵トシテ現ハルル

歩行及視官ノ障碍

第七十六圖

腦水腫（自家所見）

病像アリ。又時々意識ノ茫然、不分明等ヲ來ス事アリ、一言ニシテ之ヲ蔽ハバ腦腫瘍ノ病像ヲ呈ス。又或場合ニハ癲癇樣發作ノ反復ヲ以テ漸次精神薄弱ニ陷ルモノアリ。

慢性腦水腫ニアリテハ何レノ場合ニ於テモ腦脊髓液ノ檢査ヲ怠ル可カラズ、嘗ニ診斷上必要ナルノミナラズ、治療上重要ナル意義ヲ有スレバナリ。液ハ清澄ニシテ、時ニハ綠色乃至黃色ノ著彩アルコトアルモ多クハ無色透明ナリ。蛋白含量小ニシテ一‰以下ナルヲ常トス、有形成分亦僅微ナリ。液ハ脊柱管又ハ腦室ノ穿刺ニヨリテ之ヲ得可シ。腰椎穿刺ニ於テハ其壓高ク、二〇・〇密迷水銀壓以上ナルコト多シ、然レドモ是脊柱脈絡膜下腔ト腦室トノ交通保有セラルル場合ニシテ、其然ラザル場合ニ於テハ液ノ流出量少ナリ、壓亦高カラズ、其流出ニヨリテ顱門緊張ノ影響セラルルコトナシ。液ハ一回ニ二五〇立方仙迷以上ニ及ブ多量ヲ流出セシメ得ベク、其再ビ集積スルコト亦迅速ナルモノナリ。

診斷　成立シ了セル腦水腫ハ之ヲ誤診スルコトナキモ、將ニ始マラントスルモノニアリテハ稍〻困難ナリ。診察ニ際シテハ常ニ兩親ノ頭形ヲ參考シ遺傳的大頭トノ誤診ヲ避クルニ力ム可シ。早產ニヨリテ生レタル小兒ハ腦水腫ナクシテ之ニ類スル症狀ヲ來スコト稀ナラザルヲ以テ注意ヲ要ス。早期症候中注意ス可キモノハ上述セルガ如キ特異ナル眼球ノ方向及ビ腱反射亢進ナリ。

舟狀頭蓋

徵毒性腦水腫ニアリテハ頭蓋ノ擴大ハ一程度ニ止マルヲ通常トシ多クハ舟狀頭蓋

鑑別診斷　腦腫瘍

鑑別ヲ要スルモノ次ノ如シ。

(一)腦腫瘍　殊ニ蠻積性腦水腫ヲ合併シテ來ル腦腫瘍ニアリテハ鑑別困難ナリ、腦腫瘍ニアリテハ一般ニ局竈症候著明ナリ、從テ一年未滿ノモノニ於テ視神經炎又ハ視神經萎縮ノ伴フ場合ニハ寧腦腫瘍ノ診斷ヲ下スヲ至當トス。

(二)佝僂病ノ頭蓋畸形　佝僂病性腦水腫

(二)佝僂病ノ頭蓋畸形ハ多クハ四角形ニ近ク、頭蓋骨ニ骨膜增殖アリ、頭蓋ノ擴大モ甚シカラズ、顱門ニ緊張ヲ呈セズ、且爾餘ノ神經症候ヲ呈スルコト尠シ。眞正ノ佝僂病性腦水腫 Hydrocephalus rachiticus ト稱シテ可ナルモノモアルガ如シ、其症狀ハ一般ニ輕度ナルヲ通則トス。

豫後　一般ニ云ハバ其豫後ニ光明ヲ認ム可カラズ、一程度ニ停止スルコトアラバ幸トセザル可カラズ。黴毒性ノモノ及腦膜炎ニ續發セルモノニアリテ治癒ノ例モ絕無ト謂フニハアラズ。常ニ頭圍ノ測量ニヨリテ病勢ノ進否ヲ注意スルヲ要ス。死ハ多ク偶發症ニヨリテ將來セラル例ヘバ褥瘡ヨリ發スル蜂窩織炎又ハ營養障碍ノ如キ是ナリ。時ニハ又外科的手術ノ爲ニ倒ルルコトアリ、愼マザル可カラズ。

療法　黴毒的原因ノ確證アルト否トニ關セズ驅黴療法ヲ試ミルヲ可トス。水銀塗擦及沃度加里內服ヲ宜トス。「サルヴァルサン」ハ今日尙經驗少ナキモ時ニ不幸ノ結果ヲ見ルコトアルガ如シ。腰椎穿刺亦必要ナリトス、殊ニ腦膜炎後ノモノニ於テ然リ、通常二三週ニ一回之ヲ反復シ、一回二〇乃至五〇立方仙迷ノ液ヲ流出セシム。腦室穿刺ハ顱門ノ開放スルモノニアリテハ容易ニ之ヲ行フヲ得可シ、而シテ腦室穿刺ハ腰椎穿刺ニヨリテ效ヲ收ムル能ハザルモノニ於テ殊ニ必要ナリ。外科的手術ハ種々ノ考案アルモ奏效甚疑ハシ。要スルニ疾病ノ甚シク進行セルモノニハ諸多ノ技巧ヲ加ヘザルヲ以テ寧ロ人道ニ稱フトス可シ、蓋シ一旦失ハレタル腦機能ヲ挽回センコトハ到底不可能ナレバナリ。

此他營養ニ注意シ其看護ヲ怠ル可カラズ、殊ニ頭部ニ褥瘡ノ生ゼザル樣注意ス可シ。治癒的轉歸ヲ取レルモノニハ按摩及溫浴等ニヨリ四肢ノ運動ヲ促進スルニ力ム。精神薄弱ニ對シテハ治療的敎育ノ法ヲ講ズ。

第三　急性(出血性)腦髓炎 Encephalitis acuta (haemorrhagica)

續發性腦髓炎

急性腦髓炎ハ好ンデ幼兒ヲ襲フ疾患ニシテ、主トシテ灰白質ヲ侵ス炎性機轉ナリ。

原因　(一)續發性腦髓炎ハ傳染病ニ引キ續キテ現ハルルモノナリ、殊ニ屢其原因トナルモノハ百日咳、猩紅熱、「インフルエンザ」、「デフテリア」等ニシテ、稀ニハ肺炎、「チフス」、脊髓膜炎、頭部丹毒等ニモ之ヲ見ルコトアリ。此等腦髓炎ノ一部ハ其病原生物ノ直接的侵害ニヨルコトアルモ、一部ハ恐ラク毒素ノ作用ニヨルモノナル可シ。

原發性腦髓炎

(二)原發性腦髓炎(ストリュンペル氏)ハ彼ノハイネ＝メヂン氏病ト稱セル急性脊髓角炎ト結合シテ來ル腦質ノ炎症ナリ。從テ散發性ニ來ルコトアルモ、多クハ流行性ニ現ハル。

第七十七圖

腦髓炎　(自家所見)

證候及經過　腦髓炎ノ起ルヤ多クハ急性ニシテ高熱、痙攣及意識混濁ヲ以テ始マル。痙攣ハ或ハ急癇性發作ヲ以テ來ルコトアリ、或ハ强直性伸展攣縮ヲ以テ現ハルルコトアリ。時ニハ聲門痙攣ヲ伴フコトアリ。又ハ項部强直ヲ證スルコトアリ。初期ニ於テハ通常深キ嗜眠ヲ見ル。脈搏ハ頻數シ、吸收ハ通常シェーヌ＝ストークス氏式ヲ取ル。眼球ハ常ニ一側ニ偏倚シテ且ツ上竄ス、卽チ其病竈ヲ諦視スルノ位置ヲ取ル。幼兒ニ於テモ顏門ノ緊張ヲ來スコトナシ、此一事ハ腦膜炎トノ鑑別ニ關シテ大ニ重要ナルコトナリトス。病勢猛惡ナル場合ニハ上記ノ狀態ヨリ直ニ死ニ歸スルコトナキニアラザルモ、通常ハ數日乃至數週ニシテ比較的迅速ナル解熱ヲ來シ患兒ハ漸次恢復シテ後ニ一定ノ局竈證候ヲ殘ス。此殘留證候ハ、一括シテ後章腦性小兒麻痺ノ條下ニ之ヲ詳述ス可シ。唯解熱ト共ニ先ヅ注意ス可キモノハ四肢ノ震顫、失節或ハ不全麻痺、又ハ顏面神經ノ麻痺、及失語症ナリ。

診斷　急性出血性腦髓炎ノ診斷ヲ下スニハ須ラク極メテ愼重ナルヲ要ス。唯僅ニ發熱ヲ以テ起リ、比較的急速ナル腦局竈症候ヲ來ス場合ニ於テ本病ニ疑ヲ存スルヲ至當トス。

腦血管栓塞トノ鑑別

(一)腦血管栓塞トノ區別ハ上記ノ理由ニヨリ往々ニシテ全ク不可能ナルコトアリ、然レドモ此ニアリテハ高熱ヲ伴フコトナキニヨリテ之ヲ區別ス可シ。

腦膜炎トノ鑑別

(二)腦膜炎ニ對シテハ顏門緊張ノ缺如ニヨリテ之ヲ別ツ。腰椎穿刺ニヨリ腦脊髓液ヲ取リテ檢スレバ、腦髓炎ニアリテハ腦膜炎ノ場合ノ如ク炎症性ヲ呈スルコトナシ、又腦膜炎ニ於テハ局竈症狀腦髓炎ニ於ケルガ如ク著明ナラズ。

腦腫瘍トノ鑑別

(三)腦腫瘍ニ於テハ鬱血乳頭ヲ證明ス。

腦黴毒トノ鑑別

(四)腦黴毒ニ向テハ瞳孔障碍ヲ注意シ、ワッセルマン氏反應ニヨリテ斷定ス。

豫後　本病ノ豫後ハ重大ナリ。假ニ能ク其急性時期ニ堪ヘ得タリトスルモ、種々ノ神經性障碍ノ他ニ、精神發育ヲ害シ爲ニ白癡ニ陷ラシメ、又ハ癲癇性疾患ヲ殘留ス。

療法　安靜ヲ以テ主要且必須ト爲ス。頭部ニハ冷却裝置ヲ施シテ極力冷却ニ努ム。疾病ノ開始時ニアリテハ甘汞ノ連用ニヨリ腸方面ニ向テ誘導ヲ試ミル可シ。其他頭部殊ニ罹患側ニ水蛭ヲ應用シテ血液除去ヲ行フ。高熱ニ對シテハ水治的ニ解熱ヲ計ル

ヲ可トスルモ、止ムヲ得ザルニ於テハ「アスピリン」、「キニン」、「アンチピリン」等ノ注腸ヲ行フ。劇シク且ツ持續スル搐搦ニ對シテハ抱水「クロラール」又ハ「ブローム」劑ヲ用フ。腰椎穿刺ハ診斷上ニハ必要ナルモ治療上ニハ效果ヲ見ズ、只顱門緊張ノ甚シキニ方リテハ之ヲ反復シテ可ナリ。黴毒ノ疑ヲ存スル場合ニハ水銀塗擦及「ヨード」內服ヲ試ム可キハ勿論ナリ。其他一般的ニハ營養ニ注意シ、食事ヲ數回ニ分配シテ與フルヲ良トス。續發狀態ニ關シテハ腦性小兒麻痺ノ條下ニ讓ル。

急性症候

第四　腦膿瘍(化膿性腦髓炎) Hirnabszess (Encephalitis purulenta)

腦膿瘍ハ腦質一部ノ局限セル化膿性融解ニシテ、幼兒ニ於テモ之ヲ見ルコト決シテ稀ナラズ。常ニ傳染性根基ニ其原ヲ存スルモノニシテ、連鎖狀、葡萄狀、肺炎及腦膜球菌等皆其病原タリ得ルモノナリ。外傷ニヨリテ誘發セラルルコトアリ、又特ニ小兒ニ於テ重要ナルハ慢性耳疾患ニ續發スルモノナリトス、殊ニ乳嘴突起ノ疾患ヨリ轉移スルコト多シ。急性症候ノ現ハルル前數週乃至月餘ニ亙ル潛伏期ヲ存スルコト稀ナラズ。急性症候ハ可ナリ急突ニ來ルモノニシテ劇頭痛、嘔吐、神識障碍ヲ以テ主要ナルモノトナス。頭部ノ輕打ニヨリテ局限セル疼痛部ヲ發見スレバ、是レ多ク其罹患部位ヲ示スモノナリ。發熱ハ急性時期ニモ之ヲ見ザルコトアリ、脈搏ハ通常著明ニ遲徐トナル。此一般症狀ニ伴フニ局竈症狀ヲ呈ス、其確定ハ處置上ニ重要ナル意義ヲ有ス可キハ勿論ナリ。又病竈自身ニ因スル局所症候ノ外ニ之ヨリ起ル壓迫ノ爲ニ種々ノ遠達作用モ亦考ヘザル可カラズ。

局竈症狀

鑑別診斷

診斷ハ甚ダ困難ナリ。腦膜炎ニ對シテハ腰椎穿刺ニヨリテ之ヲ區別ス可シ、腦腫瘍トノ鑑別ニハ其ノ原因的要素ヲ參照スルヲ要ス。又腦穿刺Hirnpunktion(ナイッセル Neisser氏)ニヨリテ確斷ヲ下シ得ル場合尠カラズ。進ンデハ外科的手術ニヨリテ穿顱ヲ行フノ要アル可シ、穿顱術ハ診斷上ノ利益ノミナラズ、之ニヨリテ疾病ノ治癒ヲ得ルコト甚多シ。

第五　腦腫瘍 Tumor cerebri (Hirngeschwulst)

小兒ニ於テモ腦腫瘍ハ可ナリ多キモノニシテ、初一二年ノ幼兒ニ於ケル觀察モ決シテ稀有ノコトニアラズ。最屢、見ラルルモノハ腦結核腫 Hirntuberkel ニシテ、好ンデ小腦ニ現ハル。次ニ多キモノハ膠組織腫 Gliom ナリ、此腫瘍ハ周圍ニ對シテ劃然タル境界ヲ造ルコトナク、廣汎性ニ大小種々ノ腦部分ヲ侵シ通常最モ屢、見ルハ橋部ニアリ。肉腫、粘液腫、血管腫ハ比較的稀ナリ。胞蟲囊腫ヲ見ルコトアリ、包蟲ハ又時ニ腦室中ニ浮游シテ存スルコトアリ。黴毒ノ護謨腫 Gummata 又看過ス可カラザルモノニ屬ス。此他腫瘍ノ部位腦實質ニ存セズシテ、腦膜又ハ頭蓋骨ニアル場合ニモ臨牀上ニハ殆ンド之

腦結核腫

膠組織腫

護謨腫

ト區別シ難シ。

臨牀的病像ハ略大人ト等シク、其症候ハ之ヲ二ニ分ツテ記スルヲ便トス可シ、一ハ腦壓上昇ノソレニシテ、他ハ局竈症候ナリ。

腦壓症候

腦壓症候ハ局竈症候ニ多少其先行シテ現ハルルヲ常則トシ、劇頭痛、腦性嘔吐、眩暈及精神的障碍ヨリ成ル。卽チ患兒ハ不機嫌トナリ、遊戲ヲ好マズ、精神感奮性ヲ失ヒ、貧眠的トナリ、遂ニハ著明ノ昏懵ヲ呈ス。此時期ニ於テハ診斷困難ニシテ往々腸胃障碍又ハ結核性腦膜炎ノ初期ト考ヘラルルモノナレドモ、時ニハ此時已ニ鬱血乳頭 Stauungspapille ヲ證明スルコト尠カラズ、此症候ハ腦腫瘍診斷上極メテ必要ナルハ論ヲ俟タズ。又全身搖搦モ此時期ニ見ラルルコトナキニアラズ。

鬱血乳頭

局竈症候

局竈症候ハ又更ニ之ヲ二組ニ分ツテ論ズ可シ、一ハ腦質ノ破壞ニヨリテ來ル陷缺症候 Ausfallserscheinungen ニシテ、他ハ腫瘍ノ壓迫ニヨリテ來ル近接組織ニ於ケル遠達作用 Fernwirkungen ナリ。此等局竈症候ノ部位診斷ハ玆ニ之ヲ略ス。

陷缺症候

遠達作用

本病ノ經過ハ其腫瘍ノ種類ニヨリテ異ナリ、黴毒、包蟲又ハ結核ニ因ルモノハ時ニ全治スルコトアリ、然レドモ結核腫ニアリテハ通常腦膜炎又ハ粟粒結核ノ爲ニ死ス。後頭蓋窩ニ生ズル腫瘍ニアリテハ極メテ急突ナル死ヲ來スコトアリ、殊ニ腰椎穿刺ニ引キ續キテ此不幸ヲ見ルコト少カラズ、腰椎穿刺ハ腦腫瘍ノ診斷上重要ナル意義ヲ有スルモ、之ヲ行フニハ愼重ナル注意ヲ要ス。穿刺液ハ高壓ニ存スルモ、他ノ性狀ニ於テハ尋常ナレバ、之ニヨリテ腦膜炎ト區別スルヲ得可シ。腦質炎及慢性腦水腫トハ經過ニヨリテ區別ス可キノミ、卽チ急劇ナル發生、持久性又ハ退行性經過ハ腦腫瘍ヲ除外シテ可ナリ。

療法ハ唯對症的ニ之ヲ施ス可キノミ。外科手術的ニ腫瘍ヲ除去センコトハ小兒ニ於テハ極メテ稀ニ成效ス可キノミ、極メテ危險多キモノト知ル可シ。ヨードカリウム療法ハ何レノ場合ニ於テモ之ヲ試ミルヲ可トス、黴毒ノ疑アルモノニハ强ク驅黴療法ヲ施ス可シ。

第六　腦性小兒麻痹 zerebrale Kinderlähmung (infantile Zerebrallähmung) 攣性小兒偏癱及兩癱 Hemiplegia et Diplegia spastica infantilis

偏癱型　截癱型

腦性小兒麻痹ハ最初時代又ハ出產前ニ於ケル腦被害ノ轉歸トシテ現ハルル麻痹狀態ヲ總括スルニ用ヰラルル、臨牀的概念ナリ。從テ其臨牀的病像ノ構成ニ對シテハ其腦被害ノ樣式方法ハ殆ンド關係ナキニ近ク寧ロ其被害部位ノ如何ノミ大ニ意義ヲ爲スモノナリ。而シテ其病像ニヨリ之ヲ偏癱型及截癱型ノ二ツニ分ツ。然レドモ兩者ハ又原因的ニモ將又豫後上ヨリモ互ニ分離シテ觀察スルヲ至當トス可キガ如シ。然レドモ兩者ノ間ニ漸次ノ移行ヲ認ム可キハ固ヨリ論無シ。

原因　本病ニ侵サルル小兒ハ多ク神經病又ハ精神病ノ存スル家族ニ於テ之ヲ見ル又親ノ結核及黴毒ヲ證明スルコト尠カラズ、父ノ酒客ナルモノ亦屢〻ナリ。卽チ本病ノ直接原因ヲ認メ得可キ場合ニアリテモ、諸種ノ侵害ニ對スル腦ノ抵抗ヲ減弱ス可キ種々ノ素地的因子ノ存スルモノト云フヲ得可シ。此他又數多同胞中ニテハ始メノ方ニ生レタルモノ又ハ終リノ方ニ生レタルモノヲ襲フコト多ク、中ニ生レタルモノニハ之ヲ見ルコト少シト云フ。

素地的因子

直接原因、外傷性及傳染性分娩外傷早產

直接原因ハ分ツテ二トナス可シ、一ハ外傷性ニシテ他ハ傳染性ナリ。分娩外傷ハ原因トナルコト多ク、殊ニ兩側麻痺 Diplegien ニ於テ然リ。早產亦重要ナル原因ト見做ス可キモノナレドモ、時ニハ此麻痺已ニ出產前ニ成立シ、爲ニ早產ヲ來スガ如キ場合ナキニアラザレバ之ニ關スル既往症ニ就キテハ大ニ注意スルヲ要ス、例ヘバ妊娠中ノ外傷(時ニ精神的外傷ナルコトモアリ)ノアリシ場合ニ於テ然リトス。傳染病ニテハ急性腦髓炎ヲ來スベキモノ卽チ百日咳、「ヂフテリア」、猩紅熱麻疹、「インフルエンザ」及其他ノモノ本病ヲ殘留スルコトアルハ已ニ述ベタル處ナリ。又急性腦灰白質炎 Poliencephalitis acuta (Strümpell) ハ急性脊髓前角炎ト同樣ニ獨立疾患トシテ來リ、本病ヲ殘留スルモノナリ。

之ヲ要スルニ、難產、分娩時假死及早產等ノ外傷性原因(sog. Littlesche Aetiologie)ハ主トシテ兩癱性腦性麻痺 (Diplegische Cerebrallähmung) ヲ來シ、生後ニ現ハルル傳染病的基礎ニ來ルモノハ多クハ偏癱性腦性麻痺ナリ。

一　小兒性變性偏癱 Hemiplegia spastica infantilis (halbseitige Zerebrallähmung der Kinder)

小兒性攣性偏癱ハ生後ニ成立スルコト多ク、脚ニ比シテ腕ヲ侵スコト强シ、而シテ發育障碍ヲ伴フコト多ク、癲癇ヲ續發スルコト屢〻ナリ、此等諸點ニ於テ兩癱ノ場合ト區別スルヲ得可シ。

本病ノ典型的經過ヲ取ルモノニアリテハ、已ニ急性腦髓炎ノ章下ニ記セルガ如ク、其急性熱性時期ニ次イデ偏癱性麻痺ヲ呈ス、殊ニ顏面部ニ於テ著明ナリ。麻痺ハ初メ弛緩的ナルモ漸次攣性ヲ帶シ來ル。而シテ此時ニ及ンデハ運動障碍ニ於テ本來ノ麻痺ハ却テ著明ナラズシテ、寧ロ諸筋ノ攣性亢進ノミ人ノ注意ヲ惹ク。麻痺ハ一般ニ殊ニ脚部ニ於テ漸次ニ多少輕快シ、腕ニ於テハ筋短縮 Kontraktur ヲ來ス。麻痺輕快ト共ニ往々ニシテ麻痺側半身ニ於テ舞蹈病樣 Choreatisch 又ハ「アテトーゼス」樣 athetotisch 自發運動ヲ現ハス。而シテ麻痺半身ハ通常發育ノ遲滯ヲ來ス。始メ往々ニシテ現ハレタ

第七十八圖
左半身不隨

ル失語症ハ後消失スルヲ常トス。精神的諸能ハ通常多少ノ侵害ヲ蒙ムルヲ免カレズ。癲癇ノ現ハルルハ數週乃至數月ノ後ニシテ漸次其度ヲ增劇ス。顔面神經麻痺ハ後ニ至リ一見消失セルガ如キ程度マデ輕快スルコトアルモ、病兒ノ將ニ笑ハントスルニ際シ又ハ泣キ出サントスルニアタリテ注意シテ其顔面ヲ觀察セバ明ニ尙一側麻痺ノ存スルヲ認メ得可シ。腦神經ニ於テハ舌下神經ノ侵サルルコト稀ナラズ、斜視及動眼神經麻痺ヲ來スコトハ異例ニ屬ス。瞳孔ノ反射的强直ハ其原因ノ微毒ニアルヲ示スモノトス。

第七十九圖

左顔面神經麻痺

四肢ニ就テ之ヲ見ルニ已ニ述ブル如ク下肢ニ比スレバ上肢ノ侵サルルコト强ク、殊ニ手ニ於テ甚シ。深部反射ノ亢進ハ最常存的ニシ且ツ最モ持續的ナル症候ニシテ、脚部麻痺ノ如キ僅ニ之ニヨリテノミ證明セラルル場合少カラズ。卽チ膝蓋腱反射ハ常ニ亢進スルモ、麻痺側ニ於テハ常ニ更ニ高シ。又麻痺側ニ於テハ其足蹠ヲ輕ク擦過スレバ其蹠趾ノ背屈ヲ見ル、卽

深部反射ノ亢進

チバビンスキ氏趾現象

四肢ノ剛固

チバビンスキ氏趾現象 Babinskisches Zehenphenomen 現出ス。四肢ノ剛固 Rigidität ハ本病ノ紀徵的症候ノ一ニシテ殊ニ上肢ニ於テハ屈筋及內轉筋、下肢ニアリテハ屈筋ニ於テ顯著ナリ。爲ニ屢〻短縮 Kontraktur ヲ來シ、脚ハ持續的ニ輕キ屈位ヲ取リ內方ニ捻轉シ足ハ尖足位 Spitzfussstellung ニアリ。上肢ニ於テハ肘關節ニテ直角ニ屈曲シ、前膊ハ內轉シ、手ハ種々ノ位置ニ固定セラル。此短縮ハ陳舊セルモノニアリテハ强力ヲ以テスルモ伸展スル能ハザルニ至ル。此持續攣拘 Dauerspasmen ト共ニ企動攣拘 Intentionsspasmen モ存シ、運動ニ際シテ四肢ノ攣性著明トナル。此攣拘ハ運動機能ヲ障碍スルコト寧ロ麻痺其者ヨリモ甚シキ場合少カラズ。要スルニ麻痺ト攣拘トハ其强ニ於テハ互ニ全ク無關係ナリ。麻痺ハ多クハ手ニ於テ、最モ强ク、剛固ハ脚及肩筋ニ於テ最著明ナリ。又往々ニシテ隨伴症候トシテ失節及企動震顫ヲ來スコトアリ。脚部ニ攣性固定ノ存スル爲其步行ハ極メテ特有ナル形式ヲ取ル。卽脚ハ直ニ前方ニ運バルルコトナク、股關節ニ於テ圓形ニ旋轉セラレ(旋轉牽動 Circumductio)足趾尖端ハ外方ニ彎曲セル弧ヲ描キテ前方ニ出デ後再ビ後方ニ少シク引退ス。又步行ノ際ニハ麻痺側脚ノ運動ト共ニ同側ノ上肢ニ於テ特有ナル共運動 Mitbewegung ノ現ハルルヲ見ル、卽チ其際上肢ハ肩胛部ヨリシテ翼狀ニ運動ス。又此共運動ハ健康側ノ運動ヲ仔細ニ眞似ルコトアリ、例ハ一手ヲ以テ算數運動ヲナサシムレバ、他手從テ又同一運動ヲ行フガ如キ是ナリ。又ハ半側「ヒョレア」Hemichorea 又ハ半側「アテトーゼス」Hemiathetosis トシテ麻痺側ノ

企動攣拘

旋轉牽動

半側「ヒョレア」及半側「アテトーゼス」

「アテトーゾス」樣散開位置

肢ニ一種ノ自發運動ヲ見ル。「ヒョレア」トハ全一肢又ハ肩部ニ於ケル突衝的ニ跳躍スル運動ニシテ、「アテトーゾス」トハ手指、稀ニハ足趾ノ開散、伸展、屈曲ヲ整律的ニ比較的徐々ニ反復スルヲ云フ。顏面部ニ此種ノ自動運動現ハルル時ハ顰蹙 Grimassieren ト云フ。「ヒョレア」及「アテトーゾス」ハ多クハ急性時期ヲ經過セル後一定時ヲ經テ發スルモノニシテ、麻痹ノ消散ト共ニ益〻著明トナルモノニシテ、自發運動是ガ爲メニ甚シク妨ゲラル。此自發運動ハ疾病ノ三分ノ一ニ於テ之ヲ見ル。又手ニ「アテトーゾス」樣散開位置 Athetoide Spreizstellung ヲ見ルコトアリ、此際ニハ指節ニ過度伸展ノ存スルヲ見ル。手ノ此ノ位置ハ「アテトーゾス」ト攣拘トノ中間狀態ト見做スヲ得可シ。麻痹肢ニ於テ營養障碍 trophische Störung ヲ見ルコト屢〻ナリ。

患兒ノ大半ハ後來癲癇發作ヲ反復スルヲ常則トシ、智能障碍ノ續發スルコト亦多ク、甚シキハ白痴ノ狀態ニ陷ルモノアリ。然レドモ時ニハ知能ノ殆ンド侵サレザルモノモナキニアラズ。然レドモ知能陷缺ヲ來サザルモ性格ノ變化ヲ來シ刺戟性トナリ忿怒又ハ暴行發作ヲ來スノ傾向ヲ免カレズ。

二　小兒性攣性兩癱 Diplegia spastica infantilis (小兒腦性兩癱 zerebrale Diplegien der Kinder) リツトル氏病 Littlesche Krankheit

腦性兩癱ニ於テハ麻痹ヨリモ寧ロ四肢ノ攣性強直著明ニシテ、上肢ニ比スレバ下肢ニ於テ侵サルルコト強キモノナリ。而シテ其原因ハ生前ニアルヲ常トシ、時ニ或ハ分娩時ノ故障ニ基クコトアリ。プロイド氏ハ此狀態ノ全身ニ亙ルモノト下肢ノミニ現ハルルモノトヲ區別シ前者ヲ全身強直 Allgemeine Starre 後者ヲ截癱性強直 paraplegische Starre ト名ヅケタリ。

全身強直及截癱性強直

全身強直ノハ難症ナルモノハ已ニ最幼乳兒ニ於テ著明ニシテ、其身體剛固シテ諸關節動カズ、恰モ一片ノ木材ノ觀アリ、爲ニ著衣ノ場合等ニ大ニ困難ヲ感ゼシム。輕度ノモノハ之ニ反シテ最幼時ニハ殆ンド人ノ注意ヲ惹カズ、其ノ始メテ歩スルニ至リテ漸ク周圍ノ怪ム處ト爲ル、卽チ患兒ハ歩行ヲ習得スルコト晩ク、或ハ遂ニ之ヲ能セズシテ終ル。今患兒ヲ助ケテ起立セシムレバ其下肢ハ極メテ特有ナル位置ヲ取ル、大腿ハ內方ニ旋轉シ、內轉筋攣拘ノ爲膝部ハ互ニ相近ヅキ、足部ハ僅ニ外側ノ趾ニヨリテ土ニ觸ルルノミ。之ニ歩行ヲ試ミシムレバ、一脚ハ膝ヲ以テ他側ノ膝ヲ摺リテ動キ、脚ハ常ニ膝部ニ於テ互ニ相交叉シ、患者ハ唯中軸ニ廻轉スルノミニテ前進スルコト甚ダ僅微ナリ。輕症ナルモノハ漸次ニ攣拘其度ヲ減ジ歩行ヲ營ミ得ルニ至ルベキモ其內抵抗ト終始戰フノ必要アルヲ以テ歩行常ニ困難ナリ。拘攣ハ一般ニ上肢ニ於テ輕シ、「ヒョレア」又ハ「アテトーゾス」ノ如キ自發運動ハ偏癱ノ場合ニ比スレバ大ニ稀ナリ。深部反射ハ一般ニ、殊ニ下肢ニ於テ常ニ強ク亢進ス。然レドモ攣拘ノ甚シキガ爲膝蓋腱

反射ヲ出ス能ハザルコトアリ。

斜視

腦神經ニアリテ注意ス可キハ斜視ニシテ殊ニ截癱的强直ノ場合ニ多シ。視神經萎縮及瞳孔不同ノ存在ヲ見ルコト尠カラズ。眼球震盪症ノ來ルコト亦屢〻ナリ。顔面筋ヲ侵カス時ハ假面樣相貌ヲ來ス。構音障碍 Dysarthrie 及ビ言語蹇澁 Bradylalie 又ハ嚥下困難ヲ見ルコトアリ。

營養障碍ハ偏癱ノ場合ノ如ク重要ナル意義ヲ有スルモノニアラズ、時ニハ萎縮ヲ來スアリ又時ニハ肥大ヲ來スアリ。唯此等兩癱ノ場合ニ於テハ膝蓋骨ノ位置上轉ヲ來スコトヲ以テ常則トスルハ注意ス可キコトナリトス。

痙攣發作

痙攣發作ハ生後暫時ハ之ヲ見ルコトナキニアラザルモ、後來ニ至リ癲癇トナリテ現ハルルコトハ極メテ稀ニシテ、是偏癱ト全ク相反スル點ナリトス。

叡智障碍ハ殆ンド常則トシテ之ヲ見ルモノニシテ、高度ノ白痴ニ陷ルモノ決シテ少カラズ、是蓋シ腦ノ畸形ノ致ス所ナル可シ。然レドモ時ニハ、殊ニ截癱的形式ニアリテハ知能ノ發育モ一程度迄之ヲ遂グルモノナキニアラズ。

診斷　腦性小兒麻痺ハ其臨牀的病像極メテ饒多ニシテ、上述セル二典型ノ間ニハ極メテ漸次ノ移行ヲ存シ、數多ノ混合形式アリ、從テ古來種々ノ名稱ヲ以テ呼バルルニ至レリ。例ヘバ攣性脊髓痨又ハ小兒性攣性脊髓麻痺 Tabes spasmodique od. die infantile spastische Spinalparalyse ト稱セラルルモノハ實ハ玆ニ述ブル腦性麻痺ナルモ、當時其ノ病變ノ脊髓ニ存スルモノト信ゼシヨリ來レル名稱ナリ。

フロイド氏ノ分類

フロイド氏ハ本病ヲ四型ニ別チ、(1)全身ニ來ル攣性强直ヲ腦性全身强直 allgemeine cerebrale Starre (2)脚部ニ於テ特ニ著明ニ來ルモノヲ截癱性强直 paraplegische Starre (3)攣拘上肢ニ於テ著明ニ現ハレ高度ノ白痴ト重キ癲癇トヲ合併スルモノヲ兩側性攣性偏癱 bilaterale spastische Hemiplegie (4)種々ノ自發運動ノ特ニ著明ナルモノハ全身「ヒョレア」及ビ兩側性「アテトージス」die allgemeine Chorea und die bilaterale Athetosis ト名ケタリ。又舌咽唇性麻痺ノ形ヲトル時ハ之ヲ小兒性假性延髓球麻痺(オッペンハイム氏) Infantile Pseudobulbärparalyse (Oppenheim) ト云フ。此等諸多ノ混合型ヲ來スハ蓋シ其病變ノ腦ニ於ケル位置ヲ異ニスルニ因ルハ固ヨリ言ヲ俟タズト雖ドモ、生前之ヲ確實ニ診定スルハ極メテ困難ナリ。麻痺ノ攣性ニシテ、非變質性ナルヲ注意シ、他方ニ「ヒョレア」及「アテトージス」ノ如キ自發運動ノ存否ヲ究ムルハ本病診斷ニ缺ク可カラザル注意ナリ。然レドモ乳兒年齡ニ於テハ本病ノ輕症ナルモノハ往々ニシテ看過セラル、蓋シ初生兒ニアリテハ筋肉ノ緊張過度 Hypertonie ハ生理的ニ存スルモノニシテ、又殊ニ慢性營養障碍ニ於テモ之ヲ見ルコト往々人ノ遭遇スル處ナレバナリ。唯腱反射ノ極メテ高度ナル場合及顋門ノ早期閉鎖ヲ見ル場合ニハ本病ニ疑ヲ置キテ可ナリ。齡稍〻長ズルモノ及ビ病像ノ完成セルモノニアリテハ診斷ハ容易ナル可シ。鑑別ヲ要スルモノ次ノ如シ。

小兒性假性延髓球麻痺

鑑別診斷

(一)脊髓性小兒麻痺ニアリテハ著明ナル萎縮ヲ呈シ、攣性ナク、又自發運動ヲ見ル事ナ

脊髓性小兒麻痺

キニヨリテ區別困難ナラズ。疑ハシキ場合ニハ筋肉ノ電氣的興奮性ヲ檢スレバ直ニ明瞭トナル、卽チ腦性麻痺ニアリテハ電氣的興奮性常ニ正常ニシテ變性反應ヲ見ズ。

生來性筋肉無緊張

(二)生來性筋肉無緊張ニアリテハ電氣性興奮性ハ變性反應ヲ呈スルコトナキモ其下降甚シク遂ニハ全然無興奮トナルニ至ルモノナリ。

多發性硬化

(三)多發性硬化　攣性狀態ニ加フルニ眼球震盪症、企動震顫、言語遲徐ノ合併スル場合ニハ多發性硬化トノ區別困難トナル。然レドモ多發硬化ハ小兒ニハ極メテ稀ニシテ、且ツ病勢進行的ナルヲ注意セバ之ヲ區別シ得可シ。

フリードライヒ氏失節症

(四)フリードライヒ氏失節症ハ攣拘ナク且腱反射ノ消失アルヲ以テ區別困難ナラズ。

腦腫瘍

(五)腦腫瘍ニアリテハ病勢進行的ニシテ、鬱血乳頭ヲ存ス。稍、長ジテ現ハレタル腦水腫ニ於テモ同樣ナリ。

腦黴毒

(六)腦黴毒ハ本病診斷ニ向ツテハ常ニ考フルヲ要スル問題ナリ。瞳孔ノ反射强直及左右不同ハ黴毒ニ相當シ、ワッセルマン氏反應ハ之ヲ確ム。

黑內障的白痴

(七)黑內障的白痴　經過ヲ見テ區別ス。

豫後　本病ハ不治ナルモ輕快ニ趣クノ傾向ヲ存ス、歩行ノ如キモ十歲前後ニ至リテ之ヲ習フモノアリ。叡智薄弱及癲癇ヲ有スルモノハ豫後不良ナリ。

療法　急性症狀卽急性腦髓炎ノ時期ニ於ケル處置ハ其條下ニ述ブル處ノ如シ。若シ黴毒ニ原因ヲ有スルノ疑アルモノニアリテハ、ワッセルマン氏反應ニヨリテ調節シツ

ツ相當ノ驅黴療法ヲ施ス。

對症療法

本病ノ對症療法トシテハ專ラ運動機能ノ恢復ヲ企圖ス可シ。此目的ニ向ツテハ先ヅ

電氣

電氣ノ應用ヲ試ミル可シ。卽チ不全麻痺ノ存スル筋肉ニ對シテハ之ニ感傳電氣ヲカケ(Faradsation)、攣性短縮ヲ來セルモノニハ平流電氣ノ陽極ヲ用ユ(Anoden-Galvanisation)、又持續的溫浴ハ筋肉ノ緊張過度ニ對シテ效アリ。

持續的溫浴

練習療法

患兒ノ叡智及意思ニ期待シ得ル場合ニハ練習療法ヲ續行ス。之ニ兼タルニ按摩及被動運動ヲ以テスルコト亦必要ナリ。短縮ノ來レルモノニハ無論截腱術及整復術ヲ要ス可シ。一言ニシテ謂ハバ近時流行ノ整形外科ノ領域ニ屬セシムルヲ可トス、蓋シ本病ヲ治療スルニ於テ本來ノ整形外科ハ成立ス可シ(Ortho=整+paidos小兒=Orthopädie)。全身攣性强直卽リツトル氏病ハフォエルスター氏手術ニヨリテ偉效ヲ收メ得ルニ至レリ。其原理ハ攣性筋肉ニ行キテ玆ニ攣拘ヲ起スベキ知覺性刺戟ヲ除去スルニ在ルモノニシテ、此目的ヲ達スル爲ニ脊髓後根ヲ脊髓管內ニ於テ切斷ス。

癲癇發作ニ對シテハ眞性癲癇ト同ジク臭素劑ヲ內服セシムルノ他穿顱手術ニヨリ瘢痕又ハ囊腫ヲ切除シテ效果ヲ見ルコトアリ。

叡智陷缺ニ對シテハ治療教育的處置ニ藉ル可ク、高度ノ白痴ハ適當ナル收容所ニ入ルルノ要ヲ見ルコトアリ。

第七　中樞神經系統ノ硬化 Sklerosen des Zentral-nervensystems

廣汎性腦硬化

多發性局竈形腦脊髓硬化

腦質ノ比較的廣大ナル部分ニ硬化ヲ來シ、且ツ萎縮ヲ來スコトアリ(Atrophia cerebri)又比較的ニ限局セル數多ノ塊狀硬變ヲ來スコトアリ(tuberöse Hirnsklerose)、廣汎ナル腦硬化 diffuse Hirnsklerose ハ稀有ナル疾患ニ屬スルモ、其初發往々生後數年ニ於テシ、數月乃至數年ニ亙ル經過ノ後死ニ歸スルモノナリ、其間屢〻癲癇形及卒中形發作ヲ來シ、發作ノ襲來ト共ニ病勢進行ス。卽チ筋肉ノ進行性攣性麻痺及言語喪失竝ニ深キ叡智陷缺ノ諸症ヲ以テ進ム。多發性局竈形腦脊髓硬化 Multiple herdförmige Hirn-Rückenmarkssklerose ハ小兒ニ於テハ殊ニ稀ナルモノニシテ、若シ來ル場合ニハ恐ラク多發性腦脊髓炎ノ結果ナル可シ、症候ハ大人ノソレト殆ンド異ナラズ。

第八　急性腦性震顫 Akuter cerebraler Tremor (Zappert)

本病ハ生後數年ノ小兒殊ニ童男ニ於テ見ルモノニシテ、四肢及項部ノ粗大ナル若シクハ中等大ノ震顫ヲ以テ特徵ト爲シ、同時ニ患部ノ攣拘及反射亢進ヲ伴フ。震顫運動ハ精神興奮ノ際ニハ昂マリ、睡眠中ニモ常ニ必シモ停止セズ。本病ノ豫後ハ佳良ナルモノナレバ、此點ヨリシテ本病ノ診斷ハ重要ノコトニ屬ス。經過ハ數週ニシテ多クハ全治ノ轉歸ヲ取ル、然レドモ往々ニシテ多少ノ智能陷缺ヲ來スヲ免カレザルコトアリ。本病ハ恐ラク傳染性中毒性ノ原因ニヨルモノナル可ク、腸胃疾患及呼吸器疾患ト密接關係ヲ有ス、然レドモ人ニヨリテハ一種ノ官能性神經症ト見做ス。

第九　急性前灰白質脊髓炎、脊髓性小兒麻痺、急性萎縮性脊髓性麻痺 Poliomyelitis anterior acuta, spinale Kinderlähmung, acute atrophische Spinallähmung. (ハイヲ、メヂン氏病、急性流行性小兒麻痺 Heine-Medinsche Krankheit, acute epidemische Kinderlähmung.)

本病ハ一八四〇年ハイヲ氏始メテ之ヲ記載シ、後ストックホルムノ醫メヂン氏ノ觀察ニヨリテ其流行性ナルヲ確メラレタル傳染病ニシテ、好ンデ脊髓前角ヲ侵シ、持續的ナル弛緩麻痺ヲ殘ス。

原因　主トシテ大流行ヲ以テ現ハル、其散發性ナルノ觀ヲ呈スルモノモ實ハ持續シテ存在スル地方病タルニ外ナラズ。三歲未滿ノ小兒ハ本病ニ對スル素地ヲ有スルモノノ如シ、然レドモ往々ニシテ成人モ亦之ニ罹ルコトナキニアラズ。流行ハ夏時ニ多

シ。一回本病ニ侵サレタルモノハ免疫セラル。病原生物ハ今日未ダ發見セラレザルモランドスタイチル Landsteiner 及ポッペル Popper 兩氏ハ本病ヲ猿ニ轉移スルヲ得タリ、又フレキスチル Flexner ロ"メル Römer 及其他諸氏ノ實驗的猿脊髓炎ノ研究ニヨリ、本病ノ潛伏期ハ八乃至九日ナルヲ知レリ、又病原生物ハベルケフェルド濾過器ヲ通過スルモノニシテ、中樞神經系統ニ達スル通路ハ淋巴系ナルガ如シ、病原體ハ神經組織內ニ存スルノミナラズ、淚汁及咽頭粘液又ハ唾液中ニモ存ス、高熱ニ會スレバ病原體ハ死滅スルモ寒冷及乾燥ニ對スル抵抗强シ。傳播ハ人ヨリ人ニ觸接スルニヨリテ行ハルルガ如シ、然レドモ此際所謂病原體擔荷者トシテ、病原體ハ之ヲ荷ヒテ而カモ疾病ヲ有セザルモノモ傳染ノ媒介ヲナスガ如シ、一家數人本病ニ侵サルルモ輕重一定セズ。又流行ニヨリテモ輕重アルガ如シ。

症候及經過　潛伏時期　潛伏時間ハ五乃至十日ニテ九日ヲ以テ最モ多シトス。コレニ次グニ高熱ヲ主徵トスル初發時期ヲ以テシ、後初期麻痺ノ期ニ入リ遂ニ持續的麻痺ノ期ニ移行ス。

初發時期　初發時期　疾病ノ來ルコト急劇ニシテ一般狀態ノ障碍强ク高熱ヲ發シ攝氏三九乃至四〇度ニ達ス。脈搏ハ高シ。神識ハ殆ンド或ハ全ク混濁セズ、然レドモ强キ嗜眠ヲ來スコト屢ナリ。睡眠ハ不安ニシテ夢多シ。時ニ輕度ノ頭痛ヲ見ルモ、全身ノ搔搦ヲ來スコトハ稀ナリ。此期ニ於ケル局部的障碍トシテ或ハ「アンギナ」喉峽炎ヲ來シ、或ハ氣管枝炎ヲ發ス、時ニハ嘔吐、食思不進、下痢或ハ便祕等ノ消食管障碍ヲ見ル。熱ハ初兩三日ニシテ正規マデ下降スルヲ常トスルモ、長引クモノニアリテハ數日乃至週餘ニ及ブコトアリ。皮膚知覺過敏及被動運動ニ際スル疼痛ハ此期ニ於テ著明ナルモノニシテ、素人ニモ已ニ注意ヲ惹ク。患兒ハ人ノ近ヅキテ之ヲ觸レント試ミルアレバ大ニ啼泣シテ、放置セラレンコトヲ哀願ス。起立ニ際シテ脊柱ノ强直ヲ見ルノミニシテ他ニ筋肉ノ緊張過敏ヲ呈スルコトナシ。諸筋及神經幹ノ壓痛ハ長ク存シ、往々ニシテ四肢ニ自發疼痛ヲ訴フルコトアリ。疼痛ニ次ギテ必要ナルモノハ發汗ナリ、患兒ノ全身ハ濕潤シテ恰モ水中ヨリ引キ出サレタルモノニ異ナラズ。此疼痛、發汗ト共ニ重視ス可キモノハ著明ナル白血球減少症 Leucopenie ナリ、一立方密迷中三—五〇〇〇ニ減ズルコトアリ。腰椎穿刺ニ於テハ腦脊髓液ノ壓高キノミニシテ、清澄、異常成分ヲ證セズ。

麻痺ノ發端期　麻痺ノ發端期　初期ノ持續兩三日ニシテ發端麻痺ヲ來ス。此麻痺ハ身體大部ニ來ルモノニシテ、其麻痺ノ來ル前ニ痙攣又ハ搔搦ノ先行スルコト稀ナラズ。麻痺ノ性狀ハ弛緩性ニシテ、部位ハ脚部及軀幹ニ多ク、腕及腦神經ニ於テハ尠シ。麻痺ハ數日內ニ極點ニ達シ、後漸次ニ消散ニ傾クヲ常則トシ、逐次的ニ麻痺部位ノ遞加スルハ例外ナリ、麻痺筋肉ハ弛緩シテ萎縮ヲ呈シ、肢ヲ擧上シテ放テバ其落下ノ有樣恰モ死體ニ異ナラズ。深部反射ハ全ク消失シテ、電氣的ニハ變性反應ヲ呈ス。上肢ノ麻痺ヲ合併スル場合ニ於テハ膝蓋腱反射ノ亢進ヲ見ルコトアリ、是蓋シ白質モ共ニ侵サレ稜錐索ノ傷害

足間代攣縮

セラレタル場合ナリ。此ノ場合ニハアヒレス腱ノ反射亢進ヲ見、甚シキハ足間代攣縮Fussklonusヲ來ス。皮膚反射ハ全ク變化ナキカ或ハ之ヲ起ス可キ筋肉ノ麻痺セル場合ニハ全ク缺如スルニ至ル。バビンスキー氏現象ハ之ヲ見ルコト往々ナリ。筋肉ノ萎縮ニヨリ四肢ハ甚シク痩瘦シ、身體ノ格好崩レ大ニ美觀ヲ損ス、然レドモ幼年者ニアリテハ後來脂肪組織ノ增殖ニヨリテ被ハレ一見萎縮ナキガ如ク見ユルニ至ルコトアリ。腹部筋肉ニ麻痺來ルトキハ其緊張喪失ノ爲ニ鼓腸的隆起ヲ來スコトアリ。膀胱・直腸・機能ハ一時性ニ侵サルルコトアルノミ。

第八十圖

脊髓性小兒麻痺

（自家所見）

一般症狀ハ發端麻痺ノ現ハルルト共ニ全ク去ル、然レドモ輕キ刺戟性氣分違和、啼泣癖等ハ稍〻長キニ亙リテ存スルコトアリ。

本病ニヨル麻痺ノ擴リハ考ヘ得ベキ殆ンド凡テノ形式ニ於テ之ヲ見ルヲ得可シ。然レドモ好ンデ侵カスモノハ一側ノ脚部ニシテ、之ニ次デハ一側ノ腕又ハ兩脚ニ來ル。然レドモ兩側上肢共ニ又ハ交叉シテ上下ノ各一肢ヲ侵カスコトアリ、又ハ同側ノ上下肢ニ來ルコトアリ。要スルニ麻痺ガ四肢ニ平等ニ現ハルルコトナキノ一點ハ本病

知覺障碍ノ缺如

ノ特徴トスルニ足ル。軀幹筋ヲ侵カス場合ニハ前彎Lordose及側彎Skoliosseヲ來スハ當然ナリ。呼吸筋ニ來レバ呼吸困難ヲ起ス。腦神經部ニテハ顔面神經ヲ侵カスコト多ク稀ニハ外轉神經、舌下神經、動眼神經ヲ侵カス。迷走神經核ノ侵サルル場合ニハ呼吸困難ノ發作ニヨリ死ヲ將來スルコト勿論ナリ。

知覺障碍ノ缺如ハ本病診斷上極メテ重要ナルコトニシテ、陳舊ナルモノニ於テ殊ニ然リトス。

持續的麻痺ノ時期

第八十一圖

脊髓性小兒麻痺

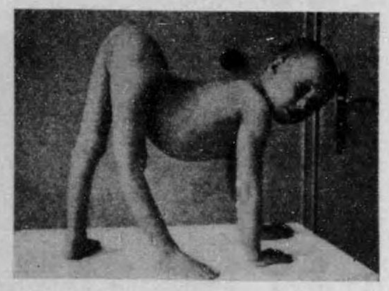
（自家所見）

持續的麻痺ノ時期初期麻痺ハ數週日內ニ極メテ迅速ニ輕快シ、此輕快ハ後尙徐々ニ進ミ、半年或ハ更ニ之ヨリ後レテ持續的麻痺ニ達ス。此期ニ於テハ麻痺ヨリ來ル續發的諸變化著明トナル。卽チ麻痺セル筋肉ノ短縮Kontrakturヲ來シ、畸形ニ陷リ、生涯ノ不具者トナル。麻痺ガ全一肢ノ全筋肉ヲ侵ス場合ニハ短縮ヲ來サズシテ、其肢ハ恰モ身體ニ外部ヨリ添付セル附屬物ノ觀ヲ呈ス。之ニ反シテ一肢ノ一定筋ニノミ麻痺現

ハルル場合ニハ數週ニシテ已ニ短縮ヲ來シ、腱モ萎縮シ筋肉ハ纖維性變質ニ陷リテ肢ハ遂ニ病的位置ニ固定セラルルニ至ル。又關節ニ於テハ其運動範圍擴大シテ所謂動搖關節 Schlottergelenk トナル。殊ニ肩及股關節ニ於テ多シ。營養モ障碍セラレ麻痺肢ハ短少トナリ、其皮膚紫紅ヲ呈シ、厥冷ス。軀幹筋ノ麻痺ニハ前彎及側彎ノ現ハルルハ既ニコレヲ述ベタリ。脚部麻痺ニ於テハ其病竈ノ如何ニヨリ扁平足 Plattfuss 尖足 Spitzfuss 又ハ鉤足 Hakenfus 逆屈膝及內屈膝 Genu recurvatum et incurvatum 等ヲ呈ス。四頭筋麻痺ノ高度ナルモノ又ハ背筋麻痺ノ合併アルモノハ全ク歩行不能トナリ、四肢ヲ用ヰテ始メテ其身體ヲ運ブモノアリ、手歩者 Handgänger (蹠者)是ナリ。

動搖關節
營養ノ障碍
手歩者

第八十二圖
手歩者



第八十三圖
手歩者

診斷　本病ハ初期ニ於テ確診スルコト甚困難ナリ。唯其麻痺ノ來ルコト急速ニシテ、數日ノ中ニ已ニ其極點ニ達スル點、急性症狀ノ經過後ニハ其麻痺ノ弛緩的ニシテ萎縮性ナルコト、知覺障碍、直腸膀胱障碍ノ缺如スルコトハ本病ニ特有ニシテ診斷上重要ナル症候ナリ。此等症狀ト共ニ尙注意ス可キモノハ發汗過多竝ニ白血球減少ナリ。

鑑別診斷
流行性腦脊髓膜炎
腦性小兒麻痺

(一)流行性腦脊髓膜炎ノ如ク知覺過敏、運動ノ際ニ於ケル疼痛ヲ見ルモ神識ノ侵害セラレザルヲ特有トス。又白血球檢査及腰髓穿刺ニヨリ更ニ之ヲ確ムルヲ得可シ。

(二)腦性小兒麻痺ハイチ、メヂン氏病ガ腦灰白質ニ來リテ腦性小兒麻痺ヲ來スコトアルハ已ニ之ヲ述ベタリ。而シテ其持續麻痺ノ期ニ於テハ短縮ヲ來シ往々ニシテ腦性ノ攣拘ト誤ラルルコトアリ。然レドモ前者ニアリテハ電氣的變性反應ヲ呈シ且ツ深部反射ノ甚シキ減弱乃至缺如ヲ來スモ腦性麻痺ニアリテハ全ク之ニ反スルニヨリ區別シ得可シ。然レドモ脊髓性麻痺ニアリテモ脊髓上部ニ於テノミ病竈ノ存スル場合ニハ膝蓋腱及アヒレス腱反射ノ亢進ノ來ルコトアルヲ忘ル可カラズ。又「ヒョレア」、「アテトーゼス」、叡智陷缺、癲癇ハ腦麻痺ノ證ナリ。

生來性筋無緊張症

(三)生來性筋無緊張症 Myatonia congenita ハ一局部ノ筋肉ニ限ラルルコトナク、全身ニ亙リテ左右相稱的ニ現ハルヲ以テ區別ス可ク、又是ニアリテハ脊髓性麻痺ノ如ク變性反應ヲ呈セズ。

分娩麻痺

(四)分娩麻痺 Entbindungslähmung, Paralysie obstetricale トノ區別ハ既往歷ヲ參照スルニアラザレバ往々ニシテ不可能ナリ。然レドモ上肢ノ內捻轉ハ肩甲棘下筋ノ麻痺ニシテ分

多發神經炎及脚氣

婉麻痹ニ多シ。

(五)多發神經炎及脚氣麻痹ノ來ルコトハイ子・メヂン氏病ノ如ク然カク迅急ナラズ而シテ常ニ知覺異常ヲ隨伴スルヲ特徴トス。脚氣ニアリテハ此他ニ心臟方面ヨリノ症狀アリ。

「ヂフテリヤ」後麻痹

(六)「ヂフテリア」後麻痹ニハ好ンデ軟口蓋ヲ侵カスモ、ハイ子・メヂン氏病ニハ少ナシ。

進行性筋萎縮

(七)進行性筋萎縮 Dystrophia musculorum progressiva トノ區別ハ大ニ困難ナリ。先其既往歴ニ注意スルヲ要ス。而シテ筋萎縮ハ脊髓麻痹ノ如ク急速ニアラズシテ、而カモ進行性經過ヲ取ル點ニ於テ異ナルモノトス。且其病像ハ左右相稱的ナリ。

豫後

(八)急性時期ニアリテハ「インフルエンザ」、「ロイマチスムス」又ハ坐骨神經痛等ト誤認セラルルコトアリ注意ヲ要ス。

豫後　患兒ノ年齢長ズル程生命ノ危險ヲ伴フモノナリ。熱發ノ高低ハ本病ノ豫後ニ對シテ意義ヲ有セズ。流行ノ性質ニヨリテ死亡ノ率ニ差異アルガ如シ。重篤ナルモノニアリテハ死ノ轉歸ヲ取ル場合決シテ少カラズ、此死的經過ヲ取ルモノ die tödlich verlaufenden Fälle ニ對シテ頓挫型 Abortive Erkrankung ヲ見ルコトアリ、此後者ノ輕症ナルモノハ流行ニ鑑ミテ始メテ診斷ヲ下シ得ルニ過キズ、從テ殘留スル麻痹症モ極メテ輕シ。又前者ノ重症ナルモノニハ好ンデ生命ニ必要ナル神經中樞ヲ侵ス、橋型又ハ延髓球型 Pontine und bulbäre Form ト稱スルモノ是ナリ。此等ノ場合ニモ亦僅ニ流行ヲ參

ランドリー氏麻痹型

照シテ之ヲ診定スベキノミ又漸次下方ヨリ上方ニ進ミランドリー氏麻痹 Landrysche Paralyse ノ型ヲ取ルコトアリ。

持續麻痹期以前ニ於ケル個々筋肉麻痹恢復ノ可能性ハ一ニ其電氣變性反應ノ如何ニヨリテ之ヲ定ム可シ。全的變性反應ヲ示スモノハ麻痹輕快ノ望ナシ。

理學的療法

療法　始數日ハ嚴重ニ安靜ヲ必要トス。營養ニ注意シ消化ヲ整フ可シ。「コフェイン」及「アルコホル」飲料ヲ嚴ニ禁ズ。藥用トシテハ「アスピリン」又ハ「サリチル」酸「ナトリウム」ノ適量ヲ用フ。又病竈ニ相當スル高サノ脊椎部ニ水蛭ヲ應用ス。腰椎穿刺ニヨリ液ヲ流出セシムルモ可ナリ。

二乃至三週ニシテ始メテ理學的療法ヲ加フ、按摩及電氣ヲ應用ス。又溫浴ヲ施シテ效アルコトアリ。一肢ノ用フベキモノアラバ常ニ之ヲ使用シテ其廢用ニ因スル萎縮ヲ防グコト極メテ肝要ナリ。

持續時期ニ入リテ用フベキハ「ヨード」、「ストリヒニン」等ナリ、近時「ヨヒンビン」ヲ賞用スル人アリ。

本病ニ對シテモ整形外科的施術ハ大效ヲ奏スル場合アリ、詳細ハ整形外科學ニ讓ル。

第十　脊髓ノ疾患 Erkrankungen des Rückenmarks.

一　脊髓炎 Myelitis

横斷脊髓炎

横斷脊髓炎 Querschnittsmyelitis ハ小兒ニ於テモ極メテ稀ニハ之ヲ見ルコトアリ。症候ハ全ク大人ノソレニ異ナラズ、截癱ノ形式ヲ以テ來リ、知覺障碍、疼痛及膀胱直腸障碍ヲ呈ス。微毒ニ基キテ現ハルルモノハ治癒ノ望ナキニアラズ。

壓迫脊髓炎

壓迫脊髓炎 Kompessionsmyelitis, Drucklähmung des Rückenmarkes ハ脊椎結核卽チ脊椎炎 Spondylitis ニ於テ之ヲ見ルコト最モ多ク、稍〻長ゼル小兒ニ於テハ決シテ稀ナラズ。輕症ノモノニアリテハ軀幹及背部ノ疼痛及脚部ノ弱力ヲ訴ヘ、膝蓋腱反射亢進ヲ見ルニ過ギズ。稍〻重キモノニ於テハ全脚及括約筋ノ麻痺ヲ呈シ、著明ノ知覺異常ヲ伴フ。診斷ニハ專ラ脊椎炎ノ證候ニ注意スレバ誤ルコトナシ。療法ハ外科的手術ニ委ス。

二　脊髓癆 Tabes dorsalis.

脊髓癆ハ小兒期ニ於テ已ニ初發スルモノ稀ナラズ、原因ハ遺傳黴毒ニ之ヲ求メテ誤ナカル可シ。經過ハ極メテ緩慢ニシテ證候ハ全ク大人ノ者ニ異ナラズ、唯失節症 Ataxie 及步行障碍ハ甚シク著明ナラズ、又膝蓋腱反射ハ常ニ必シモ消失スルモノニアラザル點ニ於テ大人ノソレト異ル。進行性麻痺(麻痺狂)ト合併シテ來ルコト尠カラズ。

第十一　神經系統ノ內原的(遺傳的家族的)疾患

Endogene Erkrankungen des Nervensystems

一家族ニ於テ代々反復出現シ、一世代ノ各個員モ同ジク之ヲ侵スコトヲ以テ要約トスル一群ノ神經系統疾患アリ、之ヲ總括シテ遺傳的家族的又ハ遺傳的變質的神經疾患 hereditär-familiäre oder heredo-degenerative Erkrankungen des Nervensystems ト謂フ。而シテ其發現ニ向フテ何等外的原因ヲ要スルコトナク、專ラ內原的根基ニ成立スル點ヨリシテ之ヲ內原的疾患 Endogene Erkrankungen ト稱ス。此種疾患者ハ各世代ニ於テ個々症候ニ至ルマデ全ク同一型ヲ以テ現ハレ、同一世代ノ各個員ニ於テ其發現ノ年齡ヲ同フスルコト多シ。而シテ次世代ニ於テハ疾病ノ初發年齡前世代ニ比シテ多少早マルヲ常トス。一世代ノ各個員ハ必ズシモ全員悉ク罹患スルモノニアラザレドモ其健康ナルモノト雖ドモ次世代ニ疾患ヲ傳フルノ可能性ヲ有ス。

原因ニ關シテハ全ク不明ナリ、酒精中毒、酩酊中ノ生殖、兩親年齡ノ大ナル差異又ハ兩親ノ高年、兩親ノ同血 Konsanguinität 等原因的ニ多少ノ關係アルモノト思惟セラル。卽チ此等諸因ニヨリ一旦疾患ノ一家系中ニ出現スルアレバ、胚種被害 Keimschädigung ヲ遺傳シ、之ヨリ生マルル小兒ノ神經系統ハ其ノ諸部ニ於テ低價ニシテ、一定生活期間中ニ滅落ス、卽チジェンドラッシック Jendrassik 氏ノ謂フガ如ク早發老衰 frühzeitige Seneszenz ヲ以テモ之ヲ說キ得可ク、エーディンゲル Edinger 氏ノ盡用說 Aufbrauchstheorie ヲ以テスレバ機能遂行ニヨル物質缺損ヲ補給スルコト健康組織ノ如クナル能ハザルニヨリテ來ルモノトモ解シ得可シ。

早發老衰說

盡用說

一　家族性黑內障眼性白痴 Die familiäre amaurotische Idiotie

小兒性(テー・サックス氏型 infantile (Tay-Sachssche) Form

二歳未滿ノ小兒ニ現ハル。活潑ニシテ發育佳良ナリシ小兒漸次ニ活氣ヲ失ヒ、嗜眠的トナリ、眼前ニ光體ヲ出スモ視線ヲ動カサズ、之ヲ見ルノ狀ナシ。是ニ於テ兩親ハ小兒ニ視力障碍ノ來レルニ氣付クニ至リ始メテ醫治ヲ乞フモノ多シ。此時眼底ヲ檢スレバ茲ニ特有ナル所見アリ、卽黃斑部ハ局限シテ灰白變色ヲ呈シ、其中央部ニ於テ中心窩ニ近ク一個ノ櫻桃紅色Kirschrot ノ斑點ヲ見ル。視神經ハ多少萎縮ヲ呈ス、同時ニ眼球震盪症、瞳孔左右不同、斜視ヲ見ルコトアリ。此漸進的失明ニ加フルニ失聰ヲ以テシ、精神的能力亦廢頹シテ、深キ痴呆ニ陷ル。漸ヲ逐フテ筋肉ノ薄弱現ハレ、頭顱ヲモ支フルノ力ナキニ至リ、四肢亦運動ヲ失フ。多クハ弛緩的ナルモ時ニハ攣性ヲ呈スルコトアリ、從テ深部反射一定セズ。經過數月、尙二年ノ後又ハ滿三年ノ始ニ至リテ斃ル。

幼年性(フォグト氏型 juvenile (Vogtsche) Form.

病像及經過ハ小兒型ト全ク同一ナリ、唯其發病晚クシテ四歳乃至十歳其シキハ十六歳頃ニ現ハルルヲ異ナリトス、又幼年型ニテハ眼底所見ヲ缺如ス。

家族性黑內障眼性白痴ハユダヤ種族ニ於テ多シト云フ。

本疾患ハ其ノ根基腦質ノ著明ナル病變ニアリ。腦髓ハ肉眼的ニハ著明ノ變狀ヲ呈スルコトナキモ、組織學的ニハ高度ノ變質轉機ヲ見ル、卽神經細胞ハ膨腫シテ、囊狀ニ變化シ、極メテ特異ナル像ヲ呈ス。詳細ハ茲ニ之ヲ略ス。

二　遺傳性失節 Hereditäre Ataxie

特徵

フリードライヒ氏ガ始メテ記載セル遺傳性失節ハ脊髓型ニシテ靜的失節及動位的失節 statische und lokomotorische Ataxie 膝蓋腱反射缺如眼球震盪及塊足 Klumpfuss ヲ以テ特徵トス。此疾患ハ多ク滿四乃至七歳ニ發ス、時ニハ破瓜期前後ニ現ハルルモノアリ。經過ハ進行的ニシテ十數年ニ亙ル。失節ハ多ク脚部ニ現ハレ、歩行ヲ習得シ了セル小兒ハ漸次歩行ノ拙劣ヲ來スニヨリテ周圍ノ注意ヲ惹ク。起立ニ際シテハ兩脚ヲ散開シテ、其倒レントスルヲ防ガントス、歩行ニ際シテ足ヲ運ブ狀恰モ杵ヲ以テ搗クガ如ク馬脚ノ運動ニ似タリ、之ヲ杵搗歩 stampfender Gang ト云フ。又靜的失節アルガ爲メ、患兒ハ仰臥位ニ於テモ其脚ヲ擧上シテ固持スル能ハズ甚シク動搖ス。此失節ト共ニ又肢部ノ震顫ヲ見ルコトアリ。本病ニ特有ナル塊足ハ內翻馬足ノ形ヲ取リ趾殊ニ蹈趾ハ其第一節ニ於テ過度ニ伸展シテ末節ハ屈曲ノ位置ヲ取ル。此塊足ナキ場合ニハ往往バビンスキ氏趾現象ヲ見ル。又往々ニシテ脊柱ノ後彎兼側彎ヲ見ルコトアリ。又言語遲徐ヲ來シ、構音不明トナルコトアリ、時ニハ叡智薄弱ヲ伴フ。知覺異常ナシ。

杵搗歩

小腦性遺傳失節

遺傳性失節ノ一型トシテマリー氏ノ小腦性遺傳失節 Hereditataxie cerebelleuse de Marie アリ、之ニアリテハ其歩行ハ股脚ノ散開ハ前者ニ同一ナルモ、足ヲ運ブニアタリテ杵ヲ搗クガ如クナラズシテ寧左右ノ方向ニ向ッテノ動搖甚シク、恰モ酩酊者ノ酔歩ニ類ス、卽チ蹣跚歩行 taumelnder Gang ヲ呈ス。此歩行ニアリテハ足ヲ前方ニ進ムルニアタリ身軀ヲ後方ニ引クヲ特徴トス、バビンスキー氏ハコレヲ小腦性失協力症 Asynergie cerebelleuse ト名ケタリ。膝蓋腱反射ハ常ニ存在ス、加之時ニ亢進スルコトアリ、從テ四肢ハ往々攣性ヲ呈ス。眼球震盪ハ稀ニ之ヲ見ルノミナルモ、斜視、眼瞼下垂、視神經消耗等ノ眼障碍ヲ見ルコト屢ナリ、塊足ハ之ヲ缺ク。本型ハ齢長ジテ現ハルルヲ常トシ、春機發動年齢後ニ來ルコト多シ。

小腦性失協力症

上記兩型間ニハ極メテ漸次ノ移行ヲ存シ、之ヲ嚴密ニ區別スルコトハ難事ニ屬ス。且ツ又此他ノ遺傳的變質性神經疾患、例ヘバ聽官障碍、强迫放笑 Zwangslachen 筋肉萎縮ノ如キモノヲ隨伴スルコト尠トセザルヲ以テ、病像ハ益〻複雜トナル。初期ニアリテ、殊ニ其ノ發現ノ家族的ナルヲ證明セザル場合ニハ小腦腫瘍、腦微毒、小兒性脊髓痨等ヨリ區別スルニ困難ヲ感ズ。

療法ハ運動練習ニ求ム可キモ、多クハ效ヲ奏セズ。

三　筋肉萎縮 Muskelatrophien

筋肉萎縮全般ニ關シテハ內科學ニ詳シキヲ以テ玆ニハ唯小兒ニ來ル病像ニ就キテ特ニ注意ス可キ點ノミヲ述ブベシ。

甲　幼兒性脊髓性進行性筋肉萎縮 Die frühinfantile spinale progressive Muskelatrophie (Werdnig u. Hoffmann)

本病ハ一歲未滿ノ幼兒ニ於テ脚力減弱ヲ以テ初發ス。次デ背、項、肩、腕等ノ諸筋ヲ侵シ全身中顏面ヲ除ケル殆ンド總テノ部分ニ於テ麻痺ノ狀態ヲ呈ス。而シテ麻痺部ハ萎縮ヲ呈シ、細纖維性攣縮ノ現ハルルヲ見ル。筋肉ノ消耗ニ代リテ往々脂肪ノ增殖ヲ來シ、爲ニ萎縮ノ度ヲ寬見ル能ハザラシムルニ至ルコトアリ。深部反射ハ漸ヲ以テ減弱シ、遂ニハ全ク消失ス。筋ノ電氣的興奮性ハ減弱シ、末期ニ於テハ著明ニ變性反應ヲ呈ス。言語、神識ハ侵害ヲ蒙ラズ、括約筋障碍亦之ヲ缺如ス。經過數年ニシテ呼吸筋ヲ侵スニ至レバ卽チ患者ハ死ス。本病ハ蓋シ脊髓前角神經細胞ノ變性ニ基クモノナリ。本病ヲ生來性筋無緊張ヨリ區別スルコトハ甚ダ困難ナリ、然レドモ其經過ノ進行的ナルコト、筋肉ノ變性反應及細纖維性攣縮ハ筋萎縮タルヲ證ス。又家族的ニ現ハレタル脊髓前角炎トノ區別ニ於テモ其初發ノ緩慢ナルコト及進行的經過ヲ取ルニ鑑ルヲ要ス。

乙　進行性神經病性筋肉萎縮 Progressive neurotische Muskelatrophie (Peronealtypus-Hoffmann)

縫行歩行　侵カス。歩行ハ所謂縫●工●歩●行● Sog. Steppergang ヲ呈ス、卽チ內翻馬足ヲ呈スルガ爲メ、歩行ニ際シテハ下垂セル足尖ヲ地上ヨリ引キ擧ゲンガ爲メニ强ク脚ヲ擧上ス。而シテ本型ハ多クハ稍、長ジタル小兒ニ現ハル。先ヅ腓腸筋及其他ノ下腿筋肉ヲ左右相稱ニ

鷲爪手　地ヲ蹈ムニアリテハ足尖先ヅ地ニ著ク。筋ノ電氣的反應ハ減弱スルカ或ハ變性ス。深部反射ハ漸ヲ逐フテ消失シ、往々ニ纖維性攣縮ヲ呈ス。上肢モ共ニ侵サレ鷲●爪●手● Klauen-od Krallenhand ヲ呈ス。運動障碍ト共ニ知覺及血管運動ニ於ケル障碍ヲ來スコトアリ。本病ノ甚ク處ハ末梢神經ノ變性ニアリ、又脊髓殊ニゴル氏索ニモ變化ヲ見ル。

丙　進行性筋肉萎縮 Dystrophia musculorum progressiva 原發性筋病

Die primare Myophathie

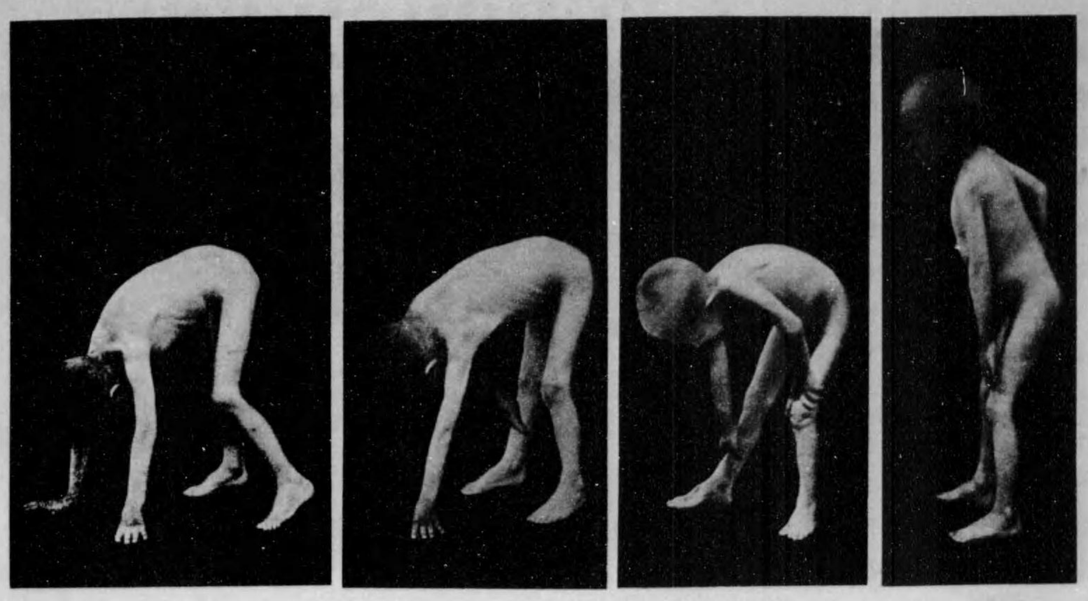
假性筋肉肥大　筋肉自家ノ變性的萎縮ニシテ、大多數ハ小兒期ニ現ハレ、時ニハ生後一兩年ニシテ現ハルルモノアリ、又破瓜期ニ入リテ現ハルルモノアリ、之ニヨリ更ニ分類シテ記載セラルル(1)假●性●筋●肉●肥●大● Pseudohypertrophia musculorum ハ六七歲前後ニ始マリ主トシテ背筋、腰筋及大腿筋ノ萎縮ヲ來ス。(2)

幼年性筋肉萎縮　幼●年●性●筋●肉●萎●縮● infantile Muskelatrophie (Duchenne) ハ萎縮ノ顏面筋ニ初發シ、一種固有ナル筋病、性、顏、面、Facies myopathica ヲ呈ス。(3)

青年性筋肉萎縮　青●年●性●筋●肉●萎●縮● juvenile Muskelatraphie (Erb) ハ主トシテ肩胛筋、上膊筋ヲ侵スヲ特徵トス。此區別ハ本病機轉ハ各型皆同一ナルガ如シ、詳細ハ之ヲ內科性上ノ分類ニ委クモノニアラズ、疾

第八十四圖

進行性筋萎縮



神經系疾患　神經系統ノ內原的(遺傳的家族的)疾患

書ノ記スル處ニ讓ル。本病ニ最特有ナルモノハ其歩行ト起立動作ナリ。歩行ハ動搖甚シク且ツ緩慢トナル、即チ「よたよたあゆみ」トナル。其際軀幹筋萎縮ノ爲ニ脊柱前彎ヲ呈シ、運歩ノ際ニハ骨盤ノ上下ニ動クコト著明ナリ。坐位ヨリ起立スルニハ上肢ノ助ヲ藉ルヲ要シ、自ラ其身體ヲ攀チテ起立ス、殊ニ患兒ヲ仰臥位ヨリ起立セシムルニアタリテハ其動作極メテ特有ナリ、先ヅ苦心シテ腹位ヲ取リ、手ヲ以テ支ヘツツ身體ヲ擧上シテ始メテ先蹲踞ノ位置ニ達シ、次デ膝部ヲ擧ゲテ四ツ這トナリ、上肢ト下肢トヲ漸次ニ近接セシメテ、手ヲ以テ脚ヲ攀チテ始メテ起立ス。

第八十五圖
進行性筋萎縮
（自家所見）

筋肉ノ電氣的興奮性ハ減弱スルモ、全ク失ハレルコトナシ、變性反應ヲ呈セズ。機械的興奮性ハ減弱ス、筋肉ニ纖維性攣縮ヲ見ズ、腱反射モ減弱シ甚シキ場合ニハ全ク消失ス。知覺ハ常ニ異常ナク、直腸膀胱障碍ヲ見ズ。

經過ハ數年ニ亙ル。

診斷上注意ヲ要スル主ナル疾患ハ上記二型ノ筋肉萎縮及ビ先天性股關節脱臼ナリトス。

四　家族的腦性兩癱 Familiäre zerebrale Diplegien

腦性兩癱ノ形式ヲ以テ家族的ニ現ハルル攣性症候群アリ、其病狀リットル氏病ニ酷似ス、然レドモ之ト異ナル點ハ他ニ種々ノ症候ヲ合併スルニアリ。即チ家族性ノモノニアリテハ眼球震盪震顫、失節、强迫哄笑、言語緩徐、視神經消耗、括約筋障碍、筋肉萎縮、延髓球症候等ヲ隨伴ス、此他家族性ノモノハ其經過緩慢ナガラモ常ニ進行的ナレバ、之ヲ外因性兩癱ヨリ區別スルニ難カラズ。數年乃至十數年ノ經過ヲ以テ死ノ轉歸ヲ取ル

第十二　末梢神經疾患

一　麻痹

末梢神經麻痹ハ大人ニ於ケルモノト全ク異ナラズ。

顔面神經麻痹

顔面神經麻痹 Fazialislähmung ハ小兒ニ於テ稀ナラズ、神經核缺如ノ爲ニ生來性ノコトアリ。又ハ出産時ノ外傷ニ因スルコトアリ、最モ屢遭遇スルハ耳疾患ノ際ニ見ルモノナリ、又急性灰白質脊髓炎ノ橋型トシテ來ルコトアリ、又「ヂフテリア」後麻痹トシテ現ハル。

疼痛性麻痹

疼痛性麻痹 Paralysie douloureuse (Chassaignac) 又ハ小兒ノ疼痛性腕麻痹 Schmerzhafte Arml-

ähnung kleiner Kinder ハ五六歳ノ小兒ニ於テ可ナリ屢見ル疾患ニシテ、腕ノ極メテ輕キ外傷ニ基キテ發ス。患兒ハ腕ヲ廻前位 Pronationsstellung ニ下垂シテ、自發運動ヲ試ミズ、被動運動ヲ拒避ス。然レドモ他覺的ニハ何等麻痹ノ徵候ヲ有スルコトナシ、被運動又自在ナリ。患兒ハ被動運動ノ際ニ甚シク啼泣シテ、疼痛ヲ訴フ。而シテ斯ノ如キ障碍ハ通常特殊ノ處置ヲ要セズシテ數日ノ内ニ消散ス。

本疾患ハ極メテ輕微ナル關節負傷ニ因スルモノナリヤ、將タ神經叢傷害ノ結果ナリヤ、將又疼痛ニ對スル恐怖ヨリ來ル精神的壓抑ニ基クモノナリヤ明カナラズ。

第八十六圖

外傷ニヨル橈骨神經麻痹

（自家所見）

處置トシテハ一兩日間繃帶ヲ以テ固定スル位ニ止メテ可ナリ。

二　神經痛 Neuralgien

小兒殊ニ學童年齢ニ於テ之ヲ見ルコト少カラズ、殊ニ多キハ三叉神經痛 Trigeminus neuralgie 後頭神經痛 Occipitalneuralgie ナリ。原因ハ大人ノモノニ同ジ。處置然リ。

三　多發神經炎 Polyneuritis

「デフテリア」後麻痹トシテ現ハルル外、小兒ニ於テ多發神經炎ノ來ルコトハ稀有ノコトニ屬ス、然レドモ全ク之ヲ見ザルニハアラズ、藥用ノ爲メ諸種物質ノ中毒ニ因シテ之ヲ見ルコトアリ。症候、經過、療法皆大人ノモノト異ナラズ。

第二章　官能的神經病

第一　痙攣質又名痙攣性素質 Spasmophilia od. spasmophile Diathese

痙攣質トハ比較的幼少ナル年代ニ特有ナル神經系統ノ興奮性過敏ノ狀態ニシテ、末梢神經ノ電氣的竝ニ機械的刺戟ニ對シテ過敏ナルコト及ビ容易ニ强直性及間代性痙攣發作ヲ呈スルコトヲ以テ特徵トナス

本病ハ幼少ナル小兒ニ於テ非常ニ屢見ルモノニシテ、小兒痙攣ノ大部ハ本病ニ屬スルモノナル可ク、一見健康ナルガ如キ小兒ニ於テハ危險症候ハ現ハレザル限リ、周圍ノ注意ヲ惹カズシテ止ムモノ亦尠カラズ。此潛伏狀態ニ於テ之レヲ注意スルハ其病

「テタノイド」狀態潛伏性「テタニー」

症實現ニヨル危險ヲ豫防スル上ヨリ甚ダ緊要ナル事項ナリトス。此潛伏狀態ヲ「テタノイド」狀態 Tetanoider Zustand 潛伏性「テタニー」latente Tetanie ト云フ。此狀態ノ特徴ノ第

エルブ氏現象

一ハ平流電氣ニ對スル興奮性過敏ニシテ之ヲ「エルブ氏現象」Erbsches Phenomen ト云フ。即チ普通狀態ニ於ケル神經幹ノ陰極開斷攣縮ハ五「ミリアムペール」以上ノ强サヲ有スル電流ニアラザレバ之ヲ見ザルモノナルニ、「スパスモフィール」狀態ニアリテハ遙ニ之ヨリ弱キ電流ニ於テモ已ニ之ヲ見ルモノナリ。之ヲ檢センニハ電流ノ不積極ヲ胸部ニ積極(三平方仙迷ノスティンツィング氏標準電動子)ヲ正中神經刺戟點ニ置キテ通電ス、而シテ其際ニハ最小攣縮ノ價ヲ求メンガ爲ニハ弱電流ヨリ始ムルヲ要ス、然ラザレバ興奮性過敏ノ爲ニ陰極閉合「テタヌス」ヲ起シ、開斷攣縮ヲ見ル能ハズ。此檢査ニヨリ五「ミリアムペール」以下ニシテ現ハルル陰極開斷攣縮ヲ見レバ、明ニ「スパスモフィリア」ノ存在ヲ證ス。

機械的興奮性過敏

第二ノ特徴タル機械的興奮性過敏ヲ檢スルハ電氣的ノソレニ比シテ頗ル簡單ナモ、確實ノ度ニ於テハ之ニ及ブ可カラズ。即チ打診槌ヲ以テ神經幹ヲ輕打スルトキハ其支配下ノ筋肉ニ於テ、恰モ電氣的刺戟ノ場合ニ於ケルガ如ク電擊的攣縮ヲ見ル可シ。此現象ハ顔面神經ニ於テ之ヲ檢スルコト最容易ナリ、即チ頰部ヲ打診槌又ハ指頭ニテ輕打スレバ全顔面筋肉ハ電擊的ニ攣縮ス、之ヲ顔面神經現象又ハクヴステック氏徴候 Facialisphänomen oder Chvostekisches Zeichen ト云フ。此檢査ハ小兒ノ笑ヒ又ハ泣ク場合即チ其顔面ニ神經興奮アル場合ニハ成功セズ、又直接ノ筋肉自家攣縮ハ此現象ト誤認セラルルコトアルニヨリ注意ヲ要ス、殊ニ乳兒ニ於テ然リトス。即チ神經ヲ通ジテ現ハルル攣縮ニシテ始メテ此現象ノ存在ヲ證スルモノナリ、例ヘバ咬筋ヲ輕打スルニアタリテ外皆ニ攣縮ヲ見ルガ如キハ本證ノ存在ヲ確ム。乳兒ニ於テハ此顔面神經現象ハ診斷上重要ナル意義ヲ有シ殆ンド之ニヨリテ電氣的檢査ノ代用トナスコトヲ得可キモ、稍〻長ジタル小兒ニ於テハ「スパスモフィール」的素質ノ證明トナスニ足ラズ。

トルソー氏現象

第三ニハトルソー氏現象 Trousseausche Thänomen ト稱シ、上膊ヲ縛シ又ハ內二頭筋溝ヲ壓スルトキハ「スパスモフィル」的素質ヲ有スルモノニアリテハ其手ニ痙攣ヲ起ス、往々所謂產醫手ヲ呈スルモノアリ、此現象ハ直ニ起ルモノアリ又ハ二、三分後ニ始メテ現ハルルモノアリ、而シテ此現象ハ本病以外ノ神經疾患ニハ之ヲ見ズ、然レドモ本現象ノ消失ハ疾病ノ消失ヲ示スモノニアラズ。本現象ハ始メ血管ノ壓迫ニヨル貧血ノ結果ト考ヘラレシモ最近ニ於ケル實驗的研究ニヨリ、手關節ノ壓迫ニ於テモ之ヲ見ルヲ得ルニ至リ、神經幹ノ壓迫ニヨル反射現象ナルヲ知ルニ至レリ。本徴候ノ檢出ニハ往々危險ヲ伴フコトアルヲ以テ注意ヲ要ス、殊ニ聲門痙攣後ヲ見ヨ)ヲ有スル患兒ニ於テハ此檢査ノ爲メ發作ヲ來シテ危險狀態ニ陷ルコトアリ。

ホフマン氏現象

第四ニ本狀態ニアリテハ多クノ場合ニ於テ知覺神經ノ機械的竝ニ電氣的興奮ノ過敏ヲ見ル、之ヲホフマン氏現象 Hoffmannsches Theuomen ト云フ、即チ神經幹例ヘバ上眼窩

神經、尺骨神經、大耳神經其他ヲ輕ク壓スルトキハ健者ニテハ僅ニ其局部的感覺ヲ有スルノミナルニ「スパスモフィール」的狀態ニテハ放散的疼痛ヲ起スモノトス。電氣的感覺ニ於テハ其關係稍、複雜ナリ、先ヅ健者ニ於テハ弱流ヲ以テスレバ電流ノ强サニ從ヒ陰極閉合感覺、陰極閉合持續感覺、陽極閉合感覺、陽極閉合持續感覺ノ順ニ於テ知覺神經ノ興奮ヲ來ス、更ニ進ンデ電流ヲ强ムルトキハ其感覺ハ局部的タルニ止マラズ放散性疼痛トナルヲ常則トス、然ルニ「スパスモフィール」的素質ニ於テハ極メテ弱度ノ電流ニヨリ已ニ放散性疼痛ヲ起ス。

「スパスモフィリア」ノ三型

臨牀的病像上述ノ四特徴ニヨリテ一括セラルル「スパスモフィリア」ハ其現顯ノ樣式ニヨリ三型ニ分ツテ記載スルヲ得可シ。曰ハク聲門痙攣、又ハ呼吸痙攣、曰ハク小兒急癇、又ハ小兒搐搦、曰ハク「テタニア」是ナリ。此等ノ狀態ハ單獨ニ現ハルルコトアリ又ハ二型結合シテ現ハルルコトアリ、然レドモ「テタニア」ハ乳兒ニ於テハ稀ニ之ヲ見ルノミ。凡テ此「スパスモフィル」的狀態ノ示現ニ先ツテハ小兒ハ精神的ニ變狀ヲ來スヲ常トスルモノナリ、例ヘバ一定ノ人以外ハ近クヲ許サズ、涕泣シ易ク、且物ヲ怖レ易ク、一種固有ノ不安ニ陷ルヲ常トシ、眼眸苦悶的ニシテ顏貌ニ緊張ヲ有シ、周圍ニ甚シク注意スルノ色アルヲ常トス。

聲門痙攣又ハ呼吸痙攣

(一)聲門痙攣又ハ呼吸痙攣 Laryngospasmus (Stimmritzen Krampf, Glottiskrampf) oder Athem Krampf (Respiratives Krampf.)

「スパスモフィリア」ノ一顯現型式トシテ來ル聲門痙攣ハ始ンド凡テノ例ニ於テ佝僂病ヲ患フル乳兒ニ限ル、滿二歲以後ノ兒童ニ於テハ殆ンド本症ノ來ルヲ聞カズ、是小兒急癇及「テタニア」ト殊ナル點ナリトス。

輕症聲門痙攣

輕症ノ聲門痙攣ハ單ニ吸息ニ際シテ呻吟ヲ發スルニ止マリ、他ニ何等ノ支障ヲ見ザルモノアリ而シテ、其來ルヤ多クハ小兒ノ興奮ニ際スルモノニシテ、涕泣又ハ嗤笑ニ於テ之テ見ルノミナレバ往々周圍ノ注意ヲ惹クニ至ラザルコトアリ、然レドモ識者一タビ此種ノ呻吟ヲ聞ケバ直ニ此ニ疑ヲ挾ミ「スパスモフィリア」ノ存否ヲ檢スルノ動機トナル。斯種ノ輕症聲門痙攣ヲ放置セバ往々ニシテ重症痙攣ノ襲來アリテ不測ノ危險ヲ釀スコトアリ。

重症聲門痙攣

重症聲門痙攣ニ際シテハ小兒ハ俄然蒼白トナリ、頭部ハ後方ニ垂レ呼吸ハ停止ス。是ニ於テ小兒ハ呼吸ノ恢復ニ努力スルモ遂ニ效ナク、眼球ハ突出シ、口脣ハ紫色トナリ、顏面ノ皮膚ハ冷汗ヲ湛ヘ、漸次土色ヲ帶ブルニ至ル。意識喪失シ僅ニ口角及眼裂ニ於ケル二三ノ攣縮ヲ存スルニヨリテ其生命ノ尙保タルヲ知ル、次デ小兒ハ四肢ヲ弛緩シテ垂下シ、屎尿ノ失禁ヲ來ス、其狀死ニ陷レルニ異ナラズ。幸ニシテ痙攣ノ緩解ヲ來セバ、呼吸少シク通ジテ嚠々ノ音ヲ聽取セシム、次デ稍、深キ呼吸之ニ續キ、漸次ニ常息ニ恢復ス。小兒ハ後數分間ハ疲勞ト苦惱トニ堪エザルモノノ如ク茫然トシテ坐ス。發作ニシテ此種ノ終ニ取ルハ極メテ幸ナル場合ニシテ、每常必ズシモ然ル能ハズ、發作ノ中途ニ於テ死ノ襲來スルコト決シテ稀ナラズ、卽チ窒息死ニ

アラズシテ、小兒ハ往々急突ナル心臟靜止ノ爲ニ生命ヲ失フ、事茲ニ至レバ人工呼吸ノ法ヲ講ズルモ已ニ之ヲ救フ可カラズ。又聲門痙攣ハ直ニ全身搖搦ニ移行スルコトアリ。此發作ニ往々ニシテ一晝夜ニ亙リテ輕重相交互シテ反復スルコトアリ。夜間ニアリテハ發作ノ度稍〻少ナキガ如シ。發作ノ誘發原因ハ精神的興奮ニアルコトアリ、又ハ胃部充實ニヨリテ來ルコトアリ。呼吸痙攣中殊ニ危險ナルハ呼息ノ位置ニ於ケル

呼息時無息

呼吸停止所謂呼息時無息 sogen. exspiratorische Apnoe ニシテ、呻吟的吸息ヲ聞クコトナキニヨリテ、周圍ノ注意ヲ惹カズ爲メニ互ニ生命ノ危險ヲ來ス。又極重症ナルモノニアリテ全呼吸筋肉ノ强直ヲ來シ、横隔膜モ共ニ强直スルコトアリ、甚シキハ發作ノ初ヨリシテ全身ノ强直ヲ呈スルモノアリ。

小兒急癇

(二)小兒急癇 Eklampsie infantilis, Konvulsionen, Fraisen, Gichter

乳兒又ハ比較的幼少ナル兒童ニ來ル全身又ハ局限セル筋肉攣縮ニシテ常ニ意識喪失ヲ伴フ。其痙攣ノ有樣ハ全ク眞正ノ癲癇ニ異ナラズ。輕症急癇ハ顏面ノ凝固乃至ハ蒼白ヲ呈スルニ過ギザルコトアリ、又ハ之ニ加フルニ僅ニ眼球及眼瞼ノ攣縮運動ヲ以テスルコトアリ。稍〻重キモノニアリテハ廣ク諸筋ニ痙攣ヲ起ス。而シテ其痙攣ハ一側ヨリ始マリテ漸次他側ニ及ブコトアリ。意識ハ最初ヨリ消失シ、瞳孔ハ反應ヲ失フ、皮膚刺戟ヲ感覺セザルニ至リ。痙攣ハ多クハ間代性ニシテ、稀ニハ强直性痙攣ヲ以テ始マルコトアリ、而シテ此場合ニハ次グニ聲門痙攣ヲ以テスルコト往々ナリ。重篤劇

急癇持續狀態

甚ナル場合ニハ其容態ハ變化ニ富ミ、顏面ハ忽ニシテ假面樣ニ凝固シ、忽ニシテ攣縮ノ頻發ニヨリテ種々ノ顰蹙ヲ呈ス、眼球ハ間斷ナク突衝的又ハ轉竄的運動ヲナス、上方ニ竄入シテ鞏膜ノミヲ現ハシ白眼ヲ呈ス、舌モ動キ、往々口邊ニ泡沫ヲ湛フ、而シテ齒牙發生後ノ小兒ニ於テハ泡沫ハ屢〻血液ヲモッテ染メラル。全身ニモ反復シテ突衝的運動ヲナシ、呼吸又斷續シテ其呼息ニ際シテ呻吟ヲ發スルコトアリ。顱門ハ發作時ニ於テハ極度ニ緊張ス、脈搏ハ頻數トナリ、律亦不正トナル。發作ノ際マタハ其直後ニハ屢〻放屁、尿屎ノ失禁ヲ見ル。發作ハ運動性刺戟ノ消散ト共ト漸次終ヲ告ゲ、睡眠ニ移行シ、數時ノ後覺醒シテ多少弛緩ノ容ヲ呈ス。此急癇發作ノ持續ハ半分乃至二分ニシテ三分、五分ニ及ブモノハ極メテ稀ナリ。然レドモ此發作ノ反復數回乃至數十回ニ及ビ所謂急癇持續狀態 Status eclampticus ヲ呈スルニ至ルコトアリ。斯ノ如キ場合ニハ發熱ヲ來スヲ常トシ、往々四十度以上ニ達スルコトアリ、蓋シ體熱中樞ノ刺戟ニ因スルモノナラン。

小兒急癇ハ唯一回ノ發作ヲ以テ終ルコトアルモ是稀有ノコトニ屬シ、多クハ時々此發作ヲ反覆スルモノトス。然レドモ其反覆ハ規則的ナラズ、日ニ數回ナルモノアリ、更ニ多キモノアリ、一定セズ。聲門痙攣ノ如ク危險ヲ將來スルコト鮮シ。發作ノ誘因トナルモノハ腹部瓦斯蓄積又ハ消化不良ニアルモノノ如シ、又熱性疾患ノ初期ニ於テ急癇發作ヲ來スモノ少カラズ、殊ニ乳兒ニ於テ然リトス。稍〻長ジタル兒童ニ於テ所謂反

反射痙攣

生齒痙攣

後發急癇

「テタニア」

産醫手

乳兒ノ「テタニア」

獸脚位

射痙攣 Reflexkrämpfe ト稱シ蛔蟲、便秘、異物其他ニヨリテ來ルモノトセラルル痙攣モ亦ラク此種ニ入ル可キモノナラン、齒牙發生時ニ來ル生齒痙攣 Zahnkrämpfe 亦然リ。又始メ癲癇ト認メラレ後全ク治癒ニ歸スルモノハ虔ラク後發急癇 Späteklampsie ト稱シテ可ナルモノナル可シ。

(三)「テタニア」Tetania (Tetanie, 手足痙攣 Karpopedalspasmen 關節彎曲 Arthrogryposis)

手ニ特有ナル强直性痙攣ヲ來シ所謂産醫手 Geburtshelferhand ヲ呈ス。卽チ手指ヲ其第一節ニ於テ强ク屈曲シ中節及末節ハ極度ニ伸展シ、而カモ互ニ相壓集シ、拇指ハ之ヲ手掌ニ向テ屈シテ他手ノ下ニ隱ル。若シ之ニ加フルニ手關節及肘關節ニ於テ腕ヲ屈曲シ且之ヲ軀幹ニ引キ付クルトキハ之ヲ特ニ獸脚位 Pfötchenstellung ト稱ス、上肢ニ於ケル此等ノ强直性痙攣ニ類スル痙攣ハ下肢ニ於テモ之ヲ見ル。凡テ此等ノ痙攣ハ數時間ニ亙リテ持續シ、多クノ場合ニ於テ疼痛ヲ有ス、而シテ其持續稍長ニ亙ル時ハ掌背及足背ニ、更ニ進ムトキハ手關節又ハ足關節ノ上部ニモ及ビテ浮腫ヲ來ス。乳兒ノ「テタニア」ニ於テハ其形上記ノ如クニハ典型的ナラズ、卽チ指ハ寧屈位ヲ取リ、時ニハ撒開ス然レドモ拇指ハ常ニ手掌ニ向ツテ屈シ、他指ノ爲

第八十七圖

「テタニア」ノ際ノ足部ノ狀態

第八十八圖

「テタニア」ノ際ノ手ノ狀態

ウッフェンハイメル氏「テタニア」顏貌

鯉口

反想的尿閉

持續「テタニア」

憂ヒ事ヲ案ズルニ似タリ、ウッフェンハイメル氏「テタニア」顏貌 Uffenheimers Tetaniegesicht 卽是ナリ。又重症ナル者、殊ニ稍長ジタル小兒ニアリテハ口脣ヲ前突シ、且ツ少シク之ヲ尖突スルコトアリ、卽鯉口 Karffenmund ノ名ヲ以テ呼バル。此他項筋ニモ痙攣ヲ來シテ持續的ニ後弓反張ヲ呈シ、且ツ虹彩ノ平滑筋ニモ痙攣ヲ來シテ瞳孔不同及其反應鈍麻ヲ來スガ爲メニ腦膜炎ト誤認セラルルコト少カラズ。又軀幹筋ニモ强直性痙攣ヲ來スコトアリ、然レドモ多クハ對稱的ナリ。又疾病ノ高潮時ニハ膀胱筋ノ痙攣ヲ來シ排尿ニ障碍ヲ來スコトアリ卽チ反想的尿閉 Ischuria paradoca ヲ來シ、尿ハ膀胱ニ充滿シ、膀胱底部ハ臍高ニ達スルニ至リ、僅ニ少量ヅツノ尿ヲ持續的ニ洩ラスモノアリ。「テタニア」發作ノ持續型ヲ持續「テタニア」persistente Tetanie ト稱ス、此型ニアリテハ數日ニ被ハルルコト最モ多シ、故ニ一見乳兒ニ多ク見ル結拳ノ位置ニ類スルモ、其不隨意的攣性屈曲ニ注意スレバ通常ノ結拳ヨリ區別スル困難ナラズ。足ノ「テタニア」位ハ乳兒ニ於テモ誤認セラルルコトナシ。手足以外ノ筋肉ニ於テモ此痙攣ヲ見ルコト少シトセズ、就中顏面ニ於テ最モ多シ、卽チ表情諸筋ノ緊縮ニヨリ顏貌ハ最モ物ヲ

乃至數週ニ亙リテ存續スルモノニシテ脊痩セル小兒又ハ慢性營養障碍ヲ有スル小兒ニ於テ見ル處ナリ。此型ニ於テハ疼痛ナク又浮腫ヲ缺クヲ通常トス。

「テタニア」發作ノ誘因ニ關シテハ明ナラズ。持續「テタニア」ニ就キテハ組織ノ水分消失又ハ分子的變化ト關係アルモノト考ヘラル。

心臓「テタニア」

(附)心臓「テタニア」　「スパスモフィリア」ノ諸型ハ皆心臓麻痺ヲ以テ突然死ヲ將來スル危險ヲ有ス、之ヲ心臓「テタニア」Herztetanie ト云フ。殊ニ聲門痙攣ヲ有スル患兒ニ於テ之ヲ見ルコト多シ。此心臓「テタニア」ノ誘因ハ過度ノ食餌攝取ニアルガ如シ。

經過及豫後　痙攣性素質ハ急速ニハ治癒スルモノニアラズ。唯其個々徵候ハ一時消散スルコトアルノミ、而シテ斯ノ如キハ之ヲ誘發ス可キ諸多原因ノ止ム時ニ於テ之ヲ見ルノミ、其原因ノ再來スルアレバ直ニ復本病ノ示現ヲ見ル。又夏時ニ於テハ本病ノ示現少ナキモ冬時ニ於テハ再發ヲ見ルヲ常トス。一般ニ本病ノ經過ハ個人的ニ特有ナルガ如シ。

本病ヲ患フル兒童ハ大半將來神經病質又ハ叡智陷缺狀態ニ陷ルモノニシテ全然通常ナル發育ヲ遂グルモノハ全數ノ三分一ニ滿タズ。

診斷　上來已ニ述ベタルガ如ク、エルブ氏現象、クヂステック氏徵候、トルサッ氏現象及示現セル「テタニア」痙攣ヲ見レバ直ニ明カトナル。之ニ反シテ聲門痙攣ハ他種ノ疾病例ヘバ腦膜炎ノ場合ニ於テモ症候的ニ現ハルルコトアリ、又後章ニ述ブベキ小兒ノ

「スパスモフィール」性根基ナラザル痙攣狀態

急怒痙攣　Wutkrämpfe ナル狀態ハ往々ニシテ聲門痙攣ト誤認セラルルコトアルモ、呻吟性吸息ノ缺如ニヨリ熟練シタル人ニハ直ニ區別シ得可シ。

小兒ニハ上述ノ如キ「スパスモフィール」性根基ナラザル諸種ノ痙攣狀態ヲ來ス。即チ腦畸形、腦空洞、腦出血、腦硬化、腦黴毒、腦水腫、腦膜炎等ハ器質的根基ニ因スル場合ニシテ。此他ニハ中毒ニヨルモノアリ、酒精、阿片、「サントニン」、菌毒及其他ノ植物毒是ナリ。又尿血症ニ於テモ痙攣ヲ來スコトアルハ大人ニ異ナラズ。此他腸管性自家中毒ニヨルモノト見做サルルモノアリ、又本性不明ナル所謂反射痙攣ナルモノアリ。又眞正癲癇ノ最幼時ニ於テ已ニ發現スルモノアリ。此等諸多ノ痙攣狀態ヲ一々鑑別センコトハ極メテ必要ナリト雖ドモ、其顯現病像互ニ酷似スルヲ以テ明確ニ區別スルコトハ極メテ困難ナリ。唯上記ノ機械的竝ニ電氣的興奮性過敏ノ證明セラルル場合ニハ之ヲ「スパスモフィール」性ノモノトナスヲ得可キノミ。然レドモ「スパスモフィール」性小兒急癇ノ三箇月未滿ノ乳兒ニ來ルコトハ未ダ聞カザル處ナリ。此時代ニ來ル痙攣ハ多クハ腦ニ器質性疾患ノ有スルヲ示ス、又痙攣ニ續キテ麻痺ヲ來ス場合亦然リ。第二ニ重要ナルハ腰椎穿刺ニシテ、之ニヨリテ確診ヲ下シ得ルコト尠カラズ。又癲癇ニ疑フ可キアルモノニハ其尊族ニ同病ヲ證明スルコト往々ナリ。又高熱ヲ以テ來ル小兒痙攣ハ急性傳染ノ初徵ニ疑ヲ置ク可シ。

原因　痙攣性素質ノ原因ニハ種々ノ要素ヲ考フルヲ得可シ、第一ニ考フ可キハ遺傳

官能的神經病　痙攣質痙攣性素質

ナリ、例ヘバ聲門痙攣及小兒急癇ノ家族病トシテ現ハルルハ吾人ノ屢遭遇スル所ナリ、又痙攣性素質ヲ有スル小兒ノ母ニハ顔面神經現象ヲ證明スルコト尠カラズ、又痙攣性素質ハ之ヲ神經病質性體質ノ一現顯形式トモ見ルコトヲ得可シ、又本病ハ時候ニ關係ヲ有スルモノノ如ク、夏季ニ少ナク春冬ニ亙リテ多シ、是ヲ以テ本病ノ原因ヲ以テ換氣ノ不完ヨリ來ル呼吸毒ニ歸セントスルノ考ヲ抱ク人アリ、原因學上ヨリノミナラズ治療的方面ヨリ見テモ重要ナルハ本病ノ營養ト密接ナル關係ヲ有スル點ナリトス、即チ母乳兒ニハ殆ンド本病ノ冒ス處トナルモノヲ見ズ、且ツ牛乳營養ニヨル兒童ニシテ本病ヲ發スルモ之ヲ廢シテ母乳ヲ以テ代フル時ハ眞ニ其ノ消散スルヲ見ル、年齡ニ於テハ四箇月前ニハ之ヲ見ルコトナリ、最モ多キハ六ケ月乃至十四箇月ノ小兒ニ多ク滿二年後ニ於テハ甚ダ少シ、諸種ノ傳染病、營養障碍、消化不良ハ本病發作ノ誘發ニ關係ヲ有ス、又佝僂病ト合併シテ來ルノ事實アリ、爲ニ本病ヲ以テ佝僂病ノ一部現象ト見ント欲スル學者アルモ、蓋シ誤ナラン、病理學的ニハ一種ノ中毒作用、換言スレバ新陳代謝ノ障碍ニ歸ス可キガ如シ、エシェリッヒ氏ハ甲狀腺周圍ノ上皮細胞小體ノ障碍ニ因ルモノトシテ、實驗的研究ニヨリ、上皮細胞小體說 Epithelkorperchen-theorie ヲ樹立セリ、此說稍〻信ズ可ガ如シ。

神經病質性體質時候

營養トノ關係

上皮細胞小體說

療法　原因論ノ條下ニ於テ既ニ述ベタルガ如ク、本病ノ誘發ニハ營養狀態ノ關係スルコト尠カラザルヲ以テ、豫防上ヨリモ此點ニ留意スル處アルヲ必要トナス、即チ人乳、光線、空氣

人乳、光線、空氣

乳光線及空氣ノ三者ハ常ニ忘ルルヲ許サズ、此三者ハ唯ニ豫防上ニ重要ナルノミナラズ、已ニ發現セル「スパスモフィール」狀態ヲ治療スルノ效アルモノナリトス、若シ止ムナクシテ人工營養ヲ要スル場合ニハ成ル可ク簡易ナルモノヲ選ビ、牛乳ノ量ヲ減ジ代フルニ含水炭素ヲ以テスルヲ宜トス、殊ニ稍〻長ゼルモノニアリテハ出來得ル限リ混合食餌ヲ攝ラシム可シ、大食ハ聲門痙攣誘發ノ恐アルヲ以テ努メテ避ケザル可カラズ、又食餌療法ノ傍ラ含燐肝油(燐〇・〇一、肝油一〇〇・〇毎日二回五・〇宛)ヲ與フルモ可ナリ、又醋酸「カルシウム」或ハ乳酸「カルシウム」〇・五―一・〇ヲ水ニ溶解シテ一日三回與フルモ效ヲ奏スルコトアリ。

聲門痙攣又ハ急癇ノ發作ニ際シテハ先ヅ下劑ヲ施シ又ハ灌腸ニヨリテ腸內容ノ排除ヲ以テ第一義トス可シ、而シテ能フ限リ輕キ食餌ヲ與ヘテ數日ヲ持續ス、痙攣甚シキ場合ニハ「クロロラール」ノ注腸ヲ行フ、急癇持續狀態ニハ「クロロフォルム」ノ吸入ヲ行フ然レドモ是非常ノ場合ニ限ル、又此狀態ハ腰椎穿刺ニヨリテ之ヲ救フヲ得ルコトアリ、重篤ナル聲門痙攣ニ對シテハ先ヅ患兒ノ恐怖ヲ買フガ如キ處置ハ一切之ヲ避ケザル可カラズ、例ヘバトルソウ氏現象ノ檢査、不用ナル人ノ蝟集等ノ如シ、重キ發作來リテ、待ツモ去ラザルトキハ冷水ヲ顔面ニ灌注ス、尙呼吸ノ疎通ヲ見ザルニ於テハ互ニ指ニテ舌根ヲ壓シ、傍ヨリ人工呼吸法ヲ施コシ、心臟ヲ守ランガ爲ニ「カンフル」油ノ注射ヲ施コス、斯ノ如クシテ一回ノ嗚鳴的吸息ヲナサバ更ニ進ンデ手ヲ加フルコト

ヲナサズ之ヲ安臥セシム可シ。然ラザレバ再ビ發作ノ襲來ヲ誘フノ恐アリ。呼吸尚恢復セザルニ於テハ氣管切開ヲ行フコトアルモ、多クハ已ニ十日ノ菊ニ終ル。蓋シ其手術前ニ多クハ心動停止ヲ見レバナリ。

第二　點頭及廻首痙攣 Spaomus untans et rotatorius

掉頭 Wackelkopf

頭首ヲ左右ニ廻旋シ又ハ掉動シ或ハ稀ニハ點頭樣ノ運動ヲ整律的ニ反覆スル狀態ニシテ、小兒ハ臥位ニ於テ之ヲ行ヒ、其際意識ヲ喪フコトナシ。本病ハ比較的稀有ノ疾患ニシテ生後四箇月乃至滿三歲ノ小兒ニ之ヲ見ル。持續ハ數週ヨリ數月ニ亙ルコトアリ、而シテ其間消長ヲ來シ又ハ再發スルコト稀ナラズ、頭部運動ハ物體凝視ノ際ニ殊ニ其度ヲ增スモノニシテ、其際著明ナル眼球震盪 Nystagmus ヲ呈ス。唾眠中ニハ此運動全ク止ム。

眼球震顫

本病ハ佝僂病性小兒ニ多シ、神經性負因ヲ見ルコト尠カラズ、然レドモ其直接原因ハ住居ノ光線不足ニ之ヲ求ム可キガ如シ。從テ療法ニ關シテハ光線ノ充分ナル居室ニ移スヲ第一トシ、兼テ佝僂病及ビ體質ノ不良ニ對シテ戰フヲ要ス

直接原因

第三　似而非「テタヌス」 Tsendotetanus

病像ハ全ク眞性ノ外傷性「テタヌス」Tetanus traumaticus ニ異ナラズ、通常發熱ナクシテ急性ニ其最高潮ニ達ス、然レドモ外傷性「テタヌス」ノ如ク創傷ヲ見ルコトナク、又「テタヌス」桿菌ヲ證明スルコトナシ。先ヅ脚部ヨリ始マリ軀幹筋、背部、項筋、顏面筋ニ「テタヌス」性强直ヲ來シ、牙關緊急亦現ハル、唯手、腕及眼ノ筋肉ハ侵サルルコトナシ。精神興奮、周圍ノ喧噪等ニヨリテ痙攣發作ノ誘發セラルルコトハ眞正「テタヌス」ト同樣ナリ、睡眠中ニハ强直ハ稍〻寬解スルモ、全ク消散スルコトナシ。「スパスモフィール」素質ハ之ヲ認メズ。數週間ノ經過ヲ以テ多クハ全治ノ轉歸ヲ取ル。

外傷性「テタヌス」ト鑑別診斷

本病ハ比較的稀有ノ疾患ニシテ、四五歲ノ小兒ニ見ルコト最モ多シ、然レドモ乳兒ニ於テモ時ニ之ヲ見ザルニアラズ。本病ノ本性今日尚全ク不明ニ屬ス、恐ラク眞正「テタヌス」ト關係アルモノナランカ。

處置ハ對症的ニ之ヲ施スニ過ギズ、必要ニ應ジテ「ブロラール」、「ブロローム」或ハ「モルフィン」ヲ試ミル可ク、又攝食不能ニハ消息子營養ヲ要スルコトアリ。眞正「テタヌス」ノ疑ヲ存スル場合ニハ其固有ナル血清療法ヲ施スヲ怠ル可カラズ。

第四　癲癇 Epilepsie, Morbus sacer, Tallsucht.

癲癇ハ小兒ニハ甚ダ頻繁ニ見ル疾病ナリ、其病像ハ大人ニ來ルモノニ比シテ特殊ノ點ナキヲ以テ、茲ニハ唯其大略ヲ述ブルニ止メ、詳細ハ內科學及精神病學ノ記スル處

ニ讓ル。

原因　癲癇ハ通常原因ニヨリ分ツテ二種トナス、一ハ症候性癲癇ニシテ一ハ眞正癲癇ナリ、症候性癲癇 Symptomatische Epilepsie トハ其基ク處諸他ノ器質性腦疾患ニアルモノニシテ、腦ノ炎症性變質性機轉、瘢痕形成、囊腫等ニ來ル者是ナリ、其他外傷ニ基クコトアリ、又所謂腦性小兒麻痺ノ終末狀態トシテ之ヲ見ルコトハ已ニ其條下ニ之ヲ述ベタリ。眞正癲癇 genuine Epilepsie トハ上述ノ如キ器質的素地ノ認ムベキモノナキ場合ニ名ケタルモノニシテ、原因ニ於テハ遺傳關係ヲ以テ最モ重シト爲ス可キガ如シ、例ヘバ癲癇諸種ノ神經病及精神病ノ如キ是ナリ、又父母ノ飲酒殊ニ生殖時ニ於ケル飲酒ト密接ナル關係ヲ有ストノ說アリ、所謂胚種侵害 Nermschädigung ノ說卽是ナリ又遺傳黴毒ニヨリテ來ルモノ少カラザルガ如シ、殊ニ最近ノ研究ニヨレバ嚴密ナル意義ニ於ケル眞正癲癇ノ實在ニ就イテハ人大ニ之ヲ疑フニ至レリ、然レドモ一方ニハ何等認ム可キノ解剖的變化ナキ癲癇ノ存スルニヨリ今暫ク此名稱ヲ保存ス可シ而シテ此章主トシテ說ク處ハ此眞正癲癇ニ關ス。

症候　癲癇ノ顯現形式ニハ三種ヲ分ツ、一ニ曰ハク大發作、二ニ曰ハク小發作、三ニ曰ハク等價症卽是ナリ。

大發作

(一)大發作 grosser Anfall, grand mal 種々ノ「アウラ」Aura ヲ以テ始マリ、顏面蒼白トナリ、顚倒シテ失神ニ陷リ、全身ノ强直性痙攣ニ次グニ屢〻「チアノーゼ」ヲ來シ、遂ニ一定時ノ間代性痙攣ノ後弛緩シテ睡眠ニ移行スルハ全ク大人ニ於ケルニ異ナラズ、間代性痙攣ノ時期ニ於テハ咬舌ヲ來シ口邊ニ血液ヲ混ズル泡沫ヲ出シ、又大小便ノ失禁ヲ見ルコトアリ。瞳孔ハ痙攣時ニアリテハ散大シテ全ク光線反應ヲ缺ク、又小兒ニ於テハ初發喚叫及ビ「アウラ」ヲ缺如スルコト稀ナラズ、發作ノ時間ハ長短種々ニシテ平均數分時ナリ。

癲癇持續狀態

本病ノ重キモノハ癲癇持續狀態 Status epilepticus ヲ來タシ、死ノ轉歸ヲ見ルコト稀ナラズ。

小發作

(二)小發作 Kleine Aufälle, Epilepsia minor, Petit mal, rudimentäre Aufälle ハ大人ニ比スレバ小兒ニ於テ比較的頻繁ニ觀察セラルルガ如シ、卽チ極メテ短時間ノ失神ト眩暈トヲ以テ來ルモノアリ。

不在症

又不在症 Absence ト稱シテ一瞬時自我ヲ喪失スルモノアリ、或ハ急突ニ患兒ハ蒼白トナリ、一方ヲ諦視シ、營ミ來レル動作ヲ中絕シ、又ハ手ニセル物體ヲ取リ落スニ至ル、發作去レバ卽チ始メ營メル動作ヲ再始シテ繼續ス、又稍〻强キ發作ニアリテハ一定部位ノ筋肉ニ數回ノ電擊樣攣縮ヲ來スモノアリ、佛人之ヲ「セクーセ」「セクーセ」Petit Consses ト云フ。又恰モ挨拶ヲナスガ如ク、頭部又ハ全身ヲ前屈シテ之ヲ反復スルモノアリ、之ヲ點頭癲癇 Epilepsia nutans ト云フ、之ニアリテハ意識喪失ノ全カラザルコトモ往々ニシテ之アリ、又突然前進シテ、障碍物ニ衝突シテ始メテ意識喪失ノ狀態ニ陷リ多少ノ痙攣ヲ以テ終結ヲ告グルモノアリ、之ヲ前走癲癇 Epilepsia procursiva ト云フ。此

點頭癲癇

「セクーセ」

前走癲癇

等小發作ニ於テハ一見意識喪失ヲ見ザルガ如ク見ユル場合多キモ發作後ニハ通常之ニ關シテ記憶脫失 Amnesia ヲ呈スルモノナリ。

精神的等價症

夢幻樣錯亂狀態

睡遊狀態

(三)精神的等價症 psychische Aequivalente 精神等價症ハ小兒ニ於テハ大人ニ於ケルガ如ク重大ナル問題ヲ惹起スルコト少ナシ、是小兒ニ於テハ此狀態ニ於テ犯罪的行爲ヲ來スコト甚稀ナレバナリ。然レドモ此狀態ヲ見ルコトハ決シテ稀有ナルモノニアラズ。小兒ニ故ナクシテ機嫌ノ轉換ヲ來スハ多クハ癲癇性素地ニ依ルモノナリ。又不從順、强謂、忿怒等ノ周期的ニ反復スルモノハ多ク癲癇ニ因スルモノナリ。又夢幻樣錯亂狀態 traumhafte Verwirrtheit ヲ來スコトアリ、又一見熟慮アル行爲ナルガ如キモ後ニ記憶脫失ヲ來スニヨリテ其睡遊狀態 Somnambulismus 中ニ行ハレタルヲ知ラシムル種種ノ行爲アリ、例ヘバ走行癖 Wandertrieb ト、家宅侵入ノ如キ是ナリ。然レドモ之ニ對スル記憶脫失ハ此等症候ノ必要條件ニハアラザルガ如シ、然レドモ多クハ少クトモ之ニ對スル追想ハ朦朧タルヲ免カレズ。

經過　**ビルク**氏ハ小兒癲癇ノ經過樣式ヲ研究シテ次ノ三種ヲ分テリ。

間歇時ヲ有スルモノ

(一)間歇時ヲ有スルモノ、乳兒ノ時代ニ於テ癲癇ノ初徵ヲ呈シ、輕キ痙攣ヲ發スルモ一定ノ間歇期間ノ來ルアリテ、全ク發作ナクシテ數年ヲ經過シ、一時癲癇ノ存在ヲ認メラルルコトナク、就學期ニ入リテ再ビ痙攣發作ノ襲來ヲ見、爲メニ其診斷ノ確定スルモノナリ。此種ノ病兒ニアリテハ此間歇時ニ於テモ氣分轉換、刺戟性、夜間驚怖 Pavor nocturnus (後ヲ見ヨ)忿怒發作等ノ神經生活ニ於ケル不確性ノ存在ヲ示スヲ通常トス又其叙智ニ關シテモ薄弱ナルモノ多シ。

幼來間斷無ク痙攣ヲ存スルモノ

稍長ジタル小兒時期ニ初發スルモノ

(二)幼來間斷ナク痙攣ヲ存スルモノ、第一形式ニ比スレバ此形式ヲ取ルモノノ數多シ。

(三)稍長ジタル小兒時期ニ初發スルモノ、多クハ就學年齡又ハ破瓜期ニ初發スル形式ヲ云フ。

上記種々ノ經過ヲ見ルモ其末期ニ於テハ何レノ形式ヲ取ルモノモ皆精神作用ノ鈍麻ヲ來スヲ常トス、甚シキハ深キ痴成 Verblödung ニ陷リ重篤ナルモノニテハ之ヲ白痴 Idiotie ト區別スル能ハザルニ至ル。叙智陷缺甚シカラザルモ其感情生活ニ異常ヲ來シ、忿怒性、刺戟性トナリ之ガ教化ヲ遂グル能ハザルモノ尠カラズ。此精神的變化ハ其痙攣發作ノ多ク且强キ程甚シキヲ常トス。然レドモ全治又ハ輕快ヲ來スモノモ稀ニハ之ヲ見ザルニ、アラズ。要スルニ豫後ハ治療ヲ加フルコトノ早キ程佳良ニシテ一方ニハ其初發ノ遲キ程佳良ナルヲ常則トス。

「スパスモフィール」性小兒急癇トノ鑑別診斷

「ヒステリー」トノ鑑別診斷

診斷　既ニ述ベタルガ如ク小兒期ニ於テハ殊ニ痙攣性疾患多キヲ以テ互ニ誤認セラルルコト尠カラズ。就中必要ナルモノハ「スパスモフィール」性小兒急癇ナリ、之トノ區別ニハ「スパスモフィリア」ニ特有ナル興奮過敏性ヲ檢ス可シ(上章參照)又小兒ニ於テ齒珐瑯質ノ貧弱ハ「スパスモフィリア」性營養障碍ノ一徵トナスコトヲ得可シ。「ヒステリー」トノ區別モ重要ニシテ且困難ナリ、發作ノ際ニ於ケル負傷、咬舌、血性泡沫等ハ癲癇

ノ微候ト見テ可ナル可ク、容易ニ呼ビ覺シ得ルコト及ビ意識ノ保有セラルルコト、竝ニ發作ノ精神的影響ニ左右セラルルコト等ハ「ヒステリー」ノ證ナリ。又瞳孔ノ反射消失ハ癲癇ニ相當ス。記憶脱失ノ有無ハ決シテ兩者ノ區別ヲナスニ足ラズ。

療法　器質的根據ヲ有スル證候性癲癇ノミナラズ、所謂眞性癲癇ニ於テモ外科的手術ニヨリテ(穿顱術 Trepanation)輕快スルモノナキニアラザルガ如キモ、其效ハ甚ダ疑ハシ。

穿顱術

又既ニ述ベタルガ如ク食餌攝取ト癲癇發作トノ間ニ一定ノ關係ヲ認メシムルガ如キ場合少カラズ、殊ニ消化障碍ニ平行シテ發作ノ頻數トナルガ如ク見ユルモノアリ。此種ノモノハ之ヲ新陳代謝性癲癇 Stoffwechselepilepsie ト名ケ、此障碍ノ排除ニヨリ其發作ヲ減ジ得ルモノアリ、而シテ其關係スル處ハ個人的特有ニシテ、或ハ食鹽及「プリン」鹽基ニ富ム物質(肉類)ヲ避ケ、鹽類少ナキ植物性食物ニヨリテ發作ヲ減ジ得ルモノアリ、然レドモ此等ノ食餌療法ニハ常ニ消化不良ナキヲ前提トスルヲ忘ル可カラズ、殊ニ便祕ヲ來サザルニ力ムルヲ要ス。酒精飲料ハ絶對ニ之ヲ禁ズ。

新陳代謝性癲癇

眼ノ屈折系ノ異常

眼ノ屈折系ノ異常ニ注意シテ、其異常ヲ矯正スルヲ要ス、之ニヨリテ發作ノ數ヲ減ジ得ルコト決シテ稀ナラズ。

藥物ニテハ「ブローム」劑ハ缺ク可カラザルモノナリ、就中「ナトリウム」、「カリウム」、「アンモニウム」ノ各鹽ヲ混合シテ用フルヲ宜シトシ、其量ハ稍〻長ジタル小兒ニテハ一日全量六—八・〇ニ達シ得可シ、常ニ個人的ニ之ヲ定ム可ク發作ノ止マル程度ヲ索求セザル可カラズ、而シテ一定量ニ達シタル後ハ之ヲ頓ニ停止スルコトナク、遞減シテ一定量ニ減ジ、再ビ追加シテ原量ニ復シ、數回反復シテ數月乃至年餘ニ亙リテ之ヲ試ミルヲ可トス。此際「ブローム」中毒症 Bromismus トシテ皮膚粉刺ヲ發スルコトアルモ甚シク恐ルルニ足ラズ、皮膚ヲ常ニ清潔ニスレバ之ヲ防グコト難カラズ、又「ブローム」療用中ニ時々ニ咽頭反射ヲ檢シ、其消失ヲ發見セバ是「ブローム」飽和ノ證ナレバ其量ノ遞減ヲ行フ可シ。又フレクシッヒ Flechsig 氏ニ從ツテ「ブローム」ト共ニ阿片ヲ用フルコトアルモ、果シテ特殊ノ奏效ヲ見ルヤ否ヤ疑ハシ。又ツルズ＝リシ＝ Toulouse-Richet 兩氏ニ從ヘバ「ブローム」療用ニ際シテ食鹽ノ攝取ヲ減ズレバ「ブローム」ノ量モ僅少ニシテ效ヲ收ム可シト云フ。

發作自家ニ對スル處置ハ單ニ患者ヲ負傷ヨリ救助スルニアルノミ。發作後睡眠ニ入ラバ安靜ニ保持シテ之ヲ妨ゲザルニ力ム可シ。癲癇持續狀態 Status epilepticus ニ對シテハ抱水「クロラール」(〇・五—二・〇)又ハ抱水「アミレン」(二・〇—四・〇)ノ注腸ヲ行フ可シ、其際「ストロファンツス」丁幾及阿片丁幾ヲ適量ニ混用スルヲ可トス。

就學ハ輕度ノモノニテハ之ヲ廢スルノ必要ナク、稍〻重症ナルモノモ補助學校ニ教育シ得可シ。重症ナルモノハ看護ヲ主トス可キノミ。職業ノ選擇ニ關シテハ家事ノ補助

又ハ園藝ニ從事スル位ニ止ムルヲ最良トス。

稍〻長ジタルモノニアリテハ其所謂睡遊狀態ニ於テ種々ノ恐ル可キ犯罪的行爲ヲ敢テスルモノアルヲ以テ、嚴ニ之ヲ看守スルヲ要ス。

急性關節「ロイマチスムス」トノ關係

第五　舞蹈病 Chorea minor, Chorea St. Viti, Veitstanz, Sydenhamsche Chorea

舞蹈病ハ好ンデ小兒ヲ侵ス一種ノ特有ナル運動障碍ニシテ其特徴ハ個々筋肉ニ現ハルル不隨意的ナル電擊樣攣縮ノ結合ニシテ、其狀恰モ狂熱セル舞蹈者ノ態度ニ似タリ。疾病成立ノ根基ハ之ヲ傳染的機轉ニ求ム可キガ如シ。

原因　本病發生ハ年齡ト性別トニ大ナル關係ヲ有ス、四歲未滿ニシテ本病ノ侵ス處トナルハ極メテ稀有ニ屬シ、其ノ最好ンデ侵ス年齡ハ七歲乃至十二歲ノ間ニアリ、女兒ハ男兒ヨリモ本病ニ侵サレ易ク、男性ト女性トノ比ハ略〻一ト三ニアリ。神經病質性負因ハ本病ノ發現ヲ資クルモノノ如ク、恐怖其他ノ精神的外傷ニヨリテモ本病ヲ誘發スルコトアルモノノ如シ。

本病ト急性關節「ロイマチスムス」トノ關係ハ屢〻人ノ論ズル處ニシテ、諸多ノ立證ニヨリ本病ヲ關節炎及心臟內膜炎ト對立セシメ「ロイマチスムス」性疾患ノ一顯現形ト見做サント欲スル論者少カラズ。此立論ノ根據タル可キ實例ハ之カラザルモ、事實ハ小

青年性舞蹈病
妊娠舞蹈病

兒ニ來ル舞蹈病ニハ比較的此關係少ナク、青年性舞蹈病又ハ所謂妊娠舞蹈病 Chorea gravidarum ニ於テ特ニ「ロイマチスムス」性疾患トノ關係ヲ認ム可キ場合多キハ注意ス可キコトタラズンバアラズ。

本病ノ病理的機轉ニ關シテハ理論ノ唱道セラルルモノ甚ダ多シ。或論者ハ心臟內膜炎ヨリ胸ノ小血管ニ「エムボリー」Embolie(栓塞)ヲ來シ、茲ニ運動性刺戟現象ヲ呈スルモノトナス。然レドモ舞蹈病ニハ此心臟內膜炎ノ徵ヲ呈セズ、只關節「ロイマチスムス」ヲ見ルニ過ギザル例少ナカラザルヨリシテ、是蓋シ「ロイマチスムス」性疾患ノ爲メ腦血管內ニ血栓ヲ生成スルニヨルモノナリト爲ス論者アリ。或ハ又此機械的說明ヲ採ラズシテ、廣ク之ヲ傳染性＝中毒性 infektiös-toxisch ナル腦ノ被害ニ歸セント欲スルモノアリ。殊ニボンヘッフェル Bonhoffer 氏ハ小腦結合腕部及小腦ノ罹患スルニヨリテ此舞蹈病性運動障碍ノ現ハルルモノト解ス。

本病ノ傳染性根源ニ就キテハ人皆之ヲ信ズルモ未ダ其病原體ヲ確實ニ證明スルニ至ラズ。

證候　本病ノ發生ハ極メテ陰微ノ間ニ起リ始ハ人ノ注意スル處トナラズ、其病像漸ク人ノ注意ヲ惹クニ至ルモ尙未ダ之ヲ解シテ病的ト爲サルルニ至ラズ、啻一種ノ惡戲乃至ハ不行跡トシテ長上ノ叱責ヲ蒙ムルニ過ギズ、卽チ患兒ニシテ既ニ登校スルモノニアリテハ其書寫爲ニ妨ゲラレ、屢〻筆ヲ以テ紙面ヲ汚染シテ敎師ノ怒ヲ買フ、家

ニアリテハ食事ニ際シテ碗皿ヲ放擲シ或ハ什器ヲ轉覆スルノ故ヲ以テ父兄ノ折檻ニ會ス。既ニシテ病勢更ニ進ムニ及ンデハ其「ヒョレア」樣運動ハ朋輩兒童ノ注意ヲ惹キ、兒童ハ之ヲ見テ患兒ニ嘲笑ヲ加ヘ或ハ之ヲ眞似模倣シテ頻ニ之ヲ凌辱ス。患兒ハ爲メニ刺戟ヲ蒙ムルコト甚シク病勢ハ益〻進行ス。蓋シ此「ヒョレア」性運動ハ注意ヲ集注シテ之ヲ抑壓センコトニ力ムレバ其顯現益〻劇甚トナルモノナレバナリ。

第八十九圖

小舞蹈病（自家所見）

斯ノ如クシテ病勢其高潮ニ達スルヤ、患兒ニ間斷ナク種々ノ運動ヲ反復ス、卽チ或ハ肩部ヲ攣縮シ或ハ腕ヲ旋轉シテ極メテ異樣ノ手振ヲナシ、或ハ頭ヲ傾ケ又ハ點頭ヲ反復スル等暫クモ安靜ヲ保タズ。顏面亦屢〻其表情ヲ變ジ、急ニシテ笑フガ如ク、急ニシテ怖ルルガ如ク、狼狽、不安、嘲笑等ノ表情運動相次イデ現ハル。此等ノ「ヒョレア」性運動ノ最モ甚シキハ肩部、手腕及顏面ナルモ往々ニシテ軀幹及脚部ニ於テモ之ヲ見ルニ至ル。脚部ノ侵サルル場合ニ於テハ患兒ハ歩行ヲ妨ゲラレ、甚シキハ起立、坐臥モ之ヲ完フスル能ハザルニ至ル。斯ノ如ク重症ナルモノニアリテハ隨意運動ノ不可能ナルハ無論ニシテ衣服著脱、食餌攝取モ爲メニ妨害ヲ被ルニ至ル。又顏面筋ニ於ケル攣縮ノ爲ニ發語又影響セラレ、甚シキハ全ク不能ニ達スルコトアリ、患兒ハ顏面ニ種々ノ顰蹙ヲ呈シツツ非常ナル努力ヲ以テスルモ尙僅ニ一二ノ殆ンド不可解ナル言語ヲ囁キ得ルニ過ギズ。

夜中舞蹈病
四肢ノ弛緩
軟性舞蹈病
舞蹈病性緘默
膝蓋腱反射

此「ヒョレア」性運動不安ハ睡眠中ニアリテハ全ク靜止スルヲ通常トス、然レドモ、時ニハ夜中ニ特ニ其不安ノ著明トナルモノアリ、之ヲ夜中舞蹈病 Chorea nocturna ト云フ。以上述ベタル運動障碍ノ他ニ尙四肢ノ弛緩、卽チ個々筋肉ノ緊張減退 Hypotonie Bonhöfferヲ見ルヲ通常トス。卽チ上肢ノ擧上ニ際シテ其肩關節ノ著シク弛緩的ナルヲ見ルガ如キ是ナリ、此症ノ特ニ著明ナルモノハ之ヲ軟性舞蹈病 Chorea mollis, limp chorea, paralytic chorea ト云フ。此緊張減退ノ特ニ構音筋肉ニ强ク現ハルルトキハ舞蹈病性緘默 Mutacismus choreaticus (Oppenheim) ヲ來ス。筋肉ノ緊張減弱ヲ來スモ電氣興奮ニ於テハ減弱其他ノ異狀ヲ呈スルコトナシ。又腱反射モ減弱スルコトナキヲ通常トス。然レドモ膝、蓋、腱、反射ニ於テハ一種特有ノ現象ヲ見ル、卽チ反射ニヨリテ一旦前方ニ拋上セラレタル下腿ハ直ニ落下スルコトナク、暫時其位置ニ止マリ、後徐々ニ落下シテ靜位ニ復ス（ゴルドン Gordon 氏）手足ノ粗大力ハ侵害セラルルコト殆ンド之ナク、皮膚知覺ハ常ニ障碍ヲ蒙ラズ。

瞳孔ニ於テハ左右不同散大「ヒップス」Hippus 等ノ諸現象ヲ見ルコト稀ナラズ。

精神的變化ハ發病ノ初期ニ於テ既ニ之ヲ見ルヲ常則トシ、刺戟性トナリ、恐怖シ易ク又考慮集中ヲ完フスル能ハザルニ至ルコトアリ。青年舞蹈病及妊娠舞蹈病ニアリテハ著明ナル特殊ノ精神病ヲ發スルコトアルモ、小兒ニ於テハ殆ンド之ヲ見ズ、詳細ハ精神病學ノ記スル處ニ讓ル。

心臟ニ於テハ殆ンド常ニ異常ヲ見ル可ク、時ニハ脈搏ノ不規及不律ニ止マルコトアリ、時ニハ雜音(hanchende oder blasedde Geräusche)ヲ聽取スルコトアリ、其ニ成犹性心內膜炎 verrukose Eudocarditis ノ併發ニヨルモノナル可シ。又心包炎ヲ發スルコトアリ、其ニ一般ニ豫後佳良ニシテ、舞蹈病ノ消散ト共ニ消散スルモノナレドモ、時ニハ永久的心臟瓣膜障碍ヲ殘留スルコトアリ。

發熱ハ必發ノ證候ニアラザルモ、若シ存スルモノニアリテハ蓋シ「ロイマチスムス」ノ一症候ト見做ス可キモノナル可シ。

舞蹈病ハ通常兩側ニ來ルモノナレドモ、時ニハ半側舞蹈病 Hemichorea トナリテ現ハルルコトモ稀ナラズ。

心臟

半側舞蹈病

經過　舞蹈病ノ經過ハ通常三乃至四ケ月ニシテ、時ニハ年餘ニ亙リテ存スルコトアリ、其始マルヤ陰微ノ間ニ行ハルルモ比較的急速ニ高潮ヲ達シ、其狀態ニ留マルコト比較的長ク、其消散ハ極メテ漸次的ナルヲ通則トス。全經過中ニ一旦寛解シ再復增惡スルコト稀ナラズ、又全ク再發ト見做ス可キモノ尠カラズ。大多數ハ全治スルモ、時ニハ心臟障碍又ハ高熱ノ爲メニ死ノ轉歸ヲ取ルモノ百中二乃至三ヲ算ス。

狂狂運動トノ鑑別

器質性腦疾患トノ鑑別

診斷　典型的病像ニ於テハ極メテ診斷シ易ク、一見シテ之ヲ認識シ得可シ、然レドモ其初期及筋肉ノ緊張減弱ヲ存スル場合ニ於テハ稍〻困難ナル場合ナキニアラズ。鑑別上必要ナルハ小兒ニ於テ屢〻見ラルベキ狂狂運動ナリ、然レドモ數日ノ經過ニ徵スレバ直ニ明トナル。第二ニハ種々ノ器質性腦疾患(腦性小兒麻痺)ノ大多數ニ於テハ症候的「ヒョレア」Symptomatische Choreaヲ見ルモノナレバ、之ト眞正ノ舞蹈病トヲ區別スルヲ要ス、殊ニ半側性舞蹈病ノ場合ニ於テ然リトナス、之ヲ區別スルニ反射其他ヲ檢シテ器質的腦損傷ノ有無ヲ確ム可シ、其他生來性若シクハ一年未滿ニシテ現ハルル舞蹈病性運動ハ腦ノ器質損傷ニ基ク症候性ノモノト見テ可ナリ。第三ニハ眞正舞蹈病ノ例ニ引キ續キテ流行性ニ兒童ニ「ヒステリー」性舞蹈病 Chorea hysterica ノ現ハルルコトアルニ注意セザル可カラズ、表面的觀察ヲ以テシテハ之ヲ眞正ノモノト誤認スルコトナキニアラザルモ、少シク注意スレバ容易ニ此誤ヲ免カル可シ、最モ確實ナルハ既ニ述ベタル膝蓋腱反射ノ特有ナル顯象ヲ檢出スルニアリ。第四、全身「チック」病 Tic generale ハ其運動規則的ニシテ常同性ヲ有シ、且ツ一定ノ間歇時ヲ置キテ反復スル點ニ於テ舞蹈病ト區別ス可シ、又「チック」病ニアリテハ糞尿言語 Koprolalie 反響言語 Echolalie 等アリ。

「ヒステリー」性舞蹈病トノ鑑別

全身「チック」病トノ鑑別

療法　家族ヨリ隔離シテ、安靜ヲ與フルヲ第一義トス、可シ、重症ナルモノニアリテハ

嚥下困難ヲ來シテ營養不良ノ狀態ニ陷ルコト少カラザルニヨリ、專ラ此點ニ留意シテ營養增進ヲ計ル可シ。

水治法ハ效アルモ冷水療法ハ往々ニシテ禍害ヲ招クコトアルヲ以テ之ヲ避ケザル可カラズ、持續的溫浴又ハ溫濕纏絡ハ良效ヲ奏ス。

藥治法ニ於テハ所謂對「ロイマ」藥(「サリチル」酸「ナトリウム」、「アンチピリン」等)ハ奏效極メテ疑ハシ砒素ハ之ニ反シテ疾病ヲ短縮スルノ效アルガ如シ、就中最モ佳良ナルハフォレル水(六乃至八滴一日三回)ヲ與フルニアリ。砒素劑ハ遞加量ニ與ヘテ、遞減量ニ除去スルヲ良トス。運動興奮甚シキモノニアリテハ、抱水「クロラール」ヲ與ヘ、心臟症狀ヲ伴フモノニハ「アミレンニトラート」(三·〇注腸)ヲ處シ、臭素劑ヲ與ヘテ效ヲ收ムルコトアリ。此他種々ノ鎭痙劑ヲ與フ。

種族發達史ト個體發達史

第三章　小兒期ノ精神病

種族發達史 Phyllogenese ニ於テモ肉的發達ノ心的發達ニ先行スル、ガ如ク個體發達史 Ontogenese ニ於テモ後者ノ發達ハ前者ノソレニ比シテ甚シク後レテ現ハル。從テ肉的生活現象ノ病的顯現ハ年齡ノ差異ニヨリテ甚シキ懸隔ヲ見ルコト尠キモ、精神的生活ノ病的變化ニ於テハ年齡ニ關スル差異ノ極メテ甚シキヲ見ル。換言スレバ生活現象中植物的器官 vegetabilische Organe ノ疾病ハ小兒ニアリテモ、大人ニアリテモ、其現顯ニ於テ甚大ナル差異ヲ呈スルコトナシト雖ドモ、動物的器官 Animalische Organe ノ病的現象ハ年齡ニヨリテ甚シキ軒輊ヲ存ス。更ニ他言ヲ以テスレバ肉的關係ニ於テハ最幼時ヨリシテ比較的ニ完全ナル分化 Differzierung ヲ遂グルモノナレドモ、心的分化ノ完成ハ甚シク後レテ現ハルルモノニシテ、小兒期精神病ニ關スル知見ノ貧弱ナル所以實ニ此ニ存ス。赤子ノ心ハ素ナリ、以テ之ヲ綸ト爲スヲ得可シ、而シテ此素亦各特異ノ天賦ヲ有シ、綸ヲ爲スニ當リテモ各其向フ處ヲ異ニス。然レドモ是唯純白ノ素地ノミ、朱ニ交ツテ紅トナルノ傾向ハ遂ニ免カル可カラズ。卽チ小兒精神ハ意識內容ニ於テ甚ダ乏シク、個々心的事象ノ聯結尙未完全ナル能ハズ、從テ其追想能力モ極メテ弱少ニシテ、其意識內容ト對外運動トヲ適宜ニ制御シ、自我ト外界トノ區別ヲ自覺スルニ足ル可キ確固タル精神的人格ハ此時尙未ダ成立スルニ至ラズト雖ドモ、小兒腦髓ハ强大ナル感受性ヲ有スルモノニシテ、外界事象ハ甚ダ容易ニ印象セラル。而シテ此等ノ小兒時代ノ印象ハ實ニ後來發達ス可キ有自覺的人格ノ核仁ヲ爲ス、小兒期精神病理ノ研究ノ決シテ忽苟ニ附ス可キニアラザルヲ知ル可シ

今小兒心理ノ特性ヲ案ズルニ注意力ハ敏活ナルモ轉向性强ク、甚ダ散漫ナルヲ免カレズ、練習力ハ强大ナルモ疲勞性亦從テ劇甚ナリ、記憶ハ豐富ナルモ信賴ス可カラズ、想像力活潑ニシテ夢想シ、加フルニ感情生活ノ動搖强ク極メテ不確ニシテ、行爲ハ多ク衝動性傾向ヲ帶ブ。以上ハ小兒心理ノ通性ニシテ、生理學ノ語ヲ藉リテ言ハバ小兒

ノ神經系統ハ抑制 Hemmung ノ作用ニ於テ甚シク缺如スルモノナリ。此抑制作用缺如ノ一般特性ハ一面ニ於テハ外界ニ對スル反應ノ過敏ヲ表明スルモノニシテ、外的影響ニ對スル抵抗力ノ弱少ナルノ謂ナリ、從テ小兒ノ精神的疾患ニ冒サレ易キ傾向ヲ有スルハ理ノ見易キ所ニシテ、吾人日常ノ經驗ハ之ヲ證シテ餘アリ。卽チ大人ニ向ッテハ殆ンド意義ナキ害毒例ヘバ輕度ノ熱性疾患ノ如キモ小兒ニアリテハ劇甚ナル精神障碍ヲ將來スルコト少カラズ。然レドモ一面ニハ小兒ノ身體組織ハ大人ノソレニ比シテ強大ナル潛勢力ヲ有スルヲ以テ、罹病スルモ比較的迅速ニ且ツ完全ナル復舊ヲナスノ能ヲ有スルト、大人ニ比シテ酒精其他精神病ノ原因トナリ得ル諸多危險ニ露サルヽコト少ナキ點トヨリシテ、小兒精神病ハ其數ニ於テ比較的少ナルガ如シ。小兒精神ハ已ニ述ブルガ如ク其分化尙未ダ著明ナラザルヲ以テ、茲ニ表ハルル精神疾患モ臨牀上之ヲ限畫スルコト困難ニシテ多クハ精神薄弱ノ狀態ヲ以テ現ハル、卽精神發育制止 Psychische Entwicklungshemmungen ノ名ヲ以テ總括セラルルモノ是ナリ。其原因ハ出產前ニアルコトアリ又ハ出產時或ハ生後間ナシニ存スルコトアリ、其原因ニ算ス可キモノハ腦質炎、腦空洞症、腦水腫、黴毒結核等ノ粗大ナル病變ヲ有スルモノノ外又現時尙病變ノ證明セラレザル纖細ナル皮質被害ニヨルモノアリ。遺傳黴毒ノ存スル場合ニハ小兒麻痺狂トシテ後天的痴呆ヲ呈スルニ至ル。

稍、長シタル小兒ニ於テハ「ヒョレア」、癲癇及「ヒステリー」ニ伴フ精神異常ヲ見ル、又氣分ノ異常ニ變換スルモノニ於テ躁鬱狂ノ初徵ヲ見ルコトアリ、感情興奮性ノ過敏、苦悶、意思ノ不恒、虛言ノ傾向等ハ後來精神病質性人格ヲ現呈スルモノナリ、又小兒期ニ於テモ强迫觀念、强迫恐怖等ヲ見ルコト亦尠カラズ、此等ハ一時性ニ現ハルルノミニシテ後消失スルコトアリ、是蓋シ精神生活ノ發達ニ於テ個々作用ノ不均等ヲ存スルヲ示スモノナリ。

年齡長ジテ精神的個性ノ確立ニ近クト共ニ精神病ヲ起ス可キ外因ニ遭遇スルコトモ增大スルガ爲ニ其罹病率ハ增大ス、之ニ加フルニ體制ニ於テ種々ノ變動ヲ來スガ爲ニ內因性精神病モ漸次其數ヲ增加ス、殊ニ青年期ニ近クニ從テ恐ル可キ早發痴狂ノ發現漸次頻數トナル、早發痴狂ハ多ク破瓜期ニ於テ發スルモノナレドモ時ニハ比較的幼少ナル時代ニモ之ヲ見ルコトナキニアラズ。

之ヲ要スルニ小兒ニ特有ナル精神症ハ今日未ダ之ヲ限畫スル能ハズシテ、大人ノソレト其種類ヲ同フス可キモ、精神的分化尙不完全ナルガ爲メ茲ニ現ハルル病像ハ大人ノソレト多少ノ逕庭アルヲ免カレズ。

第一　精神病質性體質 Psychopathische Konstitution

精神病質性體質トハ神經系統ノ遺傳的異常素地ヲ云ヒ、其根基ニ諸多神經病的乃至ハ精神病的障碍ノ顯現スル狀態ニシテ、小兒ノ精神生活ニハ極メテ重大ナル意義ヲ

有ス。卽チ此素地ヲ有スル小兒ハ肉體的刺戟ニ對シテモ亦精神的感情的刺戟ニ對シテモ、神經的ニ健康ナル兒童ニ比スレバ、其度ニ於テモ、其持續ニ於テモ、亦其作用ノ樣式ニ關シテモ精神的反應ノ極メテ重篤ナルヲ以テ特徵トナス。此種ノ小兒ハ感情生活ニ於テハ極メテ動搖シ易ク、甚シク過敏ナル反應ヲ呈スルモ、其精神ハ又極メテ印象受納性ニ富ムヲ以テ時ニハ驚嘆ス可キ叡智的、藝術的乃至ハ道義的可能性ヲ示スガ故ニ、通俗ノ意義ニ於ケル低能兒ヲ以テ目ス可カラザル場合尠カラズ、從テ此種兒童ヲ一般的ニ研究スルコト及ビ其最幼時ニ於テ之ヲ認識スルコトハ、狹義醫學的見地ヨリノミナラズ、教育病理學 pädagogische Pathologie ノ上ヨリシテ、看過ス可カラザルコトニ屬ス。

原因ハ之ヲ遺傳的負因ニ求メザル可カラズ、卽チ兩親又ハ其近親殊ニ尊族ニ於テ精神病乃至神經病ヲ證明スル場合甚ダ多シ、然レドモ一方ニハ小兒ノ生息スル境遇ノ惡影響モ此體質ノ示現ニ與ツテ力アルモノノ如シ、蓋シ小兒ノ精神ハ甚纖弱ナルモノナレバ、其周圍ヨリ受クル印象及經驗ハ其精神生活ヲ左右スルコト甚ダ大ナレバナリ、此影響ハ小兒ノ『獨子』ナル場合ニ於テ殊ニ强キガ如シ。又體質ノ成立ニ向ツテ有力ナル外因的害毒ハ小兒ノ酒精飲用ニモ之ヲ求ム可キヲ注意セザル可カラズ。然レドモ小兒ノ酒精飲用ヲ見ルガ如キ家庭ニアリテハ其尊族乃至小兒保護者ニ於テ既ニ一程度ノ精神的變質ノ存スルモノト認メテ可ナル可ク、斯ノ如キ家庭ニ於テ此體質ノ小兒ヲ見レバ、其原因ハ之ヲ酒精飲用等ノ直接害毒ヨリモ寧ロ、其尊族ノ精神的變質ニ求ムルヲ至當トス可シ。

症候　精神病質性體質トシテ認メラルル病像ハ甚ダ多形的ニシテ、其現顯ニハ非常ナル個人的差異ヲ呈ス、又同一個人ニ於テモ其ノ現ハルル年代時期ニヨリテ屢變形シテ來ルコト稀ナラズ。

乳兒期ニ於テハ恐怖性異常ニ强ク、睡眠淺キニヨリテ本體質ノ存在ヲ知ルヲ得可シ。齡稍〻長シテ諸精神的作能ノ分化示現ヲ呈スルト共ニ其稟賦ト周圍トニ相當シテ各個人特有ノ病像ヲ現呈シ來ル、然レドモ其主トシテ異常ヲ呈スルハ感動生活 Affektleben 及生慾生活 Triebleben ニ在ルニ至ツテハ一ナリ。卽チ身體的ニ何等苦惱ノ存スルナキニ兒童ハ非常ニ劇甚ナル興奮ヲ呈シ、容易ニ嘆叫、又ハ愁怒ノ發作ヲ呈ス、寸時モ母ノ傍ヲ離ルルヲ容サズ、甚シキニ至リテハ徹宵シテ掌上ニ搖ラルルヲ欲ス。又常ニ一定ノ食餌ノミニ限リテ之ヲ攝リ、甚シキハ其食器モ之ヲ一定シテ他物ヲ以テ代フルヲ許サザルモノアリ。此等欲向ノ充タサレザル場合ニハ其ノ偏頑ナル主我的性格ヲ極度ニ發揮シテ、終日機嫌ヲ損シ、或ハ號泣シ、或ハ攝食ヲ拒避シ、甚シキハ愁怒發作ヲ呈シテ甚シキ狂暴ニ陷ル等兩親ハ勿論、一家族爲ニ極刑ニ會フノ思ヲ爲スモノ尠カラズ。

時ニハ又其病像ノ異常ナル危懼 Aengstlichkeit ヲ以テ現ハルルモノアリ、卽チ患兒ハ獨

居ヲ恐ルルコト甚シキアリ(Klaustrophobie)、又ハ暗所ヲ恐ルルモノアリ(Nyktrophobie)、又ハ無害ナル小蟲ヲ恐ルルコト甚シキモノアリ、危惧ノ對象ハ其種類極メテ多ク、一々枚擧スルニ遑アラズ。又或小兒ニアリテハ氣分ノ不確 Labilität der Stimmung ヲ以テ主徴トスルモノアリ、卽チ極メテ些細ナル事象モ小兒ノ氣分ヲ動搖セシメ、而モ其持長甚久キニ亙ル。又心氣性考慮 hypochondrische Gedanke ヲ以テ現ハルルモノアリ、患兒ハ徒ニ自己ノ罹病ヲ恐ル(Nosophobie)。又病的ニ感情的トナリ、又早熟的ニ所謂「發明ナル」兒童トナリテ、小兒ニ特有ナル無邪氣性ヲ失フモノアリ。

本體質ヲ以テ生レ來レル小兒ハ其空想力ニ於テ異常的興奮性ヲ示シ、通常病的成夢癖 Pathologische Träumerei ヲ有ス、而シテ小兒ハ唯ニ空想ニ耽ケルノミナラズ、進ンデハ其ノ空想ト現實トノ區別ヲナス能ハザルニ至ル、爲ニ小兒ハ人ヨリ聽取シ、或ハ書籍ノ看讀ニヨリテ知得セル譚說モ遂ニハ之ヲ自家ノ經歷セルモノトシテ談ズルモノアリ、彼ノ空想的嘘言症 Pseudologia phantastica 及病的嘘言症 Pathologische Lüge ト稱セラルルモノ卽是ナリ。

上記ノ如キ精神的異常ノミナラズ、日常ノ行爲ニ於テモ患兒ハ屢〻種々ノ病癖ヲ呈ス、例ヘバ頻リニ指ヲ咥啜シ、又ハ爪ヲ咬嚙シ、爪ヲ彈シ、或ハ鼻孔ヲホジクリ、毛ヲムシル等卽是ナリ。其他又間斷ナク點頭運動ヲ反覆スルガ如キ癖ヲ有スルモノアリ、而シテ時ニハ此等ノ運動ヲ睡眠中モ尙持續スルモノアリ(夜間頸首轉展 Jactatio capitis nocturna)、斯クノ如ク同一運動ヲ間斷ナク反復スル狀態ヲ稱シテ刷出症 Stereotypien ト云フ

身體的ニモ往々種々ノ特徴ヲ示ス、運動ハ常ニ異常ニ活潑ニシテ多クハ病的ニ性急ナリ、生後一年未滿ニシテ已ニ其初徴ヲ呈ス。又血管運動神經ハ非常ニ過敏ニシテ、顏色忽ニシテ變ジ、脈搏ノ數亦極メテ迅速ナル變動ヲ呈ス、爲メニ著明ナル皮膚紋畫症 Dermographismus ヲ有ス。筋肉及腱等ノ深部反射ハ常ニ亢進ヲ呈スルモ、結膜又ハ咽頭等ノ被面反射ハ寧減退スルコト多ク、時ニハ全ク缺如スルコトモ稀ナラズ。又學齡兒童ニアリテハ他ニ痙攣性素質(スパスモフィリア)ノ諸徴ヲ呈スルコトナクシテ、唯顏面神經現象 Fazialisphenomen ノ獨立シテ現ハルルコトアリ。

種々ノ身體的變質徴候 Stigmata degenerationis 例ヘバ頭蓋ノ左右不相稱、耳殼又ハ外陰部ノ畸形、睾丸潛伏、斜視、左利等ヲ證明スルコト少カラズ。

療法　療法ハ專ラ之ヲ敎育ニ俟タザル可カラズ、適當ナル敎育ト同時ニ病兒ヲ移シテ健康ナル境遇ニ致スヲ忘ル可カラズ、已ニ述ベシガ如ク此種病兒ノ現ハルル家庭ハ多ク變質ノ傾向ヲ有スルモノナレバ、兒童ヲシテ其惡影響ヲ蒙ムルコトナカラシムルニ力ムルヲ要ス。卽チ病兒ヲシテ出來得ル限リ健康兒童ト交通セシムルハ實ニ此種ノ兒童ニ對スル特效藥ト稱シテ可ナル可ク、此意義ニ於テ學校生活ハ極メテ有效ナリトス。其ノ他起牀就褥等ノ日常生活ヲ規則的ニ勵行ス可キハ固ヨリ論ヲ俟タズ。

以上ハ此種兒童ニ對スル一般處置ナルモ、其疾病ノ傾向ニ應ジテ又適宜ノ處置ヲ取ルヲ要ス。例ヘバ空想ニ耽ケル病癖ヲ有スルモノニ對シテハ寓言、童話又ハ小說等ハ嚴ニ之ヲ禁ゼザル可カラズ、此等ハ實ニ病兒ノ空想癖ヲ助長スルコト甚ダ大ナレバナリ、同時ニ兒童ニ課スルニ園藝又ハ手工ヲ以テシ、兒童ヲシテ自然物觀察ノ興味ヲ喚起セシメ、其自己生產力ノ實效ヲ知ラシムレバ甚ダ效アリ。又此種兒童ニハ色情生活ノ早熟ヲ呈スルコト多キモノナレバ、其挑發ヲ促ガスガ如キコトハ嚴ニ之ヲ避ケザル可カラズ、例ヘバ兒童ノ面前ニ裸體ヲ露出スル兩親ノ習慣ノ如キハ兒童ノ精神的平衡ヲ破ルコト大ナルモノナレバ大ニ注意スルヲ要ス、殊ニ兒童ヲシテ閨中ノ祕戲ヲ窺ハシムルガ如キハ嚴ニ之ヲ愼マザル可カラズ。

要スルニ此種兒童ノ病癖ハ日常ノ注意ニヨリテ之ヲ矯正シテ、兒童ヲ健康生活ニ導クヲ以テ第一義トス可ク、之ヲ怠ラバ之ニ加フルニ百ノ折檻ヲナスモ寸效ナキモノト知ル可シ。

此種兒童ニハ腺病質ノ體格ヲ見ルコト少カラザルモノナレバ、此等ニ對シテハ夫々ノ强壯療法ヲ加ヘテ血管系ノ過敏ヲ去ルノ方法ヲ講ズ可シ。

* * * * * *

以上ハ精神病質性體質ノ一般性狀ヲ總括的ニ記述セルモノナレドモ、個々症候ノ比較的ニ著明ニ限局シテ現ハレ、或ハ二三症候ノ統群ヲナシテ來リ、恰モ一個獨立ノ疾患トシテ取扱フヲ便トスルコトアリ、以下其必要ナルモノ二三ニ就キテ其大要ヲ述ブベシ。

第一　夜間驚怖 Pavor nocturnus

本症ハ小兒ニ於テハ甚ダ屢、之ヲ見ルモノニシテ、多クハ二歲乃至八歲ノ小兒之ヲ患フ。卽チ小兒ハ夜俄然臥蓐ヲ出デテ起立ス、發作ハ通常就眠後二三時間ノ頃ニアルモノ多シ、而シテ一夜ニ數回ノ發作ヲ有スルモノハ稀ナリ、其間歇時ハ一定セズ、多クハ不規則ナリ。小兒ハ突如トシテ起立シ甚シキ苦悶ノ相貌ヲナシ又ハ深キ恐怖ヲ抱ケルガ如キ擧動ヲナス、或ハ劇シク喚叫シ或ハ暗中模索ノ狀ヲナス、走リテ母ニ抱キ付キテ救ヲ求ム。其際小兒ハ錯亂的ニ其夢幻ノ內容ヲ談ジ、甚シク之ヲ恐怖スルヲ見ル。傍ヨリ其名ヲ呼ビ、室內ニ燈火ヲ點ズルニ至リテ小兒ハ始メテ鎭靜ス、然レドモ小兒ハ多ク此時尙其ノ完全ナル意識ヲ恢復スルコトナクシテ、復ビ臥蓐ニ入リテ安眠ス、發作ハ數分ヨリ半時間ニ及ブ。翌朝覺醒ノ際ニハ小兒ハ前夜ノ出來事ニ對シテ全ク此ノ追想ヲモ有セザルヲ通則トス。

本症ノ成立ニハ身體的狀況モ尠カラザル影響ヲ有スルモノノ如シ、重ク且ツ窮屈ナル寢具、胃內過充、膀胱充滿等ノ如キ、又腸內寄生蟲、及呼吸障碍殊ニ慢性鼻カタール、扁桃腺肥大等其原ヲナスコト多シ。精神的原因ニテハ晝間ニ於ケル感動的印象、又ハ空

想ヲ刺戟ス可キ寓譚ノ類ヲ數ヲ可シ。

眞正癲癇ニモ夜間驚怖ヲ見ルコト少カラズ、甚シキ場合ニハ全ク此發作ノミヲ以テ經過スル場合アリ、故ニ鑑別診斷上ニハ極メテ緊要ノコトニ屬ス、若小兒ニシテ本症ト不規則ナル夜尿ヲ伴フ場合ニハ之ヲ癲癇ト認ムルヲ至當トス。

第三　激怒痙攣 Wutkrämpfe

諸種ノ感動殊ニ憤怒性精神興奮ノ際ニ來ル呼吸停止ノ發作ニシテ、二歲乃至五歲位ノ小兒ニ於テ最多シ。俗間ニ「驚風」ノ名ヲ以テ呼バルルモノノ大多數ハ蓋シ此症ニ該當スルモノナラン。又一時呼吸停止シ且ツ失神ノ狀ヲ呈スルヲ以ツテ獨逸俗間ニハ „Wegbleiben" ノ名ヲ以テ之ヲ稱ス。一般病像ハ痙攣性素質 Spasmophile Diathese ノ聲門痙攣又ハ呼吸痙攣ニ酷似シ、往々ニシテ之ト誤認セラル、然レドモ其本性ニ於テハ全ク別種ノモノニ屬ス。卽チ小兒ハ激シク號叫シテ、其途中ニ於テ深キ吸息ヲナシテ、呼吸ヲ停止ス、次デ俄然眼球ヲ旋轉シテ、全身ヲ伸展シテ强剛トナリ、「チァノーゼス」ヲ呈シ、手ヲ以テ周邊ヲ打チ、意識ヲ喪失ス、斯ノ如キモノ數秒ニシテ忽チ又自我ニ復シテ激シク咆哮ス。

本症ハ神經病質乃至精神病質性體質ノ小兒ニハ極メテ屢見ラルルモノニシテ、蓋シ此種ノ發作ハ小兒ノ我意ヲ貫徹センガ爲メノ一手段トシテ現ハルルモノトモ見ルコトヲ得可シ、此見解ハ本症ノ治療上ニモ等閑ニ附ス可カラザル意義ヲ有ス。

豫後ハ通常絕對ニ佳良ナルモノト謂フ可シト雖ドモ、時ニハ甚シキ重篤ナル危險ニ陷ルコトナキニアラズ、甚シキモノニアリテハ死ノ轉歸ヲ見ルコトアリト云フ。

處置トシテハ豫防ヲ以テ第一義トセザル可カラズ、然レドモ此發作ノ來ルヲ恐レテ小兒ヲシテ我意ヲ恣ニセシムルハ嚴ニ之ヲ避ケザル可カラズ、寧ロ小兒ヲシテ此發作ノ來ルヲ恐レシムルニ力メザル可カラズ。場合ニヨリテハ小兒ヲ威嚇シ、又ハ之ニ一擊ヲ與ヘテ、以テ將ニ來ラントスル發作ヲ止メ得ルコト尠カラズ、卽周圍ノ之ヲ恐ルルコト甚シケレバ、小兒ヲシテ發作ヲ來サシムルコト從ツテ多シ。愼マザル可カラズ。此意義ヨリシテ小兒ノ周圍ヲ變更スルハ效最モ大ナル可ク、一時的ニ病院內ニ收容シテ其兩親ヨリ之ヲ隔離スルヲ宜トス。此他「プローム」療法ヲ加ヘ又適宜ノ精神療法ヲ施ス。發作其者ニ對シテハ眞正聲門痙攣ニ於ケルガ如ク顏面ニ冷水ヲ灌注シ又ハ人工呼吸ヲ施コス等臨機ノ處置ヲ要ス。

第四　偏頭痛 Migräne, Hemicrania

週期的ニ來ル劇頭痛ノ發作ニシテ、通常ハ偏側ノミニ現ハルルモ、兩側的ナルコトモ少カラズ。發作ノ持續ハ數時間ヨリ長クモ一日ニ過ギズ。發作ノ際ニハ特異ノ嘔氣ヲ催フスモノニシテ、甚シキ場合ニハ劇甚ナル嘔吐ヲ來シ、膽汁ヲ吐出スルコト稀ナラ

ズ。又閃華昏瞑ヲ見ルコトアリ、卽患者ハ其視野ニ光點或ハ星像等ノ浮動スルヲ感ズ。發作ニ際シテ患者ハ甚シク不快ヲ感ジ、精神的抑鬱ヲ呈スル外、時ニハ一過性ノ幻覺性錯亂狀態ヲ呈スルコトアリ。何レニシテモ發作後ハ睡眠ニ陷ルコト多ク、覺醒後ニ於テハ患者ハ自ラ爽快ヲ感ズ。

偏頭痛ハ著明ニ遺傳的傾向ヲ有スルモノニシテ、其本性ハ腦血管ノ痙攣ニ在ルモノト想像セラルルモ、未以テ定說トナスニ足ラズ。發作ハ精神原的 psychogen ニ惹起セラルルモノニアラザルモ、精神ノ過勞ハ發作ヲ誘發スルガ如シ。然レドモ通常唱道セラルルガ如ク精神興奮ハ發作ヲ來スト謂フヨリモ、寧ロ偏頭痛ノ發作ハ精神興奮ヲ伴フト見ルヲ以テ至當トス可キガ如シ。

第五　强迫狂 Zwangsirresein

强迫狂トハ種々ノ精神的奮動ノ强迫的ニ其精神機轉中ニ竄入シ來リ、其進行ヲ妨ゲ、患者ヲシテ其ノ煩瑣ニ堪ヘザラシムル狀態ヲ謂フモノニシテ、患者ハ之ニ對シテ著シク强迫ヲ感ジ、其ノ病的ナルヲ確識ス。此等强迫的精神奮動ニシテ觀念界ニ現ハルルトキハ之ヲ强迫觀念 Zwangsvorstellung ト名ケ、專ラ感情ニ關スル場合ニハ之ヲ强迫恐怖 Zwangsbefürchtung, Thobien ト謂ヒ、意思行爲ノ之ニヨリテ衝動セラルモノハ之ヲ强迫行爲 Zwangshandlung, Impulsionen ト稱ス。

此等ノ精神的强迫ノ自覺ニハ內省能力ニ於ケル一定度ノ發育ヲ要ス可キハ勿論ニシテ、從ツテ最幼年時代ニ於テハ之ヲ見ルコト殆ンド皆無ト稱シテ可ナリ、破瓜年齡ニ近ツキテ始メテ稀ニ之ヲ見ルノミ。就中此年齡ニ於テ屢現ハルルモノハ强迫觀念ノ一症タル穿鑿症 Grübelsucht ニシテ、患者ハアリトアラユル諸多ノ問題ヲ提ヘテ其ノ解決ニ苦ミ、而カモ其ノ無益ノ業タルヲ極メテ明確ニ自覺スルニモ拘ラズ、之レヨリ離脫スル能ハズシテ煩悶ス。例ヘバ『神』、『不死』、『久遠永刼』等ノ哲學的概念ニ對シテ反復疑念ヲ起シテ、徒ニ苦シミ、其正常的考慮行序ノ進程ニ妨碍ヲ感ズルモノアリ、佛人ハ之ヲ Les metaphysiciens ト謂フ。之ニ對シテ所謂 Les réalistes ニアリテハ、『太陽ハ何ガ故ニ二ナラズシテ一ナリヤ』、『何ガ故ニ吾人ハ頭ヲ以テ步カズシテ、足ヲ以テ步クモノナルベキカ』等ノ極メテ愚ナル考慮ノ念頭ヲ襲フニヨリテ苦メラル。又算數症 Arithmomanie ト稱シテ祭禮ノ際ニ於ケル神燈ノ數、通過セル街路ニ立ツ電柱ノ數其他意味ナキ物品ノ數ヲ讀マザレバ氣ノ濟マヌモノアリ。又大臣高官ノ姓名又ハ一定書中ノ一定ノ語等ヲ記セザレバ安ズル能ハザルガ如キモノハ之ヲ記名症 Onomatomanie ト云フ。又稀ニハ小兒ニ於テモ疑惑症 Zweifelsucht, folie du doute ヲ見ルコトアリ、此ニアリテハ患者ハ自己ノ所行ニ對シテ常ニ不備ノ感 Sentiment d'incomplétitude ヲ抱カザルヲ得ザルモノニシテ、手紙、記帳等ノ瑣事ニ向ツテ反復數回校合ヲ重ネ、尙足レリトスル能ハズシテ、人ノ證言ヲ求メ、尙以テ滿足スル能ハザルモノアリ。

強迫恐稀ハ小兒ニ於テハ極メテ稀ニ見ルモノニシテ、場所危懼 Platangst, Agoraphobie 暗黑苦悶 Nyktophobie 等二川ノモノニ過ギズ。

強迫行爲 Zwangshandlung, Zwangstrieb, Zwangsimpulse ハ強迫觀念ノ精神運動域ニモ其興奮ノ及ベルモノト解スルヲ得可ク、一定觀念ノ心頭ニ現出スルヤ、之ニ對シテ患者ノ省慮ヲ費ヤスニ先チテ早ク已ニ行爲トナルモノニシテ、患者ハ之ヲ抑制スルノ能力ヲ缺ク。其ノ稍、複雜ナル行爲ノ遂行後ニ於テハ患者ハ恰モ束縛ヨリ離脫シ、重荷ヲ棄捨セルノ感ヲ抱クヲ常則トス。此等強迫行爲中特ニ社會上意義アルモノハ偷盗狂 Kleptomanie 及ビ放火狂 Pyromanie ニシテ破瓜年齡前後ノモノニ於テ往々之ヲ見ル。此等ハ刑法上ニ重要ナル意義ヲ有スルモノニシテ其診斷ニハ愼重ナル注意ヲ要ス。之ニ反シテ反響言語 Echolalie 屎尿言語 Koplolalie 等ノ比較的無害ノ强迫衝動モ屢、小兒ニ於テ之ヲ見ル。

此等諸種ノ小兒ニ於ケル精神的强迫狀態ハ其豫後悉ク必シモ不良ナルモノニアラズ、其周圍ノ感化及適當ナル治療教育法ノ手段ヲ以テスレバ之ヲ治療矯正スルコト必ズシモ難事ニアラズ。

第六　神經衰弱 Neurasthenie

神經衰弱トハ神經系統ノ刺戟感受性過敏ト疲勞性亢進トノ結合シテ現ハルル病的狀態ヲ謂フ。原因ニ關シテハ從來外來的害毒ト遺傳的內因トノ二ヲ算セリト雖ドモ最近人ノ最モ多ク信ズル處ニテハ外來的原因ノミニヨリテ來ル神經衰弱ハ殆ンド之ヲ見ルコトナク、一見後天的原因ニ基クガ如ク見ユルモノニアリテモ、之ヲ仔細ニ檢スレバ常ニ先天的素地ヲ發見スト謂フニ於テ一致ス、殊ニ小兒ニ來ル神經衰弱ノ例ニ於テハ外因的根據ヲ見出スモノ甚ダ少シ。換言スレバ神經衰弱殊ニ小兒ニ見ル神經衰弱ハ上來述ベ來レル神經病質的乃至精神病質的體質ノ特ニ刺戟性過敏及疲勞性亢進ヲ以テ現顯セル一型ト見ルヲ得可シ。此狀態ハ最幼時代ニ於テハ其存在ヲ確認シ難ク、就學年齡後ヨリ破瓜期ニ近キテ始メテ其初徵ヲ見得ルノミ。

神經衰弱ノ症候ハ既ニ述ブルガ如ク上記精神病質性體質ノソレト略、同一ナレドモ、更ニ神經衰弱トシテ限畫シ得可キ場合ニハ略、次ノ如キ諸症ヲ以テ總括スルヲ便トス可シ。

先ヅ身體的關係ニ於テモ其病訴甚ダ多シ。殆ンド常存的ニシテ患者ノ最モ苦痛トスルモノハ頭痛及頭壓ナリ、殊ニ學校兒童ニ於テ多ク、授業時間ノ進行ト共ニ其度ヲ益ス、蓋シ兒童ノ此際ニ强ヒラルル精神的努力ノ他ニ、室內換氣ノ不良ニ基クモノナラン。次ニ屢、兒童ノ訴フルモノハ眼精無力 Asthenopie ナリ、兒童ハ讀書ニ際シテ眼前物像浮動、流涕、頭痛及眼痛ヲ感ジ、遂ニハ讀書ノ不能ヲ訴フ、此眼精無力ニハ器質的基據ヲ缺クヲ以テ其神經性ナルハ勿論ナリ。睡眠ノ障碍亦甚ダ屢、之ヲ見ルモノニシテ、殊ニ

就眠惡シク、不眠ニシテ中夜ヲ過グルモノ少カラズ、從テ朝時起牀ニ際シテ多クハ甚シキ不快ヲ感ズ、睡眠中モ惡夢ニ襲ハレ、兒童ハ覺醒時ニ於テモ頭腦ノ昏茫ヲ訴フ。此他食思不進、胃部壓感、便祕、嘔吐等モ屢、訴フル處ニシテ、殊ニ登校ノ心勞ヲ有スル兒童ニ多ク、此等ノ兒童モ日曜日ニ際シテ、安ジテ睡眠ヲ恣ニセル朝ニアリテハ此事ナキヲ通常トス。此他此種ノ兒童ハ皮膚及粘膜ノ刺戟感受性過敏ナルヲ常トシ、瘙痒又ハ咳嗽ノ刺戟ニヨリテ甚シク苦シメラレ、凡テ諸種ノ器質的疾患例ヘバ百日咳、氣管枝炎等モ此種ノ兒童ニハ其經過重篤ナルコト通常ナリ。

精神的範圍ニ於テ特ニ擧グ可キハ已ニ上章精神病質的體質ノ條下ニ於テ述ベタル苦悶感動 Angstaffekt 及心氣的自我觀察 hypochondrisches Selbstbeobachtung ニシテ、殊ニ後者ハ兒童周圍ノ注意ヲ惹キ、從テ醫治ヲ加フレバ、症狀從ッテ增加スルノ奇觀ヲ呈シ來ルコト尠シトセズ、庸醫ハ之ニ會シテ周章シ、奸醫ハ之ヲ用キテ自ラ利セントス。神經衰弱ノ主徵タル精神的疲勞性亢進ハ稍、長ジタル兒童ニ於テ始メテ之ヲ訴フルヲ見ル可ク、兒童ハ多ク本症ノ結果トシテ記憶薄弱 Gedächtnischwäche 注意集注不能 Konzentrationsunfähigkeit ヲ訴フ、而シテ兒童ハ學問ニ對スル感興ヲ失ヒ、明日ノ課程ニ對シテ甚シク苦惱ヲ感ズ、父兄教師ノ督勵ハ却テ患兒ノ頭腦ヲ安ズル能ハズシテ、寧只兒童ノ成績ヲシテ益、不良ナラシムルノミ。此時ニ當リテ長上ノ監視嚴ニ過グレバ往々ニシテ虛言其他ノ不道德的行爲ヲ誘出スルコトアリ、愼マザル可カラズ。

神經衰弱ノ他覺的症候トシテ注意ス可キモノハ先ヅ大體次ノ如シ、深部反射ノ亢進結膜及咽頭反射ノ減弱、顏色ノ急變(忽ニシテ潮紅シ忽ニシテ蒼白トナル)、脈搏數ノ異動、皮膚紋畫症、顏面神經現象等ハ殊ニ屢、見ラルルモノナリ、此他血壓上昇、顏面ニ於ケル神經緊張ノ不相稱、ローゼンバッハ氏現象 Rosenbachsches Phenomen (閉目ノ際ニ於ケル眼瞼ノ震顫)多汗症、吃語等亦往々ニシテ之ヲ見ル。

小兒殊ニ破瓜年齡ニ近キモノノ神經衰弱ハ其診斷ニ際シテ後章述ブ可キ早發癡狂殊ニ其破瓜狂型 Hebeprenie ト鑑別スルコトヲ要ス。破瓜狂ノ初期ニ於テハ神經衰弱ノアラユル諸症ヲ呈シ得ルモノナレドモ、仔細ニ檢スレバ區別困難ナラズ、詳細ハ後章其條下ニ之ヲ述ブ可シ。

療法 小兒神經衰弱ノ治療ニハ特ニ注意シテ精神療法ト强壯療法トヲ結合シテ用フルヲ要ス。水治法殊ニ溫泉療法ハ水治其者ノ價値ノミナラズ、同時ニ新鮮ナル空氣ヲ供給シ、適宜ノ運動ヲ與フル點ヨリシテ、貧血其他ノ身體的薄弱ヲ補フノ效果アルモノトス。一般神經衰弱ノ療法トシテ用キラルル冷水摩擦等ノ强行ハ小兒ニ對シテハ往々ニシテ害ヲ招キ、其症狀ノ增惡スルコトアルモノナレバ大ニ注意スルヲ要ス。病症ノ重篤ナルモノニアリテハ嚴重ニ安息ヲ與ヘテ、鎭靜ヲ計ラザル可カラズ、學童ニアリテハ一定期間登校ヲ廢スルノ要アリ。

家庭ノ事情、殊ニ小兒ノ苦惱トスル事實ノ確認ハ治療上極メテ必要ノコトニ屬ス。然

レドモ是多クハ之ヲ達スルコト其難事ニ屬スルヲ以テ、通常ハ小兒ヲ移シテ他ノ境遇ニ置クニ力メザル可カラズ。狹義ノ暗示療法ハ小兒ニハ效果ヲ見ルコト尠シ、然レドモ廣義ニ於ケル暗示療法卽チ敎育的處置ハ小兒ノ缺點矯正ニ與ツテ大ナル力ヲ及ボスモノナレバ、醫ニシテ其衝ニ當ルモノ須ラク愼重ノ態度ヲ持シ、以テ小兒ノ感化ニ力ムル處ナクンバアル可カラズ。殊ニ其家族ニ向ツテハ小兒ヲ善導スルノ道ヲ敎ヘ、小兒ノ疾病ハ之ヲ話題ト爲スヲ禁ゼザル可カラズ、又小兒ノ面前ニ於テハ決シテ小兒ノ性行ヲ談ゼシム可カラズ、斯ノ如キハ徒ラニ小兒ノ心氣性考慮ヲ增長セシムルモノニシテ、其結果ヤ實ニ恐ル可キモノアルベケレバナリ。又餘リニ峻嚴ナル折檻ニヨリテ小兒ノ恐怖ヲ惹起スルハ之ヲ愼マシメザル可カラズ。然レドモ唯ニ小兒ノ放縱ニ任ズルハ亦決シテ策ノ得タルモノニアラズ、日夕ノ行爲殊ニ攝食、就褥等ニハ規則ヲ格守セシメ、姑クモ放埒ナルヲ許サザルハ此種兒童ノ矯正ニ必須ノ事ナリトス。

營養上ノ注意ニ於テハ近時ハ神經衰弱性兒童ニハ寧ロ植物性食餌ヲ以テ宜トナスノ說ヲ持スル人多シ、進ンデハ肉類ヲ主トスル食餌ハ本症ノ進行ヲ促ガスト唱フルモノアリ。酒精飲料及喫煙ノ嚴禁ス可キハ勿論ナリ。又古來本病ノ原因ト見做サレタル手淫ハ寧ロ本病ノ一症候ト見做スヲ至當トス可シト雖ドモ、此症候亦本症ヲ增惡セシム可キハ勿論ナレバ能フ限リ適宜ノ法ヲ講ジテ此習慣ノ除去ニ力ムルヲ要ス。

其他神經衰弱ノ增惡ヲ來ス可キ器質的疾患例ヘバ腸寄生蟲病其他ノ如キモノハ力メテ之ヲ刈除セザル可カラズ。

「ブローム」劑ハ時ニハ缺ク可カラザルコトアリ、例ヘバ睡眠障碍及色慾亢進ノ存スル場合ノ如シ、然レドモ能フ限リ其應用ヲ制限セザル可カラズ。食思不進、便祕、頭痛等ノ諸症ハ藥劑ヲ以テ之ヲ除去センコトハ望ム可カラズ、寧ロ身體ニ與フルニ空氣、光線及適宜ノ運動ヲ以テシ、精神ニ與フルニ休息、自我信賴及安心ヲ以テスルニ如カズ。

第七　「ヒステリア」Hysteria

小兒「ヒステリア」ハ其本性ニ於テ、又其顯現形式ニ於テ大人ノソレト何等異ナル點ヲ見ズ、故ニ玆ニハ單ニ小兒「ヒステリア」觀察ノ際ニ要スル一二ノ注意ヲ喚起スルニ止ム可シ。モビウス氏ノ喝破セル如ク凡テノ「ヒステリア」患者ハ常ニ多少ノ精神薄弱ヲ有スルト同樣ニ、發育ノ全カラザル小兒ノ腦髓ハ甚ダ屢々「ヒステリア」的現象ヲ呈スルコトハ特ニ注意ス可キコトナリトス。又小兒ニハ多クハ所謂單症候的「ヒステリア」Hysteria monosymptomatica ノ形ヲ以テ現ハルルコト、恰モ外傷性「ヒステリア」L'hysterie traumatique ニ類スル點ヨリ觀レバ小兒「ヒステリア」ノ外因的成立ノモノ多キヲ察ス可ク、其現顯ノ根據モ之ヲ未熟ナル小兒精神ノ暗示感受性ニ求ム可キヲ知ル可シ。小兒「ヒステリア」ノ此等ノ特性ハ疾病ノ治療竝ニ豫防上ノ參考ニ資ス可キ重要事タラズン

バアラズ。

原因　ニ關シテハ遺傳的神經病質性乃至精神病質性體質ヲ擧グ可キハ勿論ナルモ、時ニハ全ク之ヲ外因的ニ解釋セザルヲ得ザル場合尠シトセズ、卽チ周圍ノ害毒 Mili-cnschädigungen ノ作用ハ小兒「ヒステリア」成立ニ重要ナル意義ヲ有スルコト甚多シ。誘因ハ時ニ一見肉體的事象、例ヘバ衝突、墜落等ニ存スルガ如ク見ユルモノアルモ、其眞因ニ至リテハ之ヲ此等肉體的事象ニ伴フ精神的外傷 psychisches Trauma ニアルモノト考ヘザル可カラズ、實際又驚愕、危惧、家庭ノ凶事ノ如キ眞正ノ精神的外傷ニ依リテ「ヒステリア」的症候ノ現ハルル場合甚ダ多シ。然レドモ一方ニハ又實際ノ器質的疾患ニ繼續シテ「ヒステリア」的症候ノ現ハルルコトアリ、例ヘバ「アンギナ」(咽峽炎)ノ爲ニ就蓐セル結果起行不能 Astasic-Abasie 現ハレ、又喉頭炎ノ後ニ無聲症 Aphonie ヲ殘留シ、或ハ結膜炎後ニ眼瞼搐搦 Blepharospasmus ノ來ルガ如キ卽チ是ナリ。又模倣 Imitation ニヨリテ「ヒステリア」的症候ノ現ハルル例尠カラズ、甚シキハ幼稚園、孤兒院、女學校等ニ於テハ屢、流行性ニ現ハル、コトアリ。例ヘバ舞蹈病樣症候、上手ノ震顫、吃語ノ如キ是ナリ。又時ニハ自己ノ既往ニ實存セシ一定疾患ノ症候ヲ後來ニ自ラ模倣スルモノアリ、例ヘバ彼ノ所謂舞蹈病ノ再發ト稱セラルルモノハ多クハ「ヒステリア」性起原ノモノタルニ外ナラズ、又精神病質ノ一特徵タル虛構ノ傾向ヨリシテ往々始メハ自識セル佯病 bewusste Simulation ヲナセルモノ後遂ニハ此自識ヲ失ヒ、茲ニ眞正ノ「ヒステリア」トシテ現ハルルコトアリ。蓋シ「ヒステリア」患者ハ極メテ自己暗示性 Autosuggestibilität ニ富ムモノナレバナリ。

小兒ニ於テ「ヒステリア」的現象ノ始メテ現ハルル年齡ハ小兒ノ自我意識發育シテ自己ト外界トノ對立ニ多少ノ明度ヲ有シ來ル頃卽滿二歲乃至滿三歲ノ間ニアルヲ通常トス。就學年齡ニ達スレバ「ヒステリア」的障碍ノ顯現益〻頻繁トナリ、年齡ノ長ズルニ從ツテ其病原ハ大人ニ近ヅク。性別ニ關シテハ小兒ニ於テハ兩性殆ンド其罹病率ヲ同フス、年齡ノ進ムニ從ツテ女性ニ於テ其數ヲ增スノ傾向ヲ見ル。

以下小兒「ヒステリア」ニ比較的屢〻見ル二三病像ニ就キテ記載セン。

「ヒステリア」性嘔吐。小兒ニハ比較的多ク見ルモノニシテ、爲ニ營養ノ輸入ニ困難ヲ感ズルコト稀ナラズ、稍〻年長ノ小兒ニアリテハ往々此症ノ爲ニ甚シキ營養障碍ヲ起シ、之ヲ器質的根原ノモノヨリ區別スルニ困難ヲ感ズルコトアリ、唯暗示ノ成效セル場合ニ於テ始メテ其ノ「ヒステリア」性タルヲ斷ズ可キノミ。

身體諸部ノ發作性疼痛、風腹 Meteorismus 呼吸頻數及其他ノ呼吸畸型、吃語、喘息發作、吃逆、噴嚏、頻尿、大小便失禁等ノ如キ器質的根據ニ來リ得可キ凡テノ症候ハ「ヒステリア」ニモ來リ得ルモノニシテ、其診定ニハ須ラク器質的疾患ヲ除外スルト同時ニ小兒ノ一般擧動ニ注意スルヲ要ス、然レドモ其確斷ハ治後ニ於テ始メテ之ヲ下シ得可キ場合尠カラズ。

緘默症 Mutazismus モ小兒「ヒステリア」ニハ稀ナラズ、殊ニ驚愕其他ノ精神的外傷ニ續イテ發スルコト最モ多シ。緘默症トハ自發的ニモ談話ヲナスコトナリ、又問ニ對シテモ何等答フル所ナキ狀態ヲ云フ。

「ヒステリア」性無聲症 Aphonia hysteria ノ小兒ニ比較的多キモノナルハ既ニ之レヲ述ベタリ。

頭痛ハ又「ヒステリア」性病兒ノ甚ダ屢訴フル所ニシテ、其性狀甚頑固ニ容易ニ之ヲ除去スル能ハズ。

完全ナル大「ヒステリア」痙攣ノ發作モ往々ニシテ十歲前後ノ小兒ニ於テ既ニ之ヲ見ルコトアリ、然レドモ甚シク稀有ノコトニ屬ス。

强梗狀態 Kataleptischer Zustend モ時ニ觀察セラル、强梗トハ被動的ニ與ヘラレタル四肢又ハ軀幹ノ位置ヲ持續シテ保チ、自ラ復舊セント試ミザルノ狀態ヲ云フ。

所謂大舞蹈病 Chorea magna ノ狀態ヲ呈スルコトアリ、卽チ恰モ俳優的態度ヲ以テ、室內ヲ徘徊彷徨シ、口ニ錯亂的ノ言句ヲ亂發シテ、或ハ坐シ、或ハ踊ル、而シテ發作後ニハ其ノナセル處ヲ追想スル能ハズ、又ハ少ナクトモ追想甚ダ茫漠タリ。

睡遊 Somnambulismus 亦稀ナラズ、夜間ニ來ル場合ニハ突然褥ヲ蹴ツテ起チ、恰モ目的アルモノノ如ク平常慣習セル一定行爲ヲナシ終ツテ再ビ寢ニ就キ、翌朝覺メテ全ク之ヲ知ラズ。晝間之ニ襲ハルル場合ニハ患者ノ狀態急變シテ、其爲セル處ヲ俄然放棄シテ、忽ニシテ喃々他事ヲ談ズルノ類卽是ナリ。

病的虛言症 Pseudologia phantastica ノ精神病質者ニ多キハ已ニ之ヲ述ベタリ。「ヒステリア」性處女ニ於テ殊ニ此傾向甚シキモノニシテ、時ニハ其虛言ノ爲ニ重大ナル訴訟事件ヲ構成スルニ至ルコトアリ、醫ニシテ此虛言ノ犧牲トナレル例尠カラズ、醫タル者常ニ警戒スル處アルヲ要ス。

ガンゼル氏症候統群 Ganserscher Symptomenkompler モ稍、長ジタル小兒ニ於テハ之ヲ見ルコトアリ。卽チ一見意識混濁ノ徵ヲ呈スルコトナクシテ、其談話及擧動ニ錯亂ノ狀ヲ呈シ、雪ヲ名ケテ黑色ナリトナシ、炭ヲ名ケテ白色ナリト云ヒ、靴ヲ冠リ帽ヲ履ムガ如キ、每ニ轉倒セル事ノミヲ行ヒ、一見自識セル佯狂ト區別スルコト困難ナリ。而シテ此種ノ症狀ヲ呈スルモノハ往々全身知覺脫失 Pananästhesie ヲ伴フコト多シ。

所謂「ヒステリア」特徵 Stigmata hysterica ハ小兒ニ於テハ之ヲ證明シ得ル場合甚ダ少ナシ、故ニ診斷ハ主トシテ其綜合病像ヨリシテ下サザル可カラズ、就中診斷上重要ナルハ其ノ訴フル自覺的症候ト客觀的所見トノ間ニ於ケル甚シキ懸隔ニアリ。

「ヒステリア」性小兒ノ叡知的發育ハ通常良好ナルモノニシテ、時ニハ甚シク早熟ノ傾向ヲ帶ビ、其ノ好ンデ口ニスル話題ハ成人ノ思想スル處ニ近ク、又好ンデ大人ノ爲ス處ニ雁行センコトヲ欲ス。然レドモ嚴密ニ其觀念蓄藏及概念構成ヲ檢スルトキハ其貧弱ト粗雜トニ驚ク場合稀ナラズ、殊ニ外見上ノ怜悧トノ對照ニ於テ甚シキ奇觀ヲ

呈ス。性行ハ常ニ主我的ニシテ、ヒタスラ他人ノ注目ヲ惹カンコトヲ欲シ、常ニ驚嘆ノ目標タランコトヲ望ンデ止マズ。此慾望ヨリ來ル努力ハ不知不識ノ間ニ小兒ノ下意識ニ作用シテ、以テ諸多「ヒステリア」的症候ヲ顯現スルノ原動力トナルモノナル可シ。此種性行ノ發展ハ小兒ヲシテ惡性ノモノタラシメ、道德的ニ低級ナル性格ヲ現出スルニ至ル。

「ヒステリア」性兒童ハ其一般擧動ニ於テ早熟ノ傾向ヲ呈スルノミナラズ、其色慾生活ニ於ケル發育ノ甚ダ早熟ナルコトモ甚屢見ル處ナリ。

診斷。上第一ニ注意ス可キハ「ヒステリア」性小兒モ器質的疾患ヲ得ルコト他ノ非「ヒステリア」性小兒ニ異ナラザルノ一事ナリ、一證候ノミヲ捉ヘテ以テ之ヲ「ヒステリア」ナリト斷ジ、爲ニ不測ノ失敗ヲ招クノ例ハ決シテ稀ナラズ。故ニ其診察ニ際シテハ須ラク周到ノ注意ヲ致スヲ怠ル可カラズ。然レドモ徒ニ煩瑣ナル檢診法ヲ用フルハ「ヒステリア」患者ノ信用ヲ失フ所以ニシテ、治療上爲ニ救フ可ラザル障碍ヲ將來スルコトアルモノナレバ、「ヒステリア」患者ノ診察ニハ常ニ緩急ノ時宜ヲ失セザルノ用意アルヲ要ス。要スルニ小兒「ヒステリア」ノ診斷ハ其ノ器質的根據ヲ確實ニ除外シ得タル場合ニ於テ始メテ之ヲ下シ得可キノミ。而シテ常ニ小兒ノ呈スル一般病像ニ注意ス可ク、所謂「ヒステリア」特徵ノ如キハ、既ニ述ベシガ如ク、小兒「ヒステリア」ニアリテハ殆ンド診斷上何等ノ價値ナキモノト知ル可シ。

療法。「ヒステリア」ノ療法ハ常ニ精神的ナル可シ、假ニ藥用ニヨリテ奏效スルコトアリトスルモ、ソハ直ニ之ヲ藥物ノ生理的作用ニ歸ス可キニアラズ、唯其ノ藥用ニヨル暗示作用ニ歸ス可キモノナルヲ忘ル可カラズ。精神療法ノ詳細ニ關シテ之ヲ述ブルハ本書ノ能クスル處ニアラザルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス。

小兒「ヒステリア」ノ起ルヤ、其周圍ノ狀況ノ與ツテ大ニ力アルハ已ニ之ヲ述ベタル處ナリ、從テ療法トシテ其周圍ヨリ之ヲ隔離スルコトハ治癒ノ上ニ大ナル影響ヲ有ス、時ニハ一二日ノ病院收容ニヨリテ已ニ十分ナル治癒ヲ見ルコトアリ、殊ニ收容後ハ唯小兒ノ負傷ヲ避クルニ注意スルノミトナシ、醫師看護婦等ノ觀察スルコトヲ避ケ只小兒ヲシテ獨居セシムルノミニヨリテ、能ク治療ノ目的ヲ達シ得ルコトアリ。

又所謂單症候的「ヒステリー」ニ對シテハ各其呈スル症候ニ應ジテ、或ハ感傳電氣Faradisation 或ハ「ビール」氏鬱血療法、又ハ無害物質ノ皮下注射、發汗療法等アラユル醫療的方法ヲ拉シ來リテ、之ヲ施コシ、以テ奇效ヲ奏スルコトアリ、然レドモ此等ハ皆已ニ述ブル處ノ如ク方法其者ノ直接的作用ニ非ズシテ、唯此等ガ暗示的ニ作用スルモノナルヲ忘ル可カラズ。之ト同一意義ニ於テ所謂呪咀禁厭等ハ大ニ效ヲ奏スルコトアリ。

* * * * * * *

以上說述セル數病型ニ現ハルル微候ハ專ラ精神的根據ヨリ來ル神經生活ノ障碍ニ在ルヲ以テ、近時ハ之ヲ精神性神經病 Psychoneurosen ナル名稱ノ下ニ總括ス。從前ハ癲

痼其他ノ疾病ト共ニ單ニ機能的神經病 funktionelle Nervenkrankheiten トシテ之ヲ分類セリト雖ドモ、疾病現象發現ノ根據ハ全然此等ト異ナリテ、其ノ一次的障碍ハ實ニ精神作用ニアルモノナリ、少ナクトモ狹義神經病ト廣義精神病トノ間ニ於ケル移行階段ト見做ス可シ。又此狀態ハ精神健康者ト狹義精神病者トノ中間ニ位スル狀態ナリトノ見解ヨリシテ、以上述ブ可キ狹義精神病ニ對シテ之ヲ分界狀態(Grenzzustände)ト稱ス。

第八　躁鬱狂 Manisch-depressives Irresein (Kraepelin)

躁鬱狂トハ躁揚狀態及抑鬱狀態ノ發作的ニ或ハ周期的ニ或ハ交番的ニ現ハルル精神病ヲ謂フ、而シテ兩狀態ハ其個々徵候ニ於テ各正反對ノ病像ヲ呈シ、各發作ハ一定期間持續ノ後消失シテ治癒ニ歸シ、發作間歇時ニアリテハ先ヅ常人ト大差ナキ精神狀態ヲ見ル。

原因ハ專ラ之ヲ遺傳的負因ニ求ム可ク、直接遺傳ノ例モ尠カラズ、殊ニ本病患者ノ血族ニ於テ前數章ニ述ベタル精神病質的人格ノ存スルコト甚多シ。從テ本病ハ一種ノ遺傳體質性疾患 hereditäre Konstitutionelle Krankheit ト見做ス可シ。此他本病ノ原因トシテ外原的被害 exogene Schädigungen 例ヘバ頭部外傷、熱性疾患、慢性傳染病等ノ物的事象及悲哀、驚愕、脅迫等ノ心的事象ヲ算スル學者ナキニアラザルモ信ズルニ足ラズ。唯個々發作ノ發現ニハ此等外因的殊ニ精神的影響ノ與カル場合ナキニアラザルハ必ズシモ否定スル能ハズ。然レドモ小兒ニ於ケル本病發作顯現ニ於テハ多クハ何等認ム可キ誘因ヲ捉フル能ハザルヲ常則トス。此一事亦本病ノ外因的疾患ニ非ラザルヲ證スルモノト謂フ可シ。

本病初發ノ頻度ハ二十歲前後ニ於テ最モ大ナルモノナレドモ、十五歲以下ニシテ已ニ本病ノ初發ヲ見ルモノモ決シテ少カラズ、リーベルス氏 Liebers ハ五歲ニ滿タザル一小兒ノ五六ケ月ニ亙リテ躁揚狀態ヲ呈セル例ヲ報告セリ。

各徵候及病像ノ詳細ハ茲ニ之ヲ盡ス可キニアラザルヲ以テ、之ヲ精神病學專門書ニ讓リ、茲ニハ唯其大要ヲ記スルニ止ム可シ。本病ハ章首ニ於テ已ニ述ベタルガ如ク、互ニ正反對像ヲ呈スル二種病像ノ發作ヲ以テ經過スルモノナレバ、以下假ニ二病トシテ各狀態ヲ記載セン。

(一) 躁揚狀態或ハ躁狂 Manie

氣分ハ持續的ニ且ツ過大ニ爽快(heitere Verstimmung)ヲ呈シ、多クハ自我意識亢進シ(egoistisches Selbstbewusstsein)、時ニ誇大妄想ヲ抱キ憤怒ノ傾向ヲ帶ブ。觀念界ニ於テハ所謂觀念奔逸 Ideenflucht ノ狀態ヲ呈シ、言語的興奮ヲ見ル。精神運動界(意思界)ニ於テモ興奮 psychomotorische Erregung ヲ來シ、輕キハ作業促迫 Beschäftigungsdrang トナリテ現ハレ、重キモノニアリテハ暴動 Tobsucht ノ狀態ヲ呈ス。

卽チ患者ハ嘻々トシテ常ニ笑ヲ含ミ、好ンデ放歌高吟シ、頻ニ舞踊跳躍ス。人ノ近クア

レバ卽チ加フルニ嘲笑罵詈ヲ以テシ、或ハ揶揄翻弄シテ以テ自ラ快ト爲ス。自我意識亢進ノ殊ニ甚シキモノニアリテハ戯謔的ニ自家廣告ヲ行ヒ、進ンデハ眞面目ナル誇大妄想ヲ表示シテ自己ノ偉大ニ就キテ廣言シ、好ンデ對者ヲ卑下ス。又殆ンド間斷ナク饒舌ヲ弄シ、多辯喋々、茲ニ著明ノ觀念奔逸ヲ呈ス、卽チ患者ハ一定ノ考慮行程繼續スル能ハズシテ、話頭轉々シテ徒ニ枝葉ヲ追フガ爲メ、其ノ言フ處殆ンド捕捉ス可カラザルニ至ル。此ノ際多クハ音韻ノ近似ノミニヨリテ聯想支配セラレ、所謂音韻聯想 Klangassoziation ヲ呈ス、卽チ內的聯想ノ著シク減却シ極メテ表面的トナル、更ニ甚シキニ至リテハ其語ル處殆ンド文章ヲ構成セズ、個々單語ノ羅列ニ過ギズ、所謂電信文樣言語 Telegrammsprache トナルニ至ル。而シテ注意ハ甚シク所動的トナリ、目睹耳聞スル處悉ク感與ヲ惹キ暫クモ一事物ニ向ツテ注意ヲ集注スル能ハズ、所謂轉向症 Ablenkbarkeit, Hyperprosexie ヲ呈ス。疲勞感覺ハ全ク失ハレ二六時中殆ンド持續シテ活動シ、睡眠時間亦甚シク短小トナル。食思ハ通常著シク旺盛トナリ、驚ク程多量ノ食餌攝取ヲ見ルコトアリ、然レドモ一方ニハ活動甚シキガ爲メ體重ハ日ニ減少スルヲ常トス。

(二) 抑鬱狀態 Depression 或ハ鬱狂 Melancholie

鬱狂發作ハ理由ナクシテ起ル持續的ノ悲痛的氣分違和 Fraurige Verstimmung 精神運動的抑制 psychomotorische Hemmung 卽チ意思抑制 Willenshemmung 及ビ觀念生活ノ制止卽チ考慮抑制 Denkhemmung ヲ以テ特徵トナス。

患者ハ何物ニ對シテモ喜悅ノ情ヲ有スル能ハズ、曾テハ熱烈ナル感與ヲ以テ迎ヘタルコトモ今ヤ唯憂ヲ增スノ基ヲ爲スノミ、或ハ徒ニ啼泣シ或ハ懊惱苦悶ス。此悲痛氣分ト共ニ意思抑制現ハレ、患者ハ終日蟄居シテ動カズ、食餌攝取、衣服著脫ノ如キ單ナル動作モ之ヲナスコト甚ダ遲々トシテ、之ヲ遂グルニ甚シキ抵抗ヲ感ズルノ狀ヲ呈ス。觀念經過モ著明ニ遲徐トナリ、單一ナル精神的作業ニモ甚シキ努力ヲ要シ、一問ニ答フルニモ長時ニ亙ル省慮ヲ費ヤスノ止ム可カラザルモノアリ。談話ノ聲ハ低小ニシテ且ツ甚シク單調トナル。

以上略述セル二狀態ハ躁——鬱狂發作ノ純粹ナル典型的病像ニシテ、其狀態ノ認識ハ比較的容易ナルモノナリトス。然ルニ個々發作ニ於テ躁揚又ハ抑鬱ハ常ニ精神作用ノ三方面ニ均等ニ來ルコトナクシテ、病像不純トナリ、其判斷ニ苦マシムル場合少ナカラズ、卽チ觀念生活ニ於テハ興奮ヲ呈スルモ、感情及意思生活ニ於テ甚シキ抑鬱ヲ存スルガ如キ發作ヲ見ルコトアリ。此等ノ不純ナル病像ヲ總稱シテ混合狀態 Mischzustände ト云フ。今假ニ精神作能ノ三大方面卽チ觀念生活、感情生活及意思生活ヲ各個獨立ノ作能ト見做シ、各作能ニ於テ各興奮及抑鬱ノ二障碍ヲ來スモノトセバ茲ニ六個ノ症候ヲ得可シ、卽チ觀念界ニ於テハ觀念奔逸 Ideenflucht 及考慮抑制 Denkhemmung 感情界ニアリテハ爽快的氣分違和 heitere Verstimmung 及悲哀的氣分違和 traurige Verstimmung 意思界ニアリテハ運動促迫 Bewegungsdrang 及意思抑制 Willenshemmung 卽是ナリ。

今此六個ノ障碍ガ互ニ相當ノ組合ヲナシテ現ハルルモノトスレバ、茲ニ八種ノ狀態ヲ現呈ス可シ。卽チ知情意共ニ興奮シタルモノハ已ニ述ベタル典型的躁狂ニシテ、其反對像タル典型的鬱狂ハ知情意ノ共ニ抑鬱ヲ被レル狀態ナリ。他ノ六種ハ卽チ所謂混合狀態ニ屬ス。

(三) 抑鬱的又ハ苦悶的躁狂 depressive oder ängstliche Manie

此狀態ハ典型的躁狂ノ爽快氣分ニ代フルニ抑鬱氣分ノ現ハレタルモノニシテ、觀念奔逸、作業促迫及苦悶的氣分ヨリ成ル。抑鬱氣分ノ特ニ著明ナルモノハ之ヲ激越的抑鬱 agitierte Depression ト云フ。

(四) 興奮性抑鬱 erregte Depression

前記狀態ノ觀念奔逸ガ考慮抑制ニ變ジタル場合ニシテ、患者ハ常ニ不機嫌ニシテ、病訴多ク、苦悶ニ堪ヘザルモノノ如ク手ヲ揉ミ、或ハ頭部ヲ支ヘツツ室內ヲ逍遙ス。

(五) 無爲性又ハ考慮貧弱躁狂 unproductive oder gedankenarme Manie

前狀態ノ抑鬱氣分變ジテ爽快氣分トナレルモノニシテ、一言ニシテ云ハバ觀念奔逸ナキ躁狂ナリ。患者ハ單一ナル事象モ容易ニ思當ル能ハズ、屢〻不適當ノ答ヲ與フ、而シテ嘻々トシテ笑ヒ、無意味ノ作業促迫ヲ呈ス。故ニ一見高度ナル癡呆ヲ呈スルノ觀ヲ呈ス。此狀態ハ比較的屢〻見ルモノナリ。

(六) 躁狂性昏迷 Manischer Stupor

觀念界及意思界ニ於テ抑制ヲ來シテ、感情ノ異常爽快ヲ呈セル場合ニシテ、患者ハ多クハ默シテ褥中ニアリ、周圍ト交通スルコトナク、問ヲカクルモ答フル處ナク、何等認ム可キノ原因ナキニ患者ハ獨リ常ニ微笑ヲ含ム

(七) 觀念奔逸性鬱狂 ideenflüchtige Depression

情意二方面ニ於テ抑鬱ヲ來シ、觀念生活ノミニ興奮ヲ呈スル場合ニシテ、患者ハ多クハ無言ニシテ、且ツ束縛セラレタルガ如キ一般狀態ヲ有スルニ拘ラズ、自家周邊ノ事象ニ對シテ常ニ正シキ理解ヲ有スルモノノ如ク、且ツ之ニ對シテ常ニ感興ヲ有ス。

(八) 抑制ヲ有スル躁狂 gehemmte Manie

觀念奔逸ト爽快氣分トニ意思抑制ノ現ハレタル狀態ニシテ、患者ハ豪放ニシテ時ニハ多少刺戟性ナリ、注意ハ轉向的ニシテ好ンデ諧謔ヲ弄シ、饒舌ナリ。然レドモ不穩ノ擧動ナク褥ヲ守ル。

以上記述セル混合狀態ハ多クハ純粹ナル躁狂及鬱狂發作ノ初期又ハ一發作ヨリ他發作ニ移行スル場合ニ於テ之ヲ見ルモノナレドモ、時ニハ獨立的發作トシテ現ハルルコト亦決シテ稀ナラズ、殊ニ小兒期ニ於テハ純粹ナル躁揚又ハ抑鬱ヲ來スコトハ寧ロ少ナリ、兩者頻度ハ共ニ二五・〇％ニ過ギズ、發作ノ大半ハ混合狀態ニ屬ス。故ニ小兒期ニ於ケル躁鬱狂ノ診斷ハ屢〻困難ヲ感ゼシム。抑〻此混合狀態ナルモノニ關スル吾人ノ智識ハ今日尙貧弱ニシテ、以上六種狀態ノ設立ニハ吾人ノ推理ニ基ク部分決シ

テ尠シトセズ、小兒期躁──鬱狂ノ研究ハ此推理的假設ノ吟味ニ向ッテ重要ナル意義ヲ有ス。

經過及豫後　躁揚又ハ抑鬱發作ノ一回ニシテ止ムモノハ甚ダ少ナク、多クハ各發作ヲ周期的ニ(Periodisches Irresein)又ハ交番的ニ(Circuläres Irresein)反復スルヲ常則トス。而シテ各發作ノ間歇時ハ一定セズ、短カキモノハ一二週日ニ過ギザルアリ、甚シキハ全ク間歇時ナクシテ、躁鬱兩發作ノ正シク交番シテ現ハルルモノ(Cyclisches Irresein, Folie circulaire proprement dite)アリ。長キモノニアリテ數年乃至十數年ニ亙リテ發作ヲ見ザルコトアリ。

各發作ノ豫後ハ通常佳良ニシテ、一定期間持續ノ後ニハ治癒ニ歸シ通常狀態ニ復ス。各發作ノ持續亦タ一定セズ、數日乃至數月ヨリ、甚シキハ年餘ニ及ブ。小兒ニアリテハ多ク短カキヲ常トス。

診斷　小兒期躁──鬱狂ハ、已ニ述ブルガ如ク、所謂混合狀態ヲ以テ發作スルコト多キヲ以テ、初發發作ニ於テ之ヲ確診スルコト甚ダ困難ナリ。多クハ經過ニヨリテ之ヲ斷ズ可キノミ。就中鑑別ヲ要ス可キモノハ

(一) 癲癇性朦朧狀態 Epileptische Dämmerzustände ノ殊ニ躁暴ヲ伴フ場合ニハ、重症ナル躁狂發作ト區別スルコト困難ナリ。然レドモ容貌、頭蓋畸形、單調ナル觀念經過等ニ注意スレバ之ヲ區別スルヲ得可シ。發作ノ經過後ニ於テ記憶脫失ヲ證明シ、發作當時ノ意識溷濁ヲ確診スルヲ得バ、勿論癲癇性ノモノタルヲ確斷シ得可シ。癲癇性朦迷ニアリテハ一見シテ意識溷濁ヲ認メ得可キニヨリ、鬱狂性朦迷 Depressiver Stupor トノ區別必シモ困難ナラズ。躁──鬱狂ニアリテハ意識ハ常ニ清明ナルヲ特徴トス。

(二) 早發癡狂 Dementia praecox ノ興奮狀態及抑鬱狀態トノ區別ハ往々ニシテ殆ンド區別ス可カラザルコトアリ、唯早發癡狂ニアリテハ比較的多ク妄覺 Sinnestäuschungen 及妄想 Wahnidee ヲ伴フ點及表情運動ノ異常アルニヨリテ之ヲ區別ス可シ。躁──鬱狂ノ混合狀態ト早發癡狂トノ區別ハ大ニ困難ナリ。

(三) 白癡ノ興奮型 Erregte Form der Idiotie ト最幼年者ニ於ケル躁狂發作トハ其病像酷似スルコトアリ、此場合ニハ叡智薄弱ノ有無ニヨリテ之ヲ決ス。躁──鬱狂ニアリテハ叡智發育ニ於テ障碍ヲ蒙ムルコト甚ダ稀ナリ。

療法　躁鬱何レノ發作ニアリテモ處置ノ第一ハ周圍ヨリ隔離シテ一切ノ刺戟ヨリ遠ザクルニアリ。躁揚發作ニアリテハ比較的大量ノ「ブローム」投與ニヨリテ之ヲ頓挫セシメ得ルコトアリ。抑鬱發作ニシテ殊ニ苦悶 Angst ヲ有スルモノハ之ニ加フルニ阿片ノ適量ヲ以テス可シ、此際便通ニ注意スルヲ要ス。抑鬱發作ニアリテハ時ニ厭世的考慮ヨリ自殺ヲ企圖スルモノアルヲ以テ、不斷ノ監視ヲ怠ル可カラズ。

躁──鬱狂ノ遺傳負因ヲ有スル小兒又ハ已ニ本病ノ發作ヲ呈セル小兒ノ將來ニ向ッテハ其取ル可キ職業ニ關シテ注意スルヲ要ス。卽チ公衆ニ對シテ容易ニ危險ヲ招ク

可キ諸多ノ職業ハ之ヲ避ケシメザル可カラズ。

第九　早發癡狂 Dementai praecox, Schizophrenie

早發癡狂ハ精神作能ノ三大方面タル知情及意ノ間ニ於ケル內的相互關聯ノ解離ヲ以テ根本特色ト爲ス精神病ニシテ、常ニ進行性慢性經過ヲ取リ、遂ニハ深キ癡呆狀態ニ陷ルヲ常則トス。

原因　早發癡狂ノ原因的要約中重視ス可キハ其遺傳的負因ナリ、此點ニ關スル數字的提擧ハ今日未ダ尙確定ノ域ニ達セザルモ、各學者ノ調査ハ五〇—九〇%ノ間ヲ昇降シ平均七〇%ニ於テ遺傳負因ノ存在ヲ證明シ得可キガ如シ。本病ノ初發年齡ニ關スル統計ニ於テハ二十五歲前後ニ於テ其頻度最モ大ニシテ、約二六·〇%ヲ示スモ、二十歲以前殊ニ破瓜年齡ニ於ケル頻度モ小ナラズ、十歲未滿ノ小兒ニ於ケル發病亦決シテ稀有ノコトニアラズ。人文及氣候等ハ本病ノ發現ニ關シテ大ナル影響ヲ有セザルモノノ如シ。

往時本病ノ原因トシテ重視セラレタル性慾生活ノ異常殊ニ手淫過度ハ爾後ノ研究ニヨリ原因ニ非ラズシテ、寧ロ症候ノ一ト見做ス可キヲ確證スルニ至レリ。然レドモ挽近ニ於ケルアブデルハルデン Abderhalden 氏ノ漿液學的研究ニヨレバ本病ト生殖腺內分泌トノ間ニハ何等カノ關係ヲ存スルモノノ如シ。而シテ此方面ヨリスル研究ニ於テ他日或ハ本病ノ本態ノ闡明ヲ遂行スルヲ得ルノ期望ナキニアラズ。

性慾生活ノ異常ト共ニ從來種々ノ心的竝ニ物的事象ニシテ本病ノ原因トシテ擧ゲラレタルモノ多々アリト雖ドモ、共ニ皆眞正ノ成病的原因ト見做スニ足ラズ。要スルニ本病ハ遺傳負因ニ基ク體制ノ變質的素地ニ現ハルルモノト認ムルノ外ナク、一言ニシテ云ハバ一種ノ內原的疾患 Endogene Krankheit ナリ。現今學者ノ信ズル處ニヨレバ何等カ內分泌ノ異常ニヨル自家中毒ニヨルモノノ如シ。解剖學的根據トシテハ前頭葉ノ神經細胞ニ變質性變化ヲ證明スト謂フモ未ダ以ツテ定說ト爲ス能ハザルガ如シ。

症候　本病ハ其ノ呈スル綜合病像ニヨリ(一)破瓜狂、(二)緊張狂及(三)偏執狂樣癡狂ノ三型ニ分ツテ論ゼラル。破瓜狂 Hebephrenie ハ緘默症 Apathie ヲ主要徵候トシテ來ルモノニシテ、緊張狂 Katatonie ハ緘默症 Mutazismus、强梗症 Katalepsie、拒抗症 Negativismus、常同症(刷出症) Stereotypien、音誦絮話症 Verbigeration、容儀症(衒奇症) Manisrierrtheiten 等ノ所謂緊張狂性徵候 Katatonische Symptome ヲ著明ニ呈スル病型ヲ謂ヒ、偏執狂樣癡 Dementia paranoides トハ幻覺 Halluzination 疑察(曲解) beziehende Deutung(Délire l'interpretation)及妄想形成 Wahnbildung ヲ主徵トシテ現ハルル病型ヲ謂フ。然レドモ此三者ハ實際ニ於テハ互ニ相移行スルモノニシテ、其間決シテ劃然タル區別アルモノニアラズ。殊ニ幼年時代ニ見ルモノニアリテハ病像不純ニシテ三型ノ何レニモ適合セザル場合多シ。而シテ

幼年者ニ於テ最モ屢〻遭遇スルモノハ破瓜狂ノ病型ナリトス。故ニ茲ニハ專ラ此型ノ病像ニ就キテ說述セン。

本病ノ初端徵候ハ極メテ不定ニシテ、唯單純ナル神經衰弱ヲ思ハシムルニ止マル、例ヘバ睡眠不足、疲勞感、頭痛、倦怠等ヲ訴フ。而シテ此他種々ノ心氣性考慮 Hypochondrische Gedankeヲ表示ス。然レドモ此時已ニ患者ハ性格ノ變化ヲ來シ、沈默シテ寡言トナリ、夢幻的憧憬ニ因ハレ、人生ヲ疑ヒ厭世ノ念ヲ發ス。學業日ニ荒ミ、近親朋友ニ對スル溫情ヲ失ヒ、冷淡平氣トナリ、次デ意思麻痺 Willenslähmung ニ陷リ、茫然トシテ光陰ノ空過スルニ任シ、無爲徒食シテ更ニ意ニ介スル處ナキニ至ル。而シテ此狀態ニアリテハ其ノ病的ナルコトハ未ダ周圍ノ想到スル處トナラズ、周圍ハ之ヲ律スルニ正常的心理ヲ以テシ、或ハ之ヲ目シテ懶惰又ハ頑迷ト爲シ以テ甚シク之レヲ增惡スルニ至ルコト稀ナラズ。

或場合ニアリテハ初期ヨリシテ悲哀的氣違和强ク、加フルニ抑鬱妄想及偏執性妄想ヲ以テ現ハルルコトアリ、此場合ニアリテハ既ニ俗目ニモ容易ニ病的トノモノトシテ映ズ。卽チ患者ハ初メ罪業妄想 Versündigungswahn ヲ表示シ、生ヲ厭ヒ死ヲ欲ス、其際諸種ノ、殊ニ聽官ノ幻覺ヲ有シ、自己ノ罪惡ヲ擧ゲテ叱責スル人聲ヲ聞キ、行人ハ皆自己ニ注目シテ止マズトテ被觀妄想 Beachtungswahn ヲ表示シ、又人ノ一擧手一投足ハ皆自己ヲ諷スルモノナリトテ關係妄想 Beziehungswahn ヲ形成ス、又食ニ毒味ヲ感ゼリトテ被毒妄想 Vergiftungswahn ヲ形成ス、又ハ種々ノ祕法或ハ電氣等ノ力ニヨリテ身體諸部ヲ侵サルルモノト信ジ、所謂 physikalische Erklärungswahn ヲ表示ス。此妄想ヲ主トシテ來ルモノハ偏執狂樣癡狂 Dementia paranoiebs トノ移行型ナリ。以上ノ如キ自己ノ一身ト重大ナル關係ヲ有スル妄想ヲ懷クニ拘ラズ、患者ノ之ニ對スル反應ノ薄弱ナルハ一種ノ奇觀ヲ呈スルモノニシテ、此一事ハ患者ニ於テ已ニ一定度ノ感情鈍麻ヲ來セル證左ニシテ、實ニ本病ノ診斷ニ向ツテ忘ル可カラザルコトノ一ナリトス。

又破瓜狂ノ或型ニアリテハ其發現突如トシテ來リ、一種ノ興奮狀態ヲ以テ現ハルルコトアリ。卽チ患者ハ輕躁狂 Hypomanie ニ類スル狀態ヲ呈シ、癡愚的爽快氣分 dumme Euphorieヲ呈シ、放埒ニシテ、頻ニ放笑シ、饒舌多辯トナリ、何等特殊ノ感情勢調ナキ單調ニシテ且ツ前後ノ聯絡ヲ缺如スル支離滅裂的談話 monotone und zerfahrene Redeヲナシテ停止スル處ヲ知ラズ。擧動ニ於テモ怪異ノコト多ク、徒ニ過度ノ禮容ヲ修メ、又ハ不可思議ノ作法ヲ以テ人ニ對スル等ノコトアリ。此容儀症ハ步行、攝食等ニモ隨伴スルコト稀ナラズ。此狀態ハ種々ノ緊張狂的徵候ヲ有スル一種ノ昏迷狀態 Katatonischer Stupor ト相交替シテ反復スルコトアリ。

早發癡狂ハ以上述ブルガ如キ種々ノ狀態ヲ以テ初發スルモノニシテ、初期ニ於テハ甚シク著明ナラザルモ經過ト共ニ感情興奮ノ荒廢ヲ來シ、遂ニハ極メテ特異ナル無慾 Apathie 及無感興 Interesselosigkeit、無管症 Teilnahmlosigkeit ヲ呈シ、自家身邊ニ如何ナル

大事件ノ襲來スルモ泰然自若、全ク虛心平氣 gleichgültig ノ態ヲ持シテ動カズ。此感情鈍麻ト共ニ意思界ニ於テモ麻痹現ハレ、終日無爲ニシテ蓐中ニ身ヲ埋メテ此ノ退屈ヲ感ズルコトナシ。叡智界ニアリテハ著明ニ判斷薄弱 Urteilsschwäche ヲ示シテ、種々ノ癡愚的妄想ノ構成ヲ助クルモ、個々ノ觀念蓄藏 Vorstellungsschatz ニ於テハ通常著シキ陷缺ヲ來スコトナシ。記憶ハ一般ニ佳良ナルモ、無管症ノ爲ニ新事象ニ對シテ注意スルノ傾向全ク失ハルルヲ以テ、最近ノ經驗ニ對スル記銘 Merken ハ通常甚ダ漠然タリ。

豫後　本病ハ先ヅ不治ノモノト考フルヲ宜トス。進行的經過ヲ取リ數年ノ後ハ末期癡成ノ狀態ニ陷ル(詳細ハ精神病書ニ據リテ知ル可シ)。生命ニ對スル直接ノ危險ハ之ヲ見ザルモ妄想ノ爲ニ自殺ヲ企ツルコト稀ナラザルヲ以テ注意ヲ要ス。又數年ニ亙ル就蓐其他ノ不攝生ノ爲メ結核其他ノ併合症ノ爲ニ生命ノ危險ヲ招ク。

診斷　本病ヲ最初期ニ於テ診定スルコトハ患者ノ將來ニ對シテ極メテ重要ナリ。性格ノ變化、顏貌、擧動聯想異常等ニ注意スレバ診斷必シモ困難ナラズ。(一)本病ト神經衰弱トノ鑑別ハ時ニ困難ヲ來スコトアルモ性格變化ノ有無ニ注意シ、感情鈍麻ノ存否ヲ參照セバ之ヲ別ツヲ得可シ、卽チ神經衰弱ニアリテハ常ニ健康ニ復セントノ努力ノ跡ヲ認メ得可キモ、早發癡狂者ニアリテハ心氣性考慮ハ之ヲ口ニスルモ感情勢調ノ之ニ伴フモノナシ。(二)緊張狂性徵候ヲ主トシテ現ハルル場合ニハ「ヒステリア」トノ區別困難トナル、經過ニ依ルニアラズンバ殆ンド鑑別ス可カラザル場合アリ。(三)躁鬱狂トノ鑑別ニハ早發癡狂ニ特有ナル異樣擧動例ヘバ容儀症、常同症等ニ注意ス可シ。(四)癲癇ニ對シテハ痙攣ノ有無、意識混濁ノ存否ヲ注意シ、其經過ヲ參考シテ之レヲ分ツ。

處置　本病ノ處置トシテハ病兒ノ將來ニ對スル方針ノ確立ヲ以テ要義トス。區々タル對症的藥餌療法ノ如キハ全然之ヲ放棄ス可シ、決シテ效アルモノニアラズ。學業ハ直ニ之ヲ廢セシメザル可カラズ。妄想其他ノ爲メ自他ニ危險ヲ致スノ恐アル者ニ對シテハ不斷ノ監視ヲ要ス、幸ニシテ病勢ノ進行ヲ停止シテ、所謂陷缺治癒 Defektheilung ノ轉歸ヲ取レルモノニ對シテハ頭腦ノ關與ヲ要セザル機械的職業殊ニ農事園藝ノ業ヲ與フルヲ宜トス。而シテ早發癡狂者ノ根本特色ハ精神的人格ノ崩潰ト感情意思兩界ノ鈍麻ニ存シ、好ンデ無爲徒食ノ生ニ陷ルノ傾向ヲ存スルモノナレバ之ニ不斷ノ驅動ヲ加ヘ、以テ能フ限リノ勞作ヲ營マシムルヲ宜トス。斯ノ如キハ實ニ患者個人ニ對シテ無爲徒食ニヨル廢用的萎縮 Inaktivitätsatrophie トモ見ル可キ癡成進行ヲ阻止スルニ足リ、人力經濟ノ上ヨリ見ルモ甚有益ノコトタラズンバアラズ。

第十　麻痹狂 Dementia paralytica, Paralysis progressiva

麻痹狂ハ慢性ニ進行性經過ヲ取リ遂ニ深キ癡呆ニ陷ル不治ノ精神病ニシテ、常ニ數多ノ器質的神經症候ヲ隨伴スルモノナリ。

原因四十歳前後ニ於テ其罹病率最大ナリト雖ドモ、比較的若年ノ時代ニモ本病ノ發現ヲ見ルコトアリ、而シテ若年者ノ麻痹狂ハ其病像及經過ニ於テ成人ノソレト多少異ナレル點アルヲ以テ、特ニ幼年性及青年性麻痹狂 Infantile und juvenile Paralyse ノ名ノ下ニ區別シテ記載セラル。

麻痹狂ヲ惹起ス可キ直接原因ノ黴毒ニ求ム可キハ早ク已ニ人ノ唱道セル處ナリシガ(Moebius Krafftebiug)、近時ワッセルマン Wassermann 氏反應ノ發見ト共ニ更ニ此ノ說ノ正シキヲ證スルニ至レリ。而シテ成人ノ麻痹狂ハ大多數ニ於テ後天的黴毒ニ因スルモ、若年者ノ麻痹狂ハ多クハ遺傳黴毒ニ因スルモノノ如シ。著者ハ小兒ノ麻痹狂ニ罹レル後數年ナラズシテ其ノ親ノ同ジク本病ヲ患フルニ至レルモノヲ見タルコトアリ。

遺傳黴毒ニ因スル所謂若年麻痹狂ノ初發ハ二十歳前後ニ於テ最モ多キモ、六七歳ニシテ已ニ其初徵ヲ呈スルモノ亦決シテ稀ナラズ。比較的幼年者ニ來ルモノハ之ヲ小兒麻痹狂 Infantile Paralyse ト稱シ、二十歳前後ニ現ハルルモノヲ青年麻痹狂 Juvenile Paralyse ト云フ。兩者ノ間ニハ漸次ノ移行ヲ存スルコト勿論ナリト雖ドモ、小兒麻痹狂ハ精神的發育ノ極メテ不充分ナル時期ニ現ハルルガ爲メ、往々ニシテ通常ノ白癡ト誤認セラレ、其本態ノ看過セラルル場合少カラズ。青年麻痹狂ニ於テハ之ニ反シテ、其ノ發現ハ已ニ一定度ノ叡智發育ヲ過ギタル後ナレバ、其癡成機轉ハ容易ニ周圍ノ注意スル處トナル。

徵候ハ大體ニ於テ大人ノソレニ異ナル處ナシト雖ドモ、其病像ハ比較的ニ單純ニシテ多クハ癡鈍性麻痹狂 Demente Paralyse ノ形式ヲ取ル。

本病ヲ患フル小兒ハ幼時ヨリ發育後レ、精神的ニモ身體的ニモ低格ナルモノ多シ、然レドモ時ニハ全ク之ニ反シテ病症初發ノ際マデハ何等ノ障碍ヲ呈スルコトナク尋常ノ發育ヲ遂グルモノアリ。初徵トシテハ先ヅ遲鈍トナリ、不注意トナリ、記憶薄弱ヲ呈シ、學業進マズ、他兒童ト其行ヲ共ニスル能ハザルニ至リテ兩親ハ始メテ愛兒ノ尋常ニアラザルヲ注意スルヲ常則トス。此精神的遲鈍ハ日ト共ニ漸次其度ヲ增シ、其間時ニ子供ラシキ誇大妄想ヲ表示スルコトアリ、或ハ種々ノ心氣的考慮ヲ抱クコトアリ。又往々ニシテ原因ナキニ興奮狀態ニ陷リ、劇シク號叫シテ、室內ヲ走リ廻リ、無意味ニ周邊ノ人ヲ襲ヒ又ハ器物ヲ取リテ放擲スル等ノ暴行ヲ敢テスルコトアリ。斯ノ如クシテ病勢ノ進ムト共ニ麻痹狂ニ特有ナル種々ノ身體的神經徵候——瞳孔障碍、言語障碍、運動失節等——ヲ現呈ス。歩行亦不確トナリ、遂ニハ起立ダモ能クセザルニ至リ、兩便ノ失禁ヲ呈シ、甚シク不潔トナル、此時ニ及ビテハ已ニ深キ癡呆ニ陷リ周圍ニ對スル認識ヲ缺キ、甚シキハ食ス可キモノト食ス可カラザルモノヲダニ之ヲ區別スル能ハザルニ至リ、口邊ニ物ノ觸ルルアレバ直ニ吸吮運動 Saugbewegung ヲ始メ暫クハ之ヲ繼續ス。或ハ又殆ンド持續的ニ咀嚼運動 Kaubewegung ヲナスモノアリ。就蓐稍、久

キニ亙ルモノニアリテハ脚ニ於テ、後ニハ上肢ニ於テモ拘縮Kontrakturヲ來シ、關節ハ異常ノ位置ニ固定セラル。本病經過中ニ癲癇形痙攣發作ヲ反復スルコト尠カラズ、時ニハ一日數回ニ及ブコトアリ。爾他ノ徴候著明ナラズシテ專ラ此痙攣發作ヲ以テ現ハルル場合ニハ往々『癲癇ヲ有スル白癡』Idiotie mit Epilepsieノ診斷ノ下ニ取扱ハルルコトアリ。遺傳徴毒性麻痹狂ニ於テハ爾他ノ麻痹狂徴候ト共ニババンスキBabinski氏反射——足蹠又ハ下脚部ヲ擦過スル際ニ蹠趾ノ背屈ト他四趾ノ散開蹠屈トヲ來ス——ヲ見ルコト多シ、加之時ニハ此反射後持續的ニ蹠趾ノ背屈位ヲ取ルモノアリ。視神經消耗Sehnervenschwundモ亦比較的ニ屢〻之ヲ見ル。

經過ハ極メテ遲々タルモノニシテ、多クハ三四年ニ亙ル、時ニハ更ニ長ク十年近クニモ及ブコトアリ。

診斷上ニハ遺傳徴毒ノ徴候(ハッチンソンHutchinson氏)ヲ注意スルハ勿論必要ナルモ、每常之ニ遭遇スルモノニハアラズ。一旦一程度ノ精神的發育ヲ遂ゲタル者漸次ニ精神薄弱ノ傾向ヲ呈スルヲ見バ先ヅ本症ニ疑ヲ置カザル可カラズ、而シテ仔細ニ麻痹狂特有ノ神經徴候ニ注意セバ診斷必ズシモ困難ナラズ、然レドモ此等ノ徴候ニシテ捉フ可キナキ場合ニ於テハ、腦脈瘍及ビ其他ノ腦ノ廣汎ナル器質的腦疾患トノ鑑別容易ナラザルコトアリ。此場合ニ於テハ麻痹狂ノ所謂『四反應』„Vierreaktionen——(1)血液ノワッセルマン反應、(2)腦脊髓膜液ノワッセルマン反應、(3)腦脊髓膜液ニ於ケルノンネ＝アペルト氏第一期反應Nonne-Apeltsche Phase I-Reaktion (4)腦脊髓膜液ノ細胞數增加Pleozytose——ニヨリテ確診ヲ下シ得可シ。殊ニ最後ノ檢査ハ家族性黑內障性白癡Familiäre amaurotische Idiotie(殊ニフォーグ氏型)トノ區別ニ於テ必要ナリ。

處置トシテハ專ラ强壯療法ヲ施ス可キノミ。『サルヴァルサン』又ハ『アズロール』及其他ノ藥品ニヨリテ驅徴療法ヲ試ム可キモ效果ハ甚ダ疑フ可シ。

第十一　精神的發育抑制 Psychische Entwicklungshemmungen (生來的精神薄弱)

精神生活發育ガ生來的ニ抑制セラレ或ハ其最幼期ニ於テ中道ニシテ停止セルガ爲ニ現ハルル精神作能不全ノ狀態アリ、之ヲ一括シテ精神的發育抑制ナル名ヲ以テ命ズ。而シテ白癡、癡愚、魯鈍等ノ名ハ皆此狀態ヲ呼ブニ用ヰラルル名辭ニシテ、癡呆Demenzニ對スルモノト見ル可ク癡呆ハ一定ノ精神疾患ヲ經過シタル後ニ殘留スル精神作能ノ貧弱ヲ謂フ。

精神發育不全ハ其程度ニヨリ通常之ヲ三段ニ區分ス、其最輕度ノモノヲ魯鈍Debilitas、其中度ノモノヲ癡愚Imbecillitas、其最高度ノモノヲ白癡Idiotismus ト云フ。魯鈍トハ最モ常人ニ近キ發育ヲ遂ゲタルモノニシテ、往々ニシテ常人ト區別シ難キモノナリ、通常ハ身體的畸形等ヲ伴ハズ、記憶、言語及ビ感情竝ニ意思界ノ發育ハ先ヅ殆ンド之ヲ遂

グルモ、其綜合叡智ニ於ケル發育不充分ニシテ、其精神的眼界ノ狹小ナルヲ特徴トシ多少複雜セル職業ニハ從事スルニ堪ヘズ、然レドモ猶獨立シテ社會ニ立チ相應ノ生計ヲ營ムノ能力ヲ有ス、故ニ一般ニ先ヅ內社會的 infrasozial ト見做ス可シ。癡愚ニ於テハ稀ニハ一見已ニ外部ノ畸形ヲ呈シ、其精神能力モ既ニ多少著明ナル貧弱ヲ示シ、且ツ精神各方面ノ發育ニ不調和ヲ存スルガ爲メ、多クハ社會ノ一員トシテ生存スル能ハズ、卽チ多クハ反社會的 antisozial ニシテ、社會ニ害毒ヲ及ボスモノナリ或ハ少ナクトモ社會ト全ク沒交渉ニシテ外社會 extrasozial ナルモノナリ。白癡ニアリテハ同時ニ身體的畸形ヲ伴フコト多ク、其叡智ノ發育極メテ低ク、往々ニシテ種々ノ神經的徵候ヲ呈ス、大多數ノモノハ社會ニ對シテ可モナク不可モナク先ヅ外社會的ト見做ス可キモ、時ニハ勤勉ナル勞働者トシテ內社會的ノモノナキニアラズ、然レドモ之ニ對スル社會ノ處遇ニシテ一旦其ノ宜ヲ失スルニ於テハ忽ニシテ變ジテ反社會的トナルモノ少カラズ。

一　魯鈍 Debilitas

魯鈍トハ生來的精神薄弱ノ最輕度ノモノニ名ケタルモノニシテ、上ニ向ツテハ健康範圍ニ漸次的移行ヲ呈ス、其叡智的稟賦ノ薄弱ナルコトノ周圍ヨリ始メテ注意セラルルハ尋常小學時代ニシテ、當時已ニ陰鬱ニシテ臆病、外界ノ領解已ニ困難ニシテ、事物ヲ考フルノ力鈍ク、同輩ト歩調ヲ共ニシテ進行スル能ハズ、殊ニ最初級ニアリテハ略見ル可キノ、或ハ佳良ナル成績ヲ見ルコトアルモ、漸次學年ノ進ムニ從ヒ、其知力不完ハ著明トナル、又或者ニアリテハ其叡智ノ早熟アリテ所謂神童ト見做サレタルモノニシテ破瓜期ヨリシテ已ニ其叡智發達ノ中止ヲ見ルモノアリ。

記憶ハ其精神能力中最モ秀ヅルモノノ一ニシテ、其習得ニハ尠カラザル困難アルモ、一旦習得セルモノハ終生之ヲ把持シテ忘却セズ、驚ク可キ固執性ヲ示スコトアリ、然レドモ是多クハ機械的ニ之ヲ記憶シ居ルノミニシテ、各記憶間ノ內的關係ニハ何等ノ理解ヲ有セズ、其思想構成上ニ之ヲ運用スルノ道ヲ知ラズ、其記憶ハ只一種ノ覺書トシテ殘ルノミ、然レドモ「ヒステリア」性色彩ヲ帶ブル魯鈍者ニアリテハ時ニハ其記憶ニ錯誤多ク往々ニシテ構譚 Kontäbulation ヲ逞ウスルモノアリ。

計算ノ能力ニアリテハ發育非常ニ不良ニシテ、只記憶トシテ習得セル九々表ノ如キハ極メテ確實ニ暗誦スルニ拘ラズ簡單ナル歩合算モ到底之ヲ能クセザルモノアリ、斯ノ如キハ最明瞭ニ運用ノ能ニ乏シキヲ示スモノナリ。

判斷能力ハ薄弱ニシテ、周圍ノ事象ニ關シテ一般的綜合知見ヲ得ル能ハズ、其ノ觀ル處ハ眼前數尺ノ處ニ過ギズ、考フル處ハ自家一身若シクハ極近親者ノ上ヲ越ユルコトナク、從テ常ニ主我利己的觀念ニ支配セラルルヲ常トス。

觀念聯合ハ遲鈍ニシテ簡單ナル問ニ遭遇スルモ之レヲ答フルニ尠カラザル困難ヲ

呈ス。

意思界ニ於テモ異常ヲ見ルコト多ク、或者ハ怠惰ニシテ社會ト全ク沒交渉ノモノアリ、或者ハ又終止安ズル處ナク、忽ニシテ此ニ向ヒ又忽ニシテ彼ヲ捕フル等片時モ休ムコトナク、不穩ヲ呈スルモノアリ、而シテ多クハ模倣性ヲ發揮スルコト甚シク、創見ノ才ヲ有セズ。

感情界ニ於テモ意思界ノ異常ト其色彩ヲ同ウス、或者ハ遲鈍ニシテ粘液質ヲ呈シ、或者ハ甚シク刺戟性ニシテ、忿怒ノ傾向ヲ有スルモノアリ、

此他魯鈍者ニハ諸種ノ畸僻ヲ見ルコトアリ又ハ「ヒステリア」性性格ヲ見ル、又時ニハ強キ虛榮心ト自負ノ高慢トヲ有スルモノ少カラズ。

魯鈍者ハ其判斷力耗弱ノ結果種々ノ誤解ニ陷リ易ク爲メニ重篤ナル犯罪行爲ニ及ブコトアリ、甚シキハ一種ノ系統立テル妄想形成ニ達スルコトアリ。

身體的ニハ時ニ二三ノ變質徵候ヲ見ルコトアリ、例ヘバ顏面、及頭部ノ輕キ不相稱、斜視ノ如キ是ナリ、又時ニハ生殖器ノ發育不全ヲ見ルコトアリ。

魯鈍者ハ時ニ異常者ト見做サルルコトナク尋常心理的ニ解釋セラレ、或ハ高慢者、好爭者又ハ變物トシテ取扱ハルルコト尠カラズ。

二　癡愚 Imbecillitas

癡愚トハ生來的ニ若シクハ破瓜期以前ニ於テ其精神的發育ノ抑止セラレタル狀態ニシテ、多クハ就學前已ニ其發育ノ遲滯ヲ見得可ク、齒牙發生、歩行、發語等モ後ルルヲ見、手足ノ運動モ拙劣ニシテ、玩具ニ對スル趣味ノ發現亦後ルルヲ見ル、又其知識慾ノ發達ナキガ爲メ、健康兒童ニ見ルガ如キ、強キ質問癖 Grübelsucht ノ發現ヲ見ズ、濕疹ノ行爲モ長キニ亙リテ存ス。

就學スルモ衆童ト歩ヲ共ニスル能ハズ、領解惡シク、而カモ自ラ奮ハント欲セズ、只內氣ニシテ、多クハ衆童ノ玩弄スル處タリ、讀誦、書寫共ニ惡シク算數ニ至リテハ其不能殊ニ甚シ、要スルニ敎化ハ殆ンド不可能ナルヲ通常トス。

癡愚者ハ成長ノ後ハ簡易ナル職業例ヘバ手工等ニハ手出シスルヲ得ルコトアルモ、之ヲ持續スルハ不可能事ニ屬ス。

身體的ニハ而カク顯著ナル畸形ヲ呈スルコトナキモ、頭顱ノ輕キ不正ハ可ナリ屢、見ル處ニシテ、其二三ノ變質徵候モ之ヲ見ルコトアリ、言語ノ發達モ不良ニシテ、吃語、吶語及澁滯等ハ往々ニシテ見ル處ナリ。

顏貌ハ一見シテ其叡智薄弱ナルヲ知ラシメ、多クハ表情ニ乏シク、視線モ定マル處ナク漫然周圍ヲ無意味ニ見廻ハシ、傍ヨリ呼バルレバ忽ニシテ狼狽周章ニ陷ルヲ常トス、然レドモ時ニ外觀上何等異常的顏貌等ノ見ル可キナク、全ク常人ヨリ區別シ得可カラザルモノアリ。

癡愚者ハ其綜合性格殊ニ感情動搖ノ上ヨリ之ヲ二種ニ區別スルコトヲ得可シ、一ハ遲鈍性ノモノニシテ一ハ興奮性ノモノナリ。

一、遲鈍性又ハ無力性又ハ無慾性癡愚 Stupide, anergetische oder apathische Imbezillität ハ名ノ示スガ如ク、概括的觀念ヲ得ルニ難ク、自ラ物ヲ判斷スルノ能力ヲ缺キ、爲ニ傍ヨリ影響セラレ易ク、又容易ニ之ヲ欺ク可ク、爲メニ人ノ玩弄ノ目的トナルコト尠カラズ。記憶モ不確ニシテ、事實ヲ正確ニ再起スル能ハズ、蓋シ是其注意ノ疲勞シ易ク、從テ領解ニ不完アルヲ以テナリ、學習知識モ極メテ貧弱ニシテ七曜、季節ヲモ滿足ニ知ラザルモノアリ、時的指南ハ殊ニ不確ナリ、場所ニ關スル指南ハ通常大略之ヲ能クス。

二、興奮性形式 erethische Form ニアリテハ其精神生活ノ極メテ浮動的ナルモノニシテ、幼時ヨリシテ種々ノ周圍ノ事象ニ動カサレ、見聞スル處一トシテ其感興ヲ惹カザルナク、好ンデ歌謠舞踊ヲ眞似ス、然レドモ其所作皆斷裂的ニシテ終ヲ全フスルモノナシ、學習知識ハ遲鈍性形式ニ比シテ多少ノ優良ヲ見ルモ、罅隙ノ存スルハ固ヨリ之レヲ免ル可カラズ、記憶ハ不確ヲ存スルノミナラズ、附添多ク、好ンデ構譚ヲ交ユ、氣分ハ不定ニシテ一見「ヒステリア」ノ氣分易動症ヲ想ハシム、而シテ多クハ强ク自我中心的 egocentrisch ニシテ、慢心强キヲ見ル、愛他的感情ノ發現ナク、同情ノ如キハ更ニ其存在ヲ見ズ、斯ノ如ク性格ノ興奮的ナル爲メ其知能薄弱ハ茲ニ陰蔽セラレテ、往々ニシテ尋常心理的ニ解釋セラレ、性質不良ノ徒ト見ラルルモノ尠カラズ。

一般ニ遲鈍性ノモノハ無害ニシテ教化シ得可キ傾向ヲ有スルモ、興奮性形式ハ社會ニ有害ナル行爲多ク、矯正ハ望ム可カラズ。

三　白癡 Idiotismus

白癡トハ胎內的ニ又ハ最幼時代ニ於テ精神發育ノ停止ヲ來セルガ爲ニ現ハルル精神作能ノ陷缺狀態ニシテ、其原因ハ固ヨリ種々アル可ク、只其陷缺ノ一定程度ニ名ケタル總名ニ過ギズ、而シテ實用上便宜ノ爲メ其知力ノ程度略、就學年齡卽チ七八歲ノ兒童以下ニ位スルモノヲ總稱ス。

其發生ノ方面ヨリ見テ之ヲ二種ニ大別ス、其一ハ解剖學的ニ證明ス可キ原因ヲ見ザルモノニシテ之ヲ官能性白癡 funktionelle Idiotie ト云ヒ、多クハ遺傳的負因ニヨリテ來ル、例ヘバ親ノ「ヒステリア」、癲癇、酒精中毒ヲ見ル場合ノ如キ是ナリ、而シテ多クハ家系ノ最終ヲナスモノナリ、卽チ此種ノ白痴ハ變質現象ノ一ニシテ、此點ヨリ之ヲ生來的白癡 Idiotie Congénitale ト云フ。其二ハ種々ノ腦疾患(腦膜炎、腦水腫、腦出血等)又ハ外傷(鉗子分娩等)ニヨリテ來ルモノニシテ之ヲ後受的白癡 Idiotie acquise ト云フ、此兩者ヲ心理的ニ區別センコトハ殆ンド不可能ニシテ、グリージンゲル氏 Griesinger ニ從ヘバ所謂偏側的天才 einseitige Talente ナルモノハ唯生來的白癡ニ於テノミ之ヲ見ル可シト云フ。今第二ノモノニ屬セシム可キ數種ヲ擧グレバ次ノ如シ。

(一) 小顱ヲ有スル白痴 Die Idiotie bei Mikrokephali 頭顱ノ小ナルニヨリテ分類セルモノニシテ臨牀的意義ヲ有スルニアラズ若シ成年ニ達シ頭顱ノ水平圍四六糎最大横徑一二・〇糎以下ニ位スルモノハ白痴ノ頭顱ト見テ差支ナシ。

(二) 水頭ヲ有スル白痴 Idiotie mit Hydrokephalie 此形式ノモノハ多クハ癲癇發作ヲ有シ、刺戟性ニシテ時ニ暴動ニ陷ルコトアリ。

(三) 腦空洞ヲ有スル白痴 Idiotie bei Porencephalie 病理解剖上其腦廻轉ノ發育惡シク、往往ニシテ腦質囊腫又ハ單ニ空洞ヲ存ス、臨牀的ニハ其陷缺症狀ニヨリテ空洞ノ部位ヲ定ム、多クハ前頭前中心廻轉ニアルヲ通常トス、又空洞ノ存スルト同側ノ頭顱ハ發育惡シ、又多クハ癲癇性痙攣ヲ有シ、刺戟性ニシテ癲癇性性格ヲ具フ。

(四) 此他白痴ハ種々ノ畸形ヲ呈シ、一見其白痴タルヲ表明スルモノアリ。

白痴ハ又痴愚ト同樣ニ其綜合性格ニヨリテ之ヲ二種ニ大別ス一ハ浮動性又ハ興奮性白痴 versatile od. erethische Idiotie ニシテ一ハ無慾性又ハ無力性白痴 Apathische od. anergische Idiotie ナリ、興奮性ノモノハ間斷ナク不穩ニシテ、終止舞踊シ、拍手ヲ行ヒ、壁ヲ打チ哄笑喚叫暫クモ止マズ、其注意又極メテ轉向シ易ク、右眄左顧一時モ一物ニ止マラズ、而シテ其好ンデナス運動ニハ各特異ニシテ整然タル順序ヲ以テ反復セラルルヲ常トス(舞蹈病性運動 choreatische Bewegungen) 無慾的白痴ニアリテハ全ク之ニ反シ終日不動ノ姿勢ヲ保チ唯口ヲ糊シテ恰モ禽獸ト選バズ、此二ツノ區別ハ又實用上ニモ緊要ノコトニシテ、早ク此斷定ヲ下スハ白痴教化ノ上ニ甚ダ必要ノコトタラズンバアラズ。

抑〻白痴ハ此實用的方面ヨリシテ二種ニ分チ、一ヲ教化可能性白痴 Bildungsfähige Idiotie トナシ一ヲ教化不可能性白痴 Bildungsunfähige Idiotie トナス、卽教化可能的白痴ハ簡易ナル手工ヲ覺エ、下級ノ學習知識ヲ得ルノ能力ヲ有スルモノヲ謂ヒ、此種ノモノニハ一方ノ才能ニ於テ甚ダ卓越セルモノヲ見ルコトアリ、例ヘバ圖案彩色、刺繍、音樂又ハ數的記憶ノ如キ卽チ是ナリ、此等教化可能ナルモノハ一面ニ於テハ遲鈍性形式ノモノタルヲ要シ、興奮性白痴ハ其精神內容ハ一程度迄發達スルモ、注意ノ輕轉症アルガ爲メ遂ニ之ヲ教化スル能ハザルモノナリ。

白痴ハ通常生後數ケ月ニシテ已ニ之ヲ認識シ得ルモノニシテ、吸乳運動ヲ習フコト困難ニシテ、多クハ甚シク無慾ナリ、而シテ啼泣スルコト少ナク、尋常乳兒ノ如ク運動促迫ヲ呈セズ、睡眠スルコト深ク且ツ長ジ、尋常乳兒ナラバ已ニ笑ヒ、聲ヲ以テ其母ヲ認識シ、寵愛ヲ喜ビ、周圍殊ニ光輝アル物體ニ對シテ頻リニ視線ヲ向ケ、之ヲ觸レ、口ニ攝リ、握掌運動ヲナスノ日數ニ達スルモ、白痴兒ハ全ク平氣ニシテ無慾、母ヲ認識セズ泣叫スルコト少ク、手足ヲ動カサズ、觸手、握掌ヲ習ハズ、然レドモ身體的發育ノ佳良ナルコト往々ナリ、而シテ白痴ハ泣クモ其音聲調子外レニシテ、且ツ涙ヲ流サザルコト多シ、漸ク長ジテ哺乳期ノ後半ニ到レバ其顏貌ニヨリテ直ニ白痴タルヲ知ル可ク、多

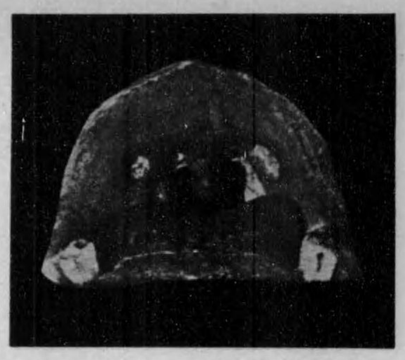
クハ醜面ニシテ滑稽ヲ帶ビ、頭部ヲ正位ニ置クコトモ時ニハ全ク不可能ナルカ少ナクトモ甚ダ困難ナリ、坐スルコト歩行スルコトモ後クルルヲ常トス。

療法　甲狀腺疾患、治癒シ得ベキ器質的腦疾患、例ヘバ先天性黴毒等ニ因スル症ニノミ原因療法ヲ施シ得ベシ。縱令此等ノ原因確實ナラズト雖、多少其疑アル場合ニハ、先ヅ原病ニ對スル療法ヲ試ミルヲ要ス。其他癡愚ノ療法ハ治療教育學ノ領域ニ屬ス。其目的ハ適當ノ指導ト練習トニ依リテ、存在スル能力ヲ發達セシムルニ在リ。之ニ從テ患兒ニ相當ノ教育ヲ施セバ、兩親ヲ滿足セシムル能ハズトスルモ、成績大ニ見ルベキ者アリ。不良ナル家庭ノ事情ノ下ニ在ル三、四歲ノ小兒ニ於テ殊ニ然リトス。近時歐洲各國ニテハ低能兒教育ノ爲メニ所謂補助學校Hilfsschuleノ設立年ヲ趁テ增加ス、我邦東京ニ於ケル瀧川學園及京都ニ於ケル白川學園此種ノ設備ニ屬スルモノナラン。斯ル學校ニ於テ教育スレバ、之ニ依リテ、低能兒ノ多數ハ自活シ得ルニ至ル可シ。

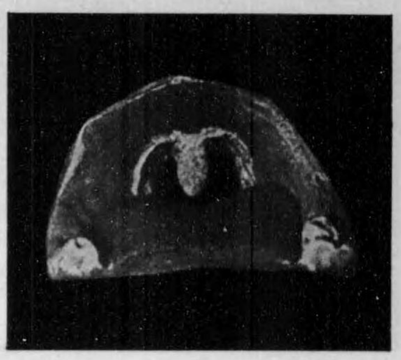
補助學校

最新兒科學　下卷　終

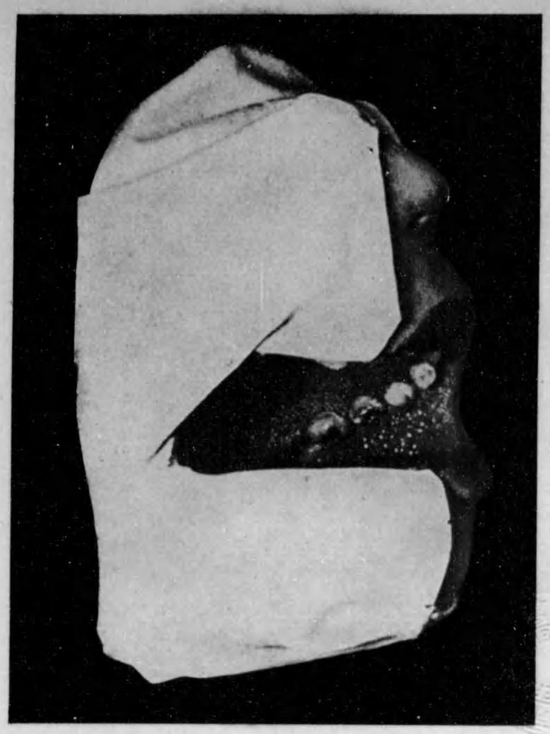
第八表



壞疽性炎症ヲ有スル猩紅熱口峡炎
（第二八頁）

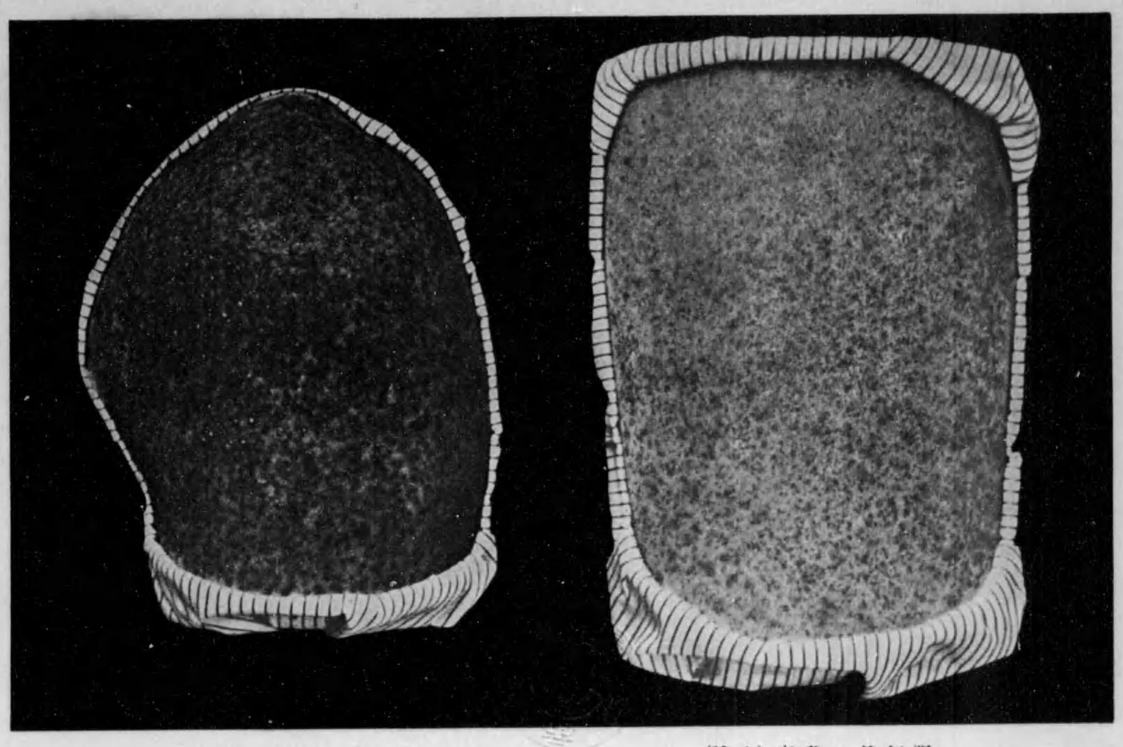


實扶的里苔被ヲ有スル猩紅熱口峡炎
（第二四頁）



「コプリック」氏斑ノ痲疹
（第四頁）

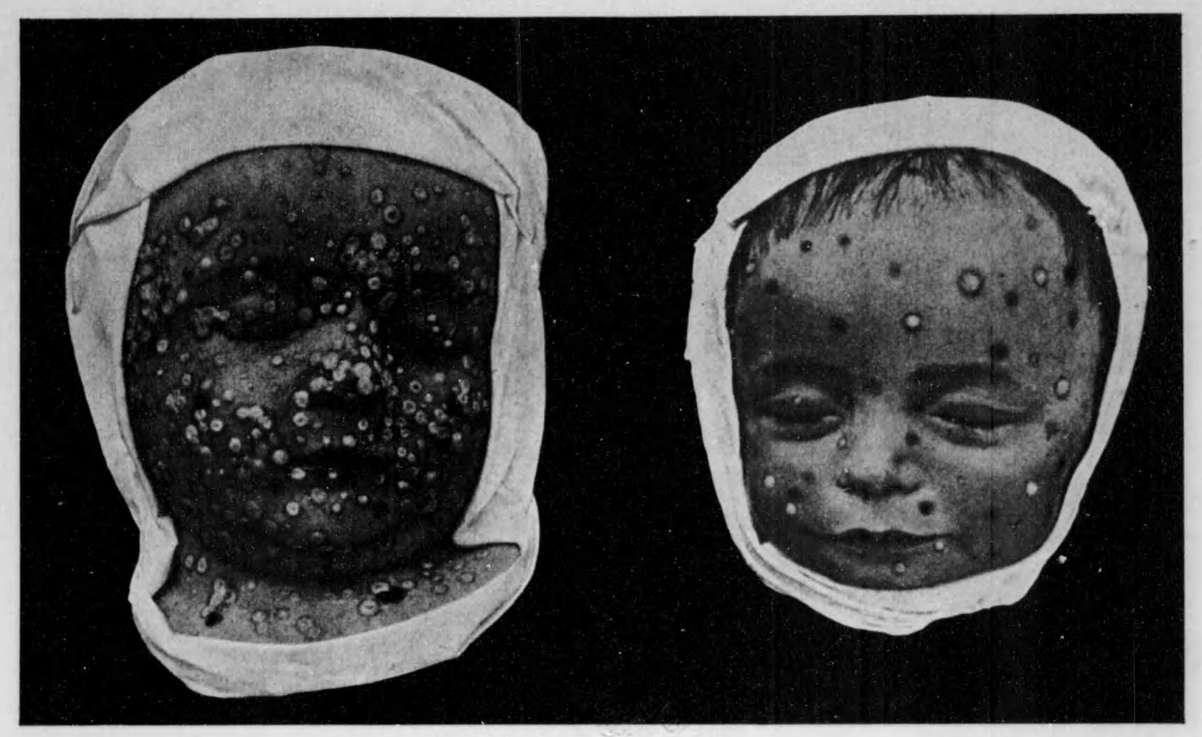
第九表



猩紅熱ノ發疹(肩部)
(百四二第)

猩紅熱ノ發疹(上膊)
(百四二第)

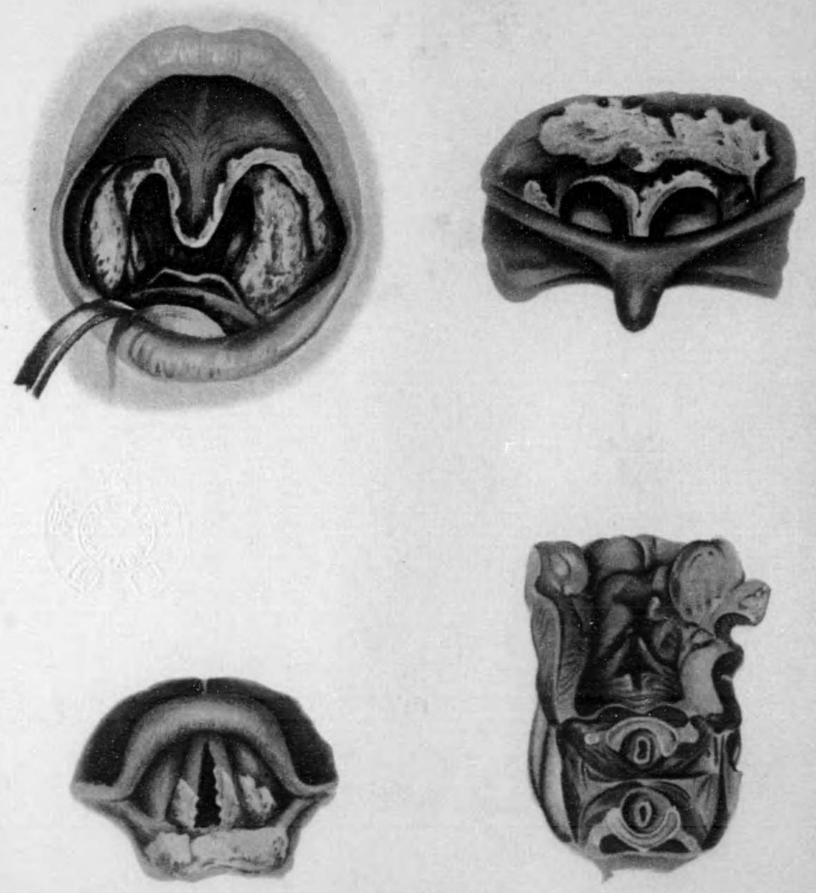
第十表



瘡痘
(頁八五第)

瘡假
(頁〇六第)

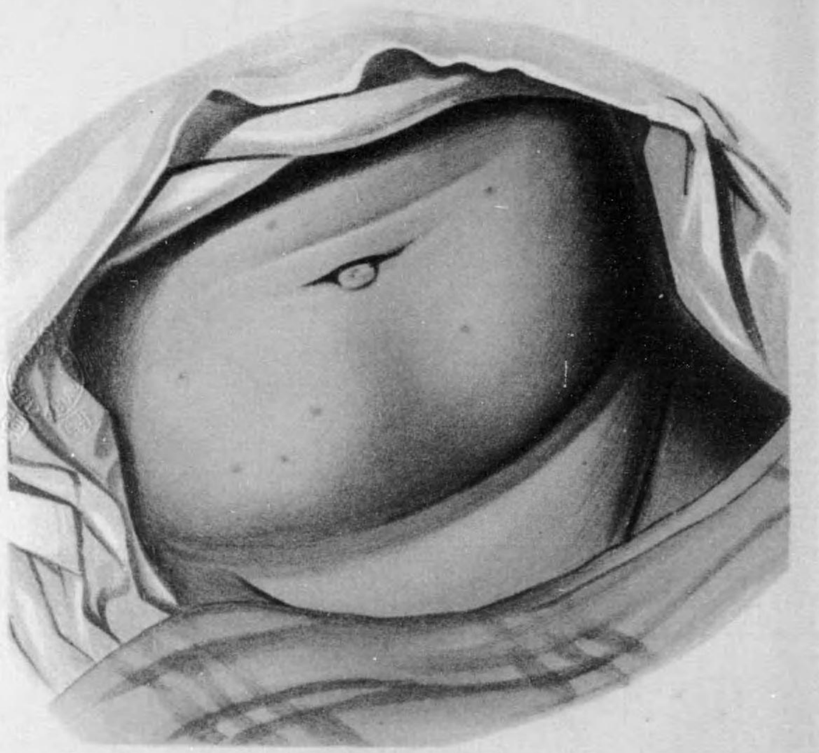
第十一表



里的扶實

(頁一七象)

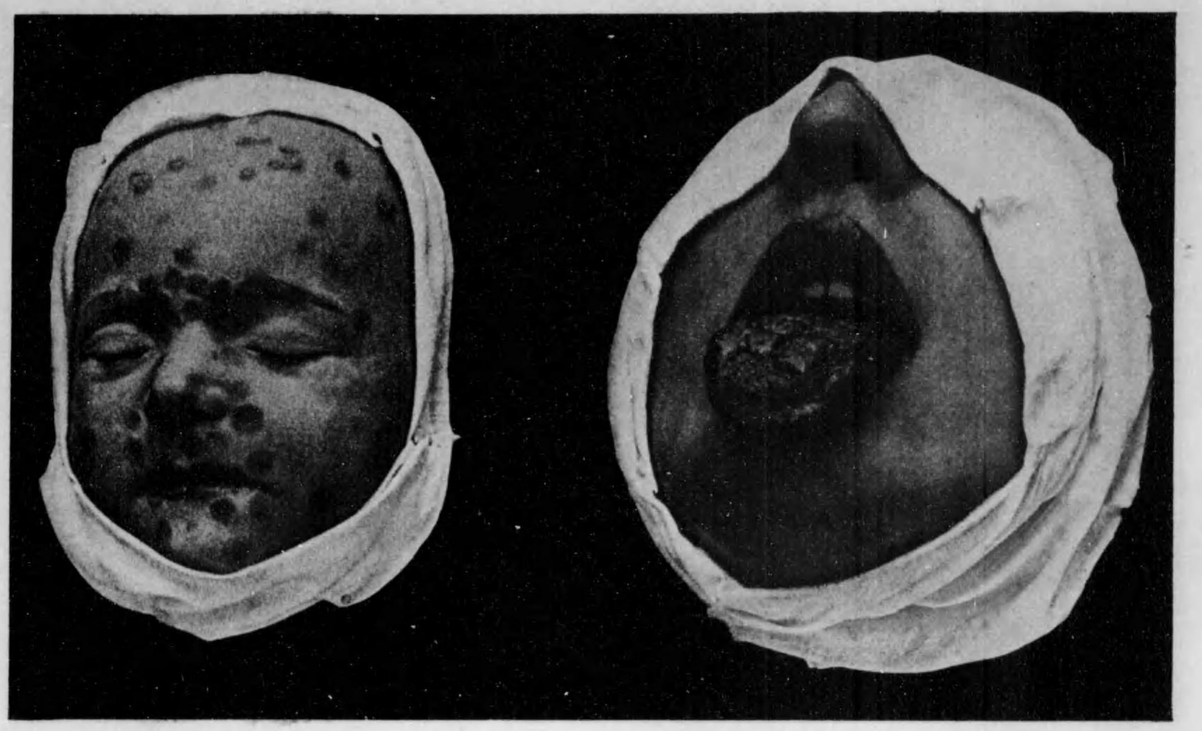
第十二表



腸實扶斯ノ薔薇疹

(第一一八頁)

第十三表



先天性黴毒ノ定型的丘疹
（頁四五二第）

八歳男兒ノ後天性黴毒ニ於ケル舌ノ丘疹
（頁六七二第）

最新兒科學下卷索引

イ

インフルエンザ　一三八、三六九、三八〇、三八三、三九三、四〇〇、四一八
インフルエンザ菌　一三八、一四二、一四三、一七二、三八四
胃腸型　一三九
胃腸障碍　二八三
單一性胃腸障碍　三七四
胃腸疾患　一七六、三三三、四一一
胃腸性毒素　三〇一
胃内過充　四六七
胃障碍　三八一、三九八
遺尿症　三六四
遺傳的素因　二〇八、二一三
遺傳的傳染　一九四
遺傳的疾患　四二一
遺傳的變質的神經疾患　四二一
遺傳的變質性神經疾患　四三四
遺傳的神經病性指定症候　三六五
遺傳的神經病質性體質　四七八
遺傳體質性疾患　四八四
疣狀狼瘡　三一三
衣服虱　三一〇
萎弱兒　三六八
意識溷濁　三八〇、三八一
萎縮腎　三二九、三三〇、三三三
咽頭炎　一五六、三七六
咽頭扁桃腺肥大　一五六
咽峽炎　四七八
陰嚢水腫　三六〇
陰門膣炎　一六七、三五四、三五七
陰性反應　二二七
隱睾　三六〇
一牛化クロール鐵　一七
硫黄華　二九〇、二九一、三〇七、三〇九、三一〇
硫黄浴　三〇二、三〇七
硫黄軟膏　三〇七
硫黄硼酸ワセリン　二九三
硫黄亞鉛華泥膏　二九三
イヒチオール　三〇七
イヒチオール軟膏　二九
イヒチオール、ワセリン　一六九、一七二

ロ

ロイマチスムス　四一八
關節ロイマチスムス　四五三
急性關節ロイマチスムス　四五二
ロイマチスムス樣關節腫脹　三七九
ロイマチスムス樣症　一六六、一六七
ロイマチスムス性疾患　四五二、四五三
ロイマチスムス性斜頸　一六六
肋膜炎　一四、三七六
癒著性肋膜炎　二〇三
漿液性肋膜炎　一六五
漿液纖維素性肋膜炎　一六五
滲出性肋膜炎　二〇四
肋膜蓄膿　三八〇
狼狽運動　四五七
狼瘡　二二五、三二一、三二三、三二八、三二九
斑紋性狼瘡　三一三
乳頭狀狼瘡　三一三
潰瘍性狼瘡　三一三
脫屑性狼瘡　三一三
蛇行性狼瘡　三一三、三一四
粟粒性狼瘡　三一三
尋常性狼瘡　三一三
狼瘡性結節　三一三
濾胞性腸炎　一二三、一三六
濾胞性結節　三一五
蠟樣着白色　一五一
魯鈍　五〇一、五〇二
聾　三六四、三八一
聾啞　三八〇
ロイマ藥　四五八
蕢着　一六〇

ハ

パラチフス　一三八
パラチフス菌　一三八、一四〇
ハイネメヂン氏病　三九四、四一一、四一七、四一八
バーベス、エルンスト氏極小體　七三
パルロー氏假性癱瘓　二四九、三五六
パルロー氏病　一六七、三四四
パルサン氏硬結性紅斑　三一五
ハッチンソン氏型　二六〇、三六四
ハッチンソン氏三徴候　三六四
バビンスキー氏趾現象　四〇三、四一四、四三三
黴毒　一七二、一六三、一六七、三八五、四二〇
遺傳黴毒　三六八、四〇四、四二〇
變形黴毒　三五九、三六〇、三六五
遲發性黴毒　二六八、三六〇、三六四、三七一、三七五
遲發先天性黴毒　三六三
大人黴毒　三七一
早期黴毒　三七五

肺炎　三六、三七、三八、三九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、百一、百二、百三、百四、百五、百六、百七、百八、百九、百十、百十一、百十二、百十三、百十四、百十五、百十六、百十七、百十八、百十九、百二十、百二十一、百二十二、百二十三、百二十四、百二十五、百二十六、百二十七、百二十八、百二十九、百三十、百三十一、百三十二、百三十三、百三十四、百三十五、百三十六、百三十七、百三十八、百三十九、百四十、百四十一、百四十二、百四十三、百四十四、百四十五、百四十六、百四十七、百四十八、百四十九、百五十、百五十一、百五十二、百五十三、百五十四、百五十五、百五十六、百五十七、百五十八、百五十九、百六十、百六十一、百六十二、百六十三、百六十四、百六十五、百六十六、百六十七、百六十八、百六十九、百七十、百七十一、百七十二、百七十三、百七十四、百七十五、百七十六、百七十七、百七十八、百七十九、百八十、百八十一、百八十二、百八十三、百八十四、百八十五、百八十六、百八十七、百八十八、百八十九、百九十、百九十一、百九十二、百九十三、百九十四、百九十五、百九十六、百九十七、百九十八、百九十九、二百、二百一、二百二、二百三、二百四、二百五、二百六、二百七、二百八、二百九、二百十、二百十一、二百十二、二百十三、二百十四、二百十五、二百十六、二百十七、二百十八、二百十九、二百二十、二百二十一、二百二十二、二百二十三、二百二十四、二百二十五、二百二十六、二百二十七、二百二十八、二百二十九、二百三十、二百三十一、二百三十二、二百三十三、二百三十四、二百三十五、二百三十六、二百三十七、二百三十八、二百三十九、二百四十、二百四十一、二百四十二、二百四十三、二百四十四、二百四十五、二百四十六、二百四十七、二百四十八、二百四十九、二百五十、二百五十一、二百五十二、二百五十三、二百五十四、二百五十五、二百五十六、二百五十七、二百五十八、二百五十九、二百六十、二百六十一、二百六十二、二百六十三、二百六十四、二百六十五、二百六十六、二百六十七、二百六十八、二百六十九、二百七十、二百七十一、二百七十二、二百七十三、二百七十四、二百七十五、二百七十六、二百七十七、二百七十八、二百七十九、二百八十、二百八十一、二百八十二、二百八十三、二百八十四、二百八十五、二百八十六、二百八十七、二百八十八、二百八十九、二百九十、二百九十一、二百九十二、二百九十三、二百九十四、二百九十五、二百九十六、二百九十七、二百九十八、二百九十九、三百、三百一、三百二、三百三、三百四、三百五、三百六、三百七、三百八、三百九、三百十、三百十一、三百十二、三百十三、三百十四、三百十五、三百十六、三百十七、三百十八、三百十九、三百二十、三百二十一、三百二十二、三百二十三、三百二十四、三百二十五、三百二十六、三百二十七、三百二十八、三百二十九、三百三十、三百三十一、三百三十二、三百三十三、三百三十四、三百三十五、三百三十六、三百三十七、三百三十八、三百三十九、三百四十、三百四十一、三百四十二、三百四十三、三百四十四、三百四十五、三百四十六、三百四十七、三百四十八、三百四十九、三百五十、三百五十一、三百五十二、三百五十三、三百五十四、三百五十五、三百五十六、三百五十七、三百五十八、三百五十九、三百六十、三百六十一、三百六十二、三百六十三、三百六十四、三百六十五、三百六十六、三百六十七、三百六十八、三百六十九、三百七十、三百七十一、三百七十二、三百七十三、三百七十四、三百七十五、三百七十六、三百七十七、三百七十八、三百七十九、三百八十、三百八十一、三百八十二、三百八十三、三百八十四、三百八十五、三百八十六、三百八十七、三百八十八、三百八十九、三百九十、三百九十一、三百九十二、三百九十三、三百九十四、三百九十五、三百九十六、三百九十七、三百九十八、三百九十九、四百、四百一、四百二、四百三、四百四、四百五、四百六、四百七、四百八、四百九、四百十、四百十一、四百十二、四百十三、四百十四、四百十五、四百十六、四百十七、四百十八、四百十九、四百二十、四百二十一、四百二十二、四百二十三、四百二十四、四百二十五、四百二十六、四百二十七、四百二十八、四百二十九、四百三十、四百三十一、四百三十二、四百三十三、四百三十四、四百三十五、四百三十六、四百三十七、四百三十八、四百三十九、四百四十、四百四十一、四百四十二、四百四十三、四百四十四、四百四十五、四百四十六、四百四十七、四百四十八、四百四十九、四百五十、四百五十一、四百五十二、四百五十三、四百五十四、四百五十五、四百五十六、四百五十七、四百五十八、四百五十九、四百六十、四百六十一、四百六十二、四百六十三、四百六十四、四百六十五、四百六十六、四百六十七、四百六十八、四百六十九、四百七十、四百七十一、四百七十二、四百七十三、四百七十四、四百七十五、四百七十六、四百七十七、四百七十八、四百七十九、四百八十、四百八十一、四百八十二、四百八十三、四百八十四、四百八十五、四百八十六、四百八十七、四百八十八、四百八十九、四百九十、四百九十一、四百九十二、四百九十三、四百九十四、四百九十五、四百九十六、四百九十七、四百九十八、四百九十九、五百、五百一、五百二、五百三、五百四、五百五、五百六、五百七、五百八、五百九、五百十、五百十一、五百十二、五百十三、五百十四、五百十五、五百十六、五百十七、五百十八、五百十九、五百二十、五百二十一、五百二十二、五百二十三、五百二十四、五百二十五、五百二十六、五百二十七、五百二十八、五百二十九、五百三十、五百三十一、五百三十二、五百三十三、五百三十四、五百三十五、五百三十六、五百三十七、五百三十八、五百三十九、五百四十、五百四十一、五百四十二、五百四十三、五百四十四、五百四十五、五百四十六、五百四十七、五百四十八、五百四十九、五百五十、五百五十一、五百五十二、五百五十三、五百五十四、五百五十五、五百五十六、五百五十七、五百五十八、五百五十九、五百六十、五百六十一、五百六十二、五百六十三、五百六十四、五百六十五、五百六十六、五百六十七、五百六十八、五百六十九、五百七十、五百七十一、五百七十二、五百七十三、五百七十四、五百七十五、五百七十六、五百七十七、五百七十八、五百七十九、五百八十、五百八十一、五百八十二、五百八十三、五百八十四、五百八十五、五百八十六、五百八十七、五百八十八、五百八十九、五百九十、五百九十一、五百九十二、五百九十三、五百九十四、五百九十五、五百九十六、五百九十七、五百九十八、五百九十九、六百、六百一、六百二、六百三、六百四、六百五、六百六、六百七、六百八、六百九、六百十、六百十一、六百十二、六百十三、六百十四、六百十五、六百十六、六百十七、六百十八、六百十九、六百二十、六百二十一、六百二十二、六百二十三、六百二十四、六百二十五、六百二十六、六百二十七、六百二十八、六百二十九、六百三十、六百三十一、六百三十二、六百三十三、六百三十四、六百三十五、六百三十六、六百三十七、六百三十八、六百三十九、六百四十、六百四十一、六百四十二、六百四十三、六百四十四、六百四十五、六百四十六、六百四十七、六百四十八、六百四十九、六百五十、六百五十一、六百五十二、六百五十三、六百五十四、六百五十五、六百五十六、六百五十七、六百五十八、六百五十九、六百六十、六百六十一、六百六十二、六百六十三、六百六十四、六百六十五、六百六十六、六百六十七、六百六十八、六百六十九、六百七十、六百七十一、六百七十二、六百七十三、六百七十四、六百七十五、六百七十六、六百七十七、六百七十八、六百七十九、六百八十、六百八十一、六百八十二、六百八十三、六百八十四、六百八十五、六百八十六、六百八十七、六百八十八、六百八十九、六百九十、六百九十一、六百九十二、六百九十三、六百九十四、六百九十五、六百九十六、六百九十七、六百九十八、六百九十九、七百、七百一、七百二、七百三、七百四、七百五、七百六、七百七、七百八、七百九、七百十、七百十一、七百十二、七百十三、七百十四、七百十五、七百十六、七百十七、七百十八、七百十九、七百二十、七百二十一、七百二十二、七百二十三、七百二十四、七百二十五、七百二十六、七百二十七、七百二十八、七百二十九、七百三十、七百三十一、七百三十二、七百三十三、七百三十四、七百三十五、七百三十六、七百三十七、七百三十八、七百三十九、七百四十、七百四十一、七百四十二、七百四十三、七百四十四、七百四十五、七百四十六、七百四十七、七百四十八、七百四十九、七百五十、七百五十一、七百五十二、七百五十三、七百五十四、七百五十五、七百五十六、七百五十七、七百五十八、七百五十九、七百六十、七百六十一、七百六十二、七百六十三、七百六十四、七百六十五、七百六十六、七百六十七、七百六十八、七百六十九、七百七十、七百七十一、七百七十二、七百七十三、七百七十四、七百七十五、七百七十六、七百七十七、七百七十八、七百七十九、七百八十、七百八十一、七百八十二、七百八十三、七百八十四、七百八十五、七百八十六、七百八十七、七百八十八、七百八十九、七百九十、七百九十一、七百九十二、七百九十三、七百九十四、七百九十五、七百九十六、七百九十七、七百九十八、七百九十九、八百、八百一、八百二、八百三、八百四、八百五、八百六、八百七、八百八、八百九、八百十、八百十一、八百十二、八百十三、八百十四、八百十五、八百十六、八百十七、八百十八、八百十九、八百二十、八百二十一、八百二十二、八百二十三、八百二十四、八百二十五、八百二十六、八百二十七、八百二十八、八百二十九、八百三十、八百三十一、八百三十二、八百三十三、八百三十四、八百三十五、八百三十六、八百三十七、八百三十八、八百三十九、八百四十、八百四十一、八百四十二、八百四十三、八百四十四、八百四十五、八百四十六、八百四十七、八百四十八、八百四十九、八百五十、八百五十一、八百五十二、八百五十三、八百五十四、八百五十五、八百五十六、八百五十七、八百五十八、八百五十九、八百六十、八百六十一、八百六十二、八百六十三、八百六十四、八百六十五、八百六十六、八百六十七、八百六十八、八百六十九、八百七十、八百七十一、八百七十二、八百七十三、八百七十四、八百七十五、八百七十六、八百七十七、八百七十八、八百七十九、八百八十、八百八十一、八百八十二、八百八十三、八百八十四、八百八十五、八百八十六、八百八十七、八百八十八、八百八十九、八百九十、八百九十一、八百九十二、八百九十三、八百九十四、八百九十五、八百九十六、八百九十七、八百九十八、八百九十九、九百、九百一、九百二、九百三、九百四、九百五、九百六、九百七、九百八、九百九、九百十、九百十一、九百十二、九百十三、九百十四、九百十五、九百十六、九百十七、九百十八、九百十九、九百二十、九百二十一、九百二十二、九百二十三、九百二十四、九百二十五、九百二十六、九百二十七、九百二十八、九百二十九、九百三十、九百三十一、九百三十二、九百三十三、九百三十四、九百三十五、九百三十六、九百三十七、九百三十八、九百三十九、九百四十、九百四十一、九百四十二、九百四十三、九百四十四、九百四十五、九百四十六、九百四十七、九百四十八、九百四十九、九百五十、九百五十一、九百五十二、九百五十三、九百五十四、九百五十五、九百五十六、九百五十七、九百五十八、九百五十九、九百六十、九百六十一、九百六十二、九百六十三、九百六十四、九百六十五、九百六十六、九百六十七、九百六十八、九百六十九、九百七十、九百七十一、九百七十二、九百七十三、九百七十四、九百七十五、九百七十六、九百七十七、九百七十八、九百七十九、九百八十、九百八十一、九百八十二、九百八十三、九百八十四、九百八十五、九百八十六、九百八十七、九百八十八、九百八十九、九百九十、九百九十一、九百九十二、九百九十三、九百九十四、九百九十五、九百九十六、九百九十七、九百九十八、九百九十九、十百、十百一、十百二、十百三、十百四、十百五、十百六、十百七、十百八、十百九、十百十、十百十一、十百十二、十百十三、十百十四、十百十五、十百十六、十百十七、十百十八、十百十九、十百二十、十百二十一、十百二十二、十百二十三、十百二十四、十百二十五、十百二十六、十百二十七、十百二十八、十百二十九、十百三十、十百三十一、十百三十二、十百三十三、十百三十四、十百三十五、十百三十六、十百三十七、十百三十八、十百三十九、十百四十、十百四十一、十百四十二、十百四十三、十百四十四、十百四十五、十百四十六、十百四十七、十百四十八、十百四十九、十百五十、十百五十一、十百五十二、十百五十三、十百五十四、十百五十五、十百五十六、十百五十七、十百五十八、十百五十九、十百六十、十百六十一、十百六十二、十百六十三、十百六十四、十百六十五、十百六十六、十百六十七、十百六十八、十百六十九、十百七十、十百七十一、十百七十二、十百七十三、十百七十四、十百七十五、十百七十六、十百七十七、十百七十八、十百七十九、十百八十、十百八十一、十百八十二、十百八十三、十百八十四、十百八十五、十百八十六、十百八十七、十百八十八、十百八十九、十百九十、十百九十一、十百九十二、十百九十三、十百九十四、十百九十五、十百九十六、十百九十七、十百九十八、十百九十九、十一百、十一百一、十一百二、十一百三、十一百四、十一百五、十一百六、十一百七、十一百八、十一百九、十一百十、十一百十一、十一百十二、十一百十三、十一百十四、十一百十五、十一百十六、十一百十七、十一百十八、十一百十九、十一百二十、十一百二十一、十一百二十二、十一百二十三、十一百二十四、十一百二十五、十一百二十六、十一百二十七、十一百二十八、十一百二十九、十一百三十、十一百三十一、十一百三十二、十一百三十三、十一百三十四、十一百三十五、十一百三十六、十一百三十七、十一百三十八、十一百三十九、十一百四十、十一百四十一、十一百四十二、十一百四十三、十一百四十四、十一百四十五、十一百四十六、十一百四十七、十一百四十八、十一百四十九、十一百五十、十一百五十一、十一百五十二、十一百五十三、十一百五十四、十一百五十五、十一百五十六、十一百五十七、十一百五十八、十一百五十九、十一百六十、十一百六十一、十一百六十二、十一百六十三、十一百六十四、十一百六十五、十一百六十六、十一百六十七、十一百六十八、十一百六十九、十一百七十、十一百七十一、十一百七十二、十一百七十三、十一百七十四、十一百七十五、十一百七十六、十一百七十七、十一百七十八、十一百七十九、十一百八十、十一百八十一、十一百八十二、十一百八十三、十一百八十四、十一百八十五、十一百八十六、十一百八十七、十一百八十八、十一百八十九、十一百九十、十一百九十一、十一百九十二、十一百九十三、十一百九十四、十一百九十五、十一百九十六、十一百九十七、十一百九十八、十一百九十九、十二百、十二百一、十二百二、十二百三、十二百四、十二百五、十二百六、十二百七、十二百八、十二百九、十二百十、十二百十一、十二百十二、十二百十三、十二百十四、十二百十五、十二百十六、十二百十七、十二百十八、十二百十九、十二百二十、十二百二十一、十二百二十二、十二百二十三、十二百二十四、十二百二十五、十二百二十六、十二百二十七、十二百二十八、十二百二十九、十二百三十、十二百三十一、十二百三十二、十二百三十三、十二百三十四、十二百三十五、十二百三十六、十二百三十七、十二百三十八、十二百三十九、十二百四十、十二百四十一、十二百四十二、十二百四十三、十二百四十四、十二百四十五、十二百四十六、十二百四十七、十二百四十八、十二百四十九、十二百五十、十二百五十一、十二百五十二、十二百五十三、十二百五十四、十二百五十五、十二百五十六、十二百五十七、十二百五十八、十二百五十九、十二百六十、十二百六十一、十二百六十二、十二百六十三、十二百六十四、十二百六十五、十二百六十六、十二百六十七、十二百六十八、十二百六十九、十二百七十、十二百七十一、十二百七十二、十二百七十三、十二百七十四、十二百七十五、十二百七十六、十二百七十七、十二百七十八、十二百七十九、十二百八十、十二百八十一、十二百八十二、十二百八十三、十二百八十四、十二百八十五、十二百八十六、十二百八十七、十二百八十八、十二百八十九、十二百九十、十二百九十一、十二百九十二、十二百九十三、十二百九十四、十二百九十五、十二百九十六、十二百九十七、十二百九十八、十二百九十九、十三百、十三百一、十三百二、十三百三、十三百四、十三百五、十三百六、十三百七、十三百八、十三百九、十三百十、十三百十一、十三百十二、十三百十三、十三百十四、十三百十五、十三百十六、十三百十七、十三百十八、十三百十九、十三百二十、十三百二十一、十三百二十二、十三百二十三、十三百二十四、十三百二十五、十三百二十六、十三百二十七、十三百二十八、十三百二十九、十三百三十、十三百三十一、十三百三十二、十三百三十三、十三百三十四、十三百三十五、十三百三十六、十三百三十七、十三百三十八、十三百三十九、十三百四十、十三百四十一、十三百四十二、十三百四十三、十三百四十四、十三百四十五、十三百四十六、十三百四十七、十三百四十八、十三百四十九、十三百五十、十三百五十一、十三百五十二、十三百五十三、十三百五十四、十三百五十五、十三百五十六、十三百五十七、十三百五十八、十三百五十九、十三百六十、十三百六十一、十三百六十二、十三百六十三、十三百六十四、十三百六十五、十三百六十六、十三百六十七、十三百六十八、十三百六十九、十三百七十、十三百七十一、十三百七十二、十三百七十三、十三百七十四、十三百七十五、十三百七十六、十三百七十七、十三百七十八、十三百七十九、十三百八十、十三百八十一、十三百八十二、十三百八十三、十三百八十四、十三百八十五、十三百八十六、十三百八十七、十三百八十八、十三百八十九、十三百九十、十三百九十一、十三百九十二、十三百九十三、十三百九十四、十三百九十五、十三百九十六、十三百九十七、十三百九十八、十三百九十九、十四百、十四百一、十四百二、十四百三、十四百四、十四百五、十四百六、十四百七、十四百八、十四百九、十四百十、十四百十一、十四百十二、十四百十三、十四百十四、十四百十五、十四百十六、十四百十七、十四百十八、十四百十九、十四百二十、十四百二十一、十四百二十二、十四百二十三、十四百二十四、十四百二十五、十四百二十六、十四百二十七、十四百二十八、十四百二十九、十四百三十、十四百三十一、十四百三十二、十四百三十三、十四百三十四、十四百三十五、十四百三十六、十四百三十七、十四百三十八、十四百三十九、十四百四十、十四百四十一、十四百四十二、十四百四十三、十四百四十四、十四百四十五、十四百四十六、十四百四十七、十四百四十八、十四百四十九、十四百五十、十四百五十一、十四百五十二、十四百五十三、十四百五十四、十四百五十五、十四百五十六、十四百五十七、十四百五十八、十四百五十九、十四百六十、十四百六十一、十四百六十二、十四百六十三、十四百六十四、十四百六十五、十四百六十六、十四百六十七、十四百六十八、十四百六十九、十四百七十、十四百七十一、十四百七十二、十四百七十三、十四百七十四、十四百七十五、十四百七十六、十四百七十七、十四百七十八、十四百七十九、十四百八十、十四百八十一、十四百八十二、十四百八十三、十四百八十四、十四百八十五、十四百八十六、十四百八十七、十四百八十八、十四百八十九、十四百九十、十四百九十一、十四百九十二、十四百九十三、十四百九十四、十四百九十五、十四百九十六、十四百九十七、十四百九十八、十四百九十九、十五百、十五百一、十五百二、十五百三、十五百四、十五百五、十五百六、十五百七、十五百八、十五百九、十五百十、十五百十一、十五百十二、十五百十三、十五百十四、十五百十五、十五百十六、十五百十七、十五百十八、十五百十九、十五百二十、十五百二十一、十五百二十二、十五百二十三、十五百二十四、十五百二十五、十五百二十六、十五百二十七、十五百二十八、十五百二十九、十五百三十、十五百三十一、十五百三十二、十五百三十三、十五百三十四、十五百三十五、十五百三十六、十五百三十七、十五百三十八、十五百三十九、十五百四十、十五百四十一、十五百四十二、十五百四十三、十五百四十四、十五百四十五、十五百四十六、十五百四十七、十五百四十八、十五百四十九、十五百五十、十五百五十一、十五百五十二、十五百五十三、十五百五十四、十五百五十五、十五百五十六、十五百五十七、十五百五十八、十五百五十九、十五百六十、十五百六十一、十五百六十二、十五百六十三、十五百六十四、十五百六十五、十五百六十六、十五百六十七、十五百六十八、十五百六十九、十五百七十、十五百七十一、十五百七十二、十五百七十三、十五百七十四、十五百七十五、十五百七十六、十五百七十七、十五百七十八、十五百七十九、十五百八十、十五百八十一、十五百八十二、十五百八十三、十五百八十四、十五百八十五、十五百八十六、十五百八十七、十五百八十八、十五百八十九、十五百九十、十五百九十一、十五百九十二、十五百九十三、十五百九十四、十五百九十五、十五百九十六、十五百九十七、十五百九十八、十五百九十九、十六百、十六百一、十六百二、十六百三、十六百四、十六百五、十六百六、十六百七、十六百八、十六百九、十六百十、十六百十一、十六百十二、十六百十三、十六百十四、十六百十五、十六百十六、十六百十七、十六百十八、十六百十九、十六百二十、十六百二十一、十六百二十二、十六百二十三、十六百二十四、十六百二十五、十六百二十六、十六百二十七、十六百二十八、十六百二十九、十六百三十、十六百三十一、十六百三十二、十六百三十三、十六百三十四、十六百三十五、十六百三十六、十六百三十七、十六百三十八、十六百三十九、十六百四十、十六百四十一、十六百四十二、十六百四十三、十六百四十四、十六百四十五、十六百四十六、十六百四十七、十六百四十八、十六百四十九、十六百五十、十六百五十一、十六百五十二、十六百五十三、十六百五十四、十六百五十五、十六百五十六、十六百五十七、十六百五十八、十六百五十九、十六百六十、十六百六十一、十六百六十二、十六百六十三、十六百六十四、十六百六十五、十六百六十六、十六百六十七、十六百六十八、十六百六十九、十六百七十、十六百七十一、十六百七十二、十六百七十三、十六百七十四、十六百七十五、十六百七十六、十六百七十七、十六百七十八、十六百七十九、十六百八十、十六百八十一、十六百八十二、十六百八十三、十六百八十四、十六百八十五、十六百八十六、十六百八十七、十六百八十八、十六百八十九、十六百九十、十六百九十一、十六百九十二、十六百九十三、十六百九十四、十六百九十五、十六百九十六、十六百九十七、十六百九十八、十六百九十九、十七百、十七百一、十七百二、十七百三、十七百四、十七百五、十七百六、十七百七、十七百八、十七百九、十七百十、十七百十一、十七百十二、十七百十三、十七百十四、十七百十五、十七百十六、十七百十七、十七百十八、十七百十九、十七百二十、十七百二十一、十七百二十二、十七百二十三、十七百二十四、十七百二十五、十七百二十六、十七百二十七、十七百二十八、十七百二十九、十七百三十、十七百三十一、十七百三十二、十七百三十三、十七百三十四、十七百三十五、十七百三十六、十七百三十七、十七百三十八、十七百三十九、十七百四十、十七百四十一、十七百四十二、十七百四十三、十七百四十四、十七百四十五、十七百四十六、十七百四十七、十七百四十八、十七百四十九、十七百五十、十七百五十一、十七百五十二、十七百五十三、十七百五十四、十七百五十五、十七百五十六、十七百五十七、十七百五十八、十七百五十九、十七百六十、十七百六十一、十七百六十二、十七百六十三、十七百六十四、十七百六十五、十七百六十六、十七百六十七、十七百六十八、十七百六十九、十七百七十、十七百七十一、十七百七十二、十七百七十三、十七百七十四、十七百七十五、十七百七十六、十七百七十七、十七百七十八、十七百七十九、十七百八十、十七百八十一、十七百八十二、十七百八十三、十七百八十四、十七百八十五、十七百八十六、十七百八十七、十七百八十八、十七百八十九、十七百九十、十七百九十一、十七百九十二、十七百九十三、十七百九十四、十七百九十五、十七百九十六、十七百九十七、十七百九十八、十七百九十九、十八百、十八百一、十八百二、十八百三、十八百四、十八百五、十八百六、十八百七、十八百八、十八百九、十八百十、十八百十一、十八百十二、十八百十三、十八百十四、十八百十五、十八百十六、十八百十七、十八百十八、十八百十九、十八百二十、十八百二十一、十八百二十二、十八百二十三、十八百二十四、十八百二十五、十八百二十六、十八百二十七、十八百二十八、十八百二十九、十八百三十、十八百三十一、十八百三十二、十八百三十三、十八百三十四、十八百三十五、十八百三十六、十八百三十七、十八百三十八、十八百三十九、十八百四十、十八百四十一、十八百四十二、十八百四十三、十八百四十四、十八百四十五、十八百四十六、十八百四十七、十八百四十八、十八百四十九、十八百五十、十八百五十一、十八百五十二、十八百五十三、十八百五十四、十八百五十五、十八百五十六、十八百五十七、十八百五十八、十八百五十九、十八百六十、十八百六十一、十八百六十二、十八百六十三、十八百六十四、十八百六十五、十八百六十六、十八百六十七、十八百六十八、十八百六十九、十八百七十、十八百七十一、十八百七十二、十八百七十三、十八百七十四、十八百七十五、十八百七十六、十八百七十七、十八百七十八、十八百七十九、十八百八十、十八百八十一、十八百八十二、十八百八十三、十八百八十四、十八百八十五、十八百八十六、十八百八十七、十八百八十八、十八百八十九、十八百九十、十八百九十一、十八百九十二、十八百九十三、十八百九十四、十八百九十五、十八百九十六、十八百九十七、十八百九十八、十八百九十九、十九百、十九百一、十九百二、十九百三、十九百四、十九百五、十九百六、十九百七、十九百八、十九百九、十九百十、十九百十一、十九百十二、十九百十三、十九百十四、十九百十五、十九百十六、十九百十七、十九百十八、十九百十九、十九百二十、十九百二十一、十九百二十二、十九百二十三、十九百二十四、十九百二十五、十九百二十六、十九百二十七、十九百二十八、十九百二十九、十九百三十、十九百三十一、十九百三十二、十九百三十三、十九百三十四、十九百三十五、十九百三十六、十九百三十七、十九百三十八、十九百三十九、十九百四十、十九百四十一、十九百四十二、十九百四十三、十九百四十四、十九百四十五、十九百四十六、十九百四十七、十九百四十八、十九百四十九、十九百五十、十九百五十一、十九百五十二、十九百五十三、十九百五十四、十九百五十五、十九百五十六、十九百五十七、十九百五十八、十九百五十九、十九百六十、十九百六十一、十九百六十二、十九百六十三、十九百六十四、十九百六十五、十九百六十六、十九百六十七、十九百六十八、十九百六十九、十九百七十、十九百七十一、十九百七十二、十九百七十三、十九百七十四、十九百七十五、十九百七十六、十九百七十七、十九百七十八、十九百七十九、十九百八十、十九百八十一、十九百八十二、十九百八十三、十九百八十四、十九百八十五、十九百八十六、十九百八十七、十九百八十八、十九百八十九、十九百九十、十九百九十一、十九百九十二、十九百九十三、十九百九十四、十九百九十五、十九百九十六、十九百九十七、十九百九十八、十九百九十九、二十百、二十百一、二十百二、二十百三、二十百四、二十百五、二十百六、二十百七、二十百八、二十百九、二十百十、二十百十一、二十百十二、二十百十三、二十百十四、二十百十五、二十百十六、二十百十七、二十百十八、二十百十九、二十百二十、二十百二十一、二十百二十二、二十百二十三、二十百二十四、二十百二十五、二十百二十六、二十百二十七、二十百二十八、二十百二十九、二十百三十、二十百三十一、二十百三十二、二十百三十三、二十百三十四、二十百三十五、二十百三十六、二十百三十七、二十百三十八、二十百三十九、二十百四十、二十百四十一、二十百四十二、二十百四十三、二十百四十四、二十百四十五、二十百四十六、二十百四十七、二十百四十八、二十百四十九、二十百五十、二十百五十一、二十百五十二、二十百五十三、二十百五十四、二十百五十五、二十百五十六、二十百五十七、二十百五十八、二十百五十九、二十百六十、二十百六十一、二十百六十二、二十百六十三、二十百六十四、二十百六十五、二十百六十六、二十百六十七、二十百六十八、二十百六十九、二十百七十、二十百七十一、二十百七十二、二十百七十三、二十百七十四、二十百七十五、二十百七十六、二十百七十七、二十百七十八、二十百七十九、二十百八十、二十百八十一、二十百八十二、二十百八十三、二十百八十四、二十百八十五、二十百八十六、二十百八十七、二十百八十八、二十百八十九、二十百九十、二十百九十一、二十百九十二、二十百九十三、二十百九十四、二十百九十五、二十百九十六、二十百九十七、二十百九十八、二十百九十九、二十一百、二十一百一、二十一百二、二十一百三、二十一百四、二十一百五、二十一百六、二十一百七、二十一百八、二十一百九、二十一百十、二十一百十一、二十一百十二、二十一百十三、二十一百十四、二十一百十五、二十一百十六、二十一百十七、二十一百十八、二十一百十九、二十一百二十、二十一百二十一、二十一百二十二、二十一百二十三、二十一百二十四、二十一百二十五、二十一百二十六、二十一百二十七、二十一百二十八、二十一百二十九、二十一百三十、二十一百三十一、二十一百三十二、二十一百三十三、二十一百三十四、二十一百三十五、二十一百三十六、二十一百三十七、二十一百三十八、二十一百三十九、二十一百四十、二十一百四十一、二十一百四十二、二十一百四十三、二十一百四十四、二十一百四十五、二十一百四十六、二十一百四十七、二十一百四十八、二十一百四十九、二十一百五十、二十一百五十一、二十一百五十二、二十一百五十三、二十一百五十四、二十一百五十五、二十一百五十六、二十一百五十七、二十一百五十八、二十一百五十九、二十一百六十、二十一百六十一、二十一百六十二、二十一百六十三、二十一百六十四、二十一百六十五、二十一百六十六、二十一百六十七、二十一百六十八、二十一百六十九、二十一百七十、二十一百七十一、二十一百七十二、二十一百七十三、二十一百七十四、二十一百七十五、二十一百七十六、二十一百七十七、二十一百七十八、二十一百七十九、二十一百八十、二十一百八十一、二十一百八十二、二十一百八十三、二十一百八十四、二十一百八十五、二十一百八十六、二十一百八十七、二十一百八十八、二十一百八十九、二十一百九十、二十一百九十一、二十一百九十二、二十一百九十三、二十一百九十四、二十一百九十五、二十一百九十六、二十一百九十七、二十一百九十八、二十一百九十九、二十二百、二十二百一、二十二百二、二十二百三、二十二百四、二十二百五、二十二百六、二十二百七、二十二百八、二十二百九、二十二百十、二十二百十一、二十二百十二、二十二百十三、二十二百十四、二十二百十五、二十二百十六、二十二百十七、二十二百十八、二十二百十九、二十二百二十、二十二百二十一、二十二百二十二、二十二百二十三、二十二百二十四、二十二百二十五、二十二百二十六、二十二百二十七、二十二百二十八、二十二百二十九、二十二百三十、二十二百三十一、二十二百三十二、二十二百三十三、二十二百三十四、二十二百三十五、二十二百三十六、二十二百三十七、二十二百三十八、二十二百三十九、二十二百四十、二十二百四十一、二十二百四十二、二十二百四十三、二十二百四十四、二十二百四十五、二十二百四十六、二十二百四十七、二十二百四十八、二十二百四十九、二十二百五十、二十二百五十一、二十二百五十二、二十二百五十三、二十二百五十四、二十二百五十五、二十二百五十六、二十二百五十七、二十二百五十八、二十二百五十九、二十二百六十、二十二百六十一、二十二百六十二、二十二百六十三、二十二百六十四、二十二百六十五、二十二百六十六、二十二百六十七、二十二百六十八、二十二百六十九、二十二百七十、二十二百七十一、二十二百七十二、二十二百七十三、二十二百七十四、二十二百七十五、二十二百七十六、二十二百七十七、二十二百七十八、二十二百七十九、二十二百八十、二十二百八十一、二十二百八十二、二十二百八十三、二十二百八十四、二十二百八十五、二十二百八十六、二十二百八十七、二十二百八十八、二十二百八十九、二十二百九十、二十二百九十一、二十二百九十二、二十二百九十三、二十二百九十四、二十二百九十五、二十二百九十六、二十二百九十七、二十二百九十八、二十二百九十九、二十三百、二十三百一、二十三百二、二十三百三、二十三百四、二十三百五、二十三百六、二十三百七、二十三百八、二十三百九、二十三百十、二十三百十一、二十三百十二、二十三百十三、二十三百十四、二十三百十五、二十三百十六、二十三百十七、二十三百十八、二十三百十九、二十三百二十、二十三百二十一、二十三百二十二、二十三百二十三、二十三百二十四、二十三百二十五、二十三百二十六、二十三百二十七、二十三百二十八、二十三百二十九、二十三百三十、二十三百三十一、二十三百三十二、二十三百三十三、二十三百三十四、二十三百三十五、二十三百三十六、二十三百三十七、二十三百三十八、二十三百三十九、二十三百四十、二十三百四十一、二十三百四十二、二十三百四十三、二十三百四十四、二十三百四十五、二十三百四十六、二十三百四十七、二十三百四十八、二十三百四十九、二十三百五十、二十三百五十一、二十三百五十二、二十三百五十三、二十三百五十四、二十三百五十五、二十三百五十六、二十三百五十七、二十三百五十八、二十三百五十九、二十三百六十、二十三百六十一、二十三百六十二、二十三百六十三、二十三百六十四、二十三百六十五、二十三百六十六、二十三百六十七、二十三百六十八、二十三百六十九、二十三百七十、二十三百七十一、二十三百七十二、二十三百七十三、二十三百七十四、二十三百七十五、二十三百七十六、二十三百七十七、二十三百七十八、二十三百七十九、二十三百八十、二十三百八十一、二十三百八十二、二十三百八十三、二十三百八十四、二十三百八十五、二十三百八十六、二十三百八十七、二十三百八十八、二十三百八十九、二十三百九十、二十三百九十一、二十三百九十二、二十三百九十三、二十三百九十四、二十三百九十五、二十三百九十六、二十三百九十七、二十三百九十八、二十三百九十九、二十四百、二十四百一、二十四百二、二十四百三、二十四百四、二十四百五、二十四百六、二十四百七、二十四百八、二十四百九、二十四百十、二十四百十一、二十四百十二、二十四百十三、二十四百十四、二十四百十五、二十四百十六、二十四百十七、二十四百十八、二十四百十九、二十四百二十、二十四百二十一、二十四百二十二、二十四百二十三、二十四百二十四、二十四百二十五、二十四百二十六、二十四百二十七、二十四百二十八、二十四百二十九、二十四百三十、二十四百三十一、二十四百三十二、二十四百三十三、二十四百三十四、二十四百三十五、二十四百三十六、二十四百三十七、二十四百三十八、二十四百三十九、二十四百四十、二十四百四十一、二十四百四十二、二十四百四十三、二十四百四十四、二十四百四十五、二十四百四十六、二十四百四十七、二十四百四十八、二十四百四十九、二十四百五十、二十四百五十一、二十四百五十二、二十四百五十三、二十四百五十四、二十四百五十五、二十四百五十六、二十四百五十七、二十四百五十八、二十四百五十九、二十四百六十、二十四百六十一、二十四百六十二、二十四百六十三、二十四百六十四、二十四百六十五、二十四百六十六、二十四百六十七、二十四百六十八、二十四百六十九、二十四百七十、二十四百七十一、二十四百七十二、二十四百七十三、二十四百七十四、二十四百七十五、二十四百七十六、二十四百七十七、二十四百七十八、二十四百七十九、二十四百八十、二十四百八十一、二十四百八十二、二十四百八十三、二十四百八十四、二十四百八十五、二十四百八十六、二十四百八十七、二十四百八十八、二十四百八十九、二十四百九十、二十四百九十一、二十四百九十二、二十四百九十三、二十四百九十四、二十四百九十五、二十四百九十六、二十四百九十七、二十四百九十八、二十四百九十九、二十五百、二十五百一、二十五百二、二十五百三、二十五百四、二十五百五、二十五百六、二十五百七、二十五百八、二十五百九、二十五百十、二十五百十一、二十五百十二、二十五百十三、二十五百十四、二十五百十五、二十五百十六、二十五百十七、二十五百十八、二十五百十九、二十五百二十、二十五百二十一、二十五百二十二、二十五百二十三、二十五百二十四、二十五百二十五、二十五百二十六、二十五百二十七、二十五百二十八、二十五百二十九、二十五百三十、二十五百三十一、二十五百三十二、二十五百三十三、二十五百三十四、二十五百三十五、二十五百三十六、二十五百三十七、二十五百三十八、二十五百三十九、二十五百四十、二十五百四十一、二十五百四十二、二十五百四十三、二十五百四十四、二十五百四十五、二十五百四十六、二十五百四十七、二十五百四十八、二十五百四十九、二十五百五十、二十五百五十一、二十五百五十二、二十五百五十三、二十五百五十四、二十五百五十五、二十五百五十六、二十五百五十七、二十五百五十八、二十五百五十九、二十五百六十、二十五百六十一、二十五百六十二、二十五百六十三、二十五百六十四、二十五百六十五、二十五百六十六、二十五百六十七、二十五百六十八、二十五百六十九、二十五百

チ

チアノーゼ 四四六
チアノージス 四六八
チユークス、フィラトフ氏病 四四
チアッオ反應 八、三六、三五、四四、九〇、一一八、一三一、一三三、一三四、一三九、一四三、一四五、二〇六、三七四
遲鈍性反應 二三三、三三三
瀦溜部反應 二一九、三三〇
腸窒扶斯 一一四、一三〇、一三三、一四三、一八九、一九三、三七四
腸連鎖球菌 一七三
腸內醱酵 三〇三
腸內寄生蟲 四六七
腸結核 二一四、三三九
腸炎 二九七
腸障碍 三〇五
直腸膀胱障碍 四一七、四二八
地圖樣舌 二六八
中毒症 二七、三三四
中耳炎 一一、三〇、一一三、三八〇
化膿性中耳炎 一三〇、一四〇、一五三
中樞神經系統ノ硬化 四一〇
中樞性萎弱 三三五
中性好愛性 三七七
蟲樣突起炎 一三四
蟲壁道 三〇八
書痙症 三六四
聽官障碍 四二四
恥垢桿菌 二三八
知覺過敏 三六九、三七八、三八〇、四一七
知覺異常 四二八、四三〇、四三三
知覺障碍 四一七、四二〇
知覺性刺戟 四〇九
智能陷缺 四一一
智能障碍 四〇四
癡愚 五〇四、五〇一
窒扶斯 三五、三〇六、三三一、三三七、三五一、三七四、三八一、三九三
輕症窒扶斯 一三九
窒扶斯菌 一一四、一三三、一三八、一三〇、一八四
窒扶斯性三角形 一一七
窒扶斯型 一三八
陳舊性膿瘍 二九七
陳舊性進行性結核 三三六
チオサルヴァルサン 二七三
チール液 二四〇
チトロフェン 一五九
チアスターゼ 三四三
チヤヤタリス 三〇、一七七、三三九
チユウレチン 三三九
チモール精 三〇三

リ

リツトル氏病 四〇四、四〇九、四二九
リツトル氏病典型的病像 三九〇
絲膿菌 三八四
兩癱 三九九
外因性兩癱 四三九
小兒腦性兩癱 四〇四
小兒性攣性兩癱 四〇四
兩癱性腦麻痺 四〇〇
兩側性攣性偏癱 四〇七
兩側麻痺 四〇〇
兩側性アテトーシス 四〇七
流行性感冒 一三四、一三八、一八九、三三七、三三一
遷延性流行性感冒 一四三
流行性腦脊髓炎 三五一
流行性筋萎縮 四一八
裏急後重 一三一、一三四、一三五、一三七
淋巴管炎 一七九
淋巴腺護謨腫 二六四
淋巴腺腫 一一三
多發性淋巴腺腫 一七一
淋巴性體質 三〇八、三八五
淋菌 一七三、二四七、三五四、三五六、三五七
淋菌性陰門腟炎 三五四
淋菌染色法 三五五
淋疾 三五七
鱗屑性濕疹 二八三
臨時種痘 一八三、一八六
臨牀的症候 三〇〇
臨牀的病像 三九八
リヨフレル液 二四〇
リンゲル氏液 一三三、一三七、一七七、三五三
リゾール浴 三〇四、三〇三、三〇六、三〇七
燐肝油 一六一、三〇四、四四三
燐酸コデイン 三〇、一六一
林檎酸鐵丁幾 二三三

ル

類骨組織 二五六

ヲ、オ

オドワイヤー氏插管法 一六三
阿多福風 一一一
橫斷脊髓炎 四三〇
黃疸 一七五、一七六、二四九、二六三
黃癬 二八四
汚穢病 七五
オイグロブリン 三四一
オイラチン 一五九
オイヒニン 一五八
オレーフ油 三〇、二八九、三三一
オレキシン 三四三
黃降汞軟膏 二七四
黃色沃度汞 二七三、二七六

ワ

ワイキセルバウム氏球菌 三七九
ワイキセルバウム氏內細胞性腦膜球菌 三七六
ワゾケン 一一三
ワッセルマン氏反應 二四三、二六五、二六六、二六八、二七六、三二四、三九五、四〇八
ワセリン 三八
ワセリン軟膏 二九〇

カ

ガベツト氏法 二一七
カテラン氏硬腦外注射 三六六
ガンセル氏症候統群 四八一
開放性結核 一九九、二三一
開斷攣縮 四三二
潰瘍性心內膜炎 一七四
階段狀昇騰期 一一六
塊足 四三三
芥子泥罨法 一〇五
廻首痙攣 四四四
疥癬 二九三、三〇六、三〇七、三〇八
疥癬米糊 三一〇
疥癬蟲 三〇七、三〇八、三〇九
外因的傳染 三一一
外傳染 一七三
外腦水腫 三八七
外傷性テタヌス 四四五
假痘 三五、六〇
假癆 一八九
假性筋肉肥大 四三六
假性石灰變性 二五六
牙關緊急 三六九、三八一、四四五
加答兒性氣管枝炎 二〇五
括約筋障碍 四三九
家族的腦性兩癱 四三九
家族疾患 四三一
家族性黑內障眼性白癡 四三三
過熱性型 一六六
化膿熱 二九
化膿性軟化 三一四
喀血 二一三
角膜炎 三八〇
囑鳴的吸息 四四三
鵞口瘡 九五、九七
觀念奔逸性鬱狂 四八九
官能性神經症 四一一
官能的神經病 一四七、四三一
陷缺症候 三九八
眼瞼搐搦 四七八
眼瞼下垂 三七二、四二四
眼底檢查 三七二、三七三、三八五
間代性癲癇形痙攣 三七二
間代性痙攣 三七八、四三二、四四七
間擦疹 二八三、二八五
瘙痒性間擦疹 二八三
間擦疹ニ因スル廣汎性皮膚炎 二八三
眼球震盪 三七三、四二五、四二四、四二九、四四四
眼球震盪症 四〇六、四〇八、四三三
顏面神經現象 三八一、四三三、四六五
環狀紅斑 二九九
癌腫 三六一
汗疹 二八
乾性加答兒 二四六
乾性胎漏 二八三
乾性穿刺 三七八
乾癬 三八四
鼾聲樣呼吸音 二六八
關節僂麻質斯 二九八
關節海綿腫 二二五
關節結核 一九七、三六八
關節彎曲 四三八
關節炎 四五三
遺傳黴毒關節炎 一六〇
黴毒性關節炎 一七一
肺炎菌性關節炎 一六〇
淋毒性關節炎 一六〇、三五七
單關節炎 一六〇
續發性慢性關節炎 一七〇
膿毒性關節炎 一六〇
結核性股關節炎 一六〇、三六八
原發性慢性關節炎 一七〇
急性多發性關節炎 一六三
カンフル 三九、一三七、一六二、一七七、三三九
カンフル油 四四三
灰白油 二七五
灰白軟膏 一七〇、二七四、二七五
加里石鹼 三〇九
加里石鹼ワセリン 三〇七
加糖炭酸鐵 二三三
可溶性銀 一七〇
滑石 二六九
過滿俺酸加里 三〇、三五七
過酸化水素 二〇、三六、三九、一〇四
肝油 二三五、二三七、二八七、二八八
甘汞 一三三、二七三、二七四、二七五、三九五

ヨ

ヨード療法 二六五
ヨードカリウム療法 三九九
豫防注射 一〇一
幼年性(フオクト氏)型 四三二
溶血現象 二六五、二六六、二六七
溶血式 三六六
腰椎穿刺 三七四、三七三、三七八、三八〇、三八三、三八三、三八四、三八五、三八六、三九一、三九二、三九三、三九五、三九六、三九七、三九八、四一三、四一七、四一九、

四四一、四四三
抑鬱狀態　四六
痔瘻　三三一、三三五
　蜂窩織炎性痔瘻　三〇六
　膿瘍性痔瘻　三〇六
痔瘻性小結節　三〇六、三〇七
腦性ツベルクリン反應　三三六、三三八
ヨード　三六、四二九
ヨードホルムゾセリン　三二九
ヨードナトリウム　三三一、三三六、三六
ヨードチンキ　三三五
ヨードフチルムコロイダウム　三三五
ヨードホルム綿栓　三三七
ヨード丁幾　三六一
ヨードソーダン　三五
沃度カリウム　三三六、三四五
沃度加里軟膏　一一三
沃度末　三六六
沃度錠　一三七、一三八、一三九、一四〇
ヨヒンビン　四二九

タ

大麻　三三五
大腸菌　一三一、一三六、一三七、一三八、一三九、一四四
大腸杆菌　三四四
大ヒステリア痙攣　四六〇
胎盤梅毒　一三一
胎兒窒息　一三四、一三五
膀胱結石　四一
胎生期膀胱炎　三六一
多發性腦脊髓炎　四一〇
多發性結節性硬化　一六一
多發性硬化　四〇八
多發神經炎　四一八、四二一
多發性皮膚壞疽　一六六
多發性腎臟炎　一一三
多尿　三六四
蛋白尿　四六、五〇、五八、七一、七〇、七一、一四一、一四二、一四四、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一一、三一二、三一三、三一四、三一五、三一六、三一七、三一八、三一九、三二〇、三二一、三二二、三二三、三二四、三二五、三二六、三二七、三二八、三二九、三三〇、三三一、三三二、三三三、三三四、三三五、三三六、三三七、三三八、三三九、三四〇、三四一、三四二、三四三、三四四、三四五、三四六、三四七、三四八、三四九、三五〇、三五一、三五二、三五三、三五四、三五五、三五六、三五七、三五八、三五九、三六〇、三六一、三六二、三六三、三六四、三六五、三六六、三六七、三六八、三六九、三七〇、三七一、三七二、三七三、三七四、三七五、三七六、三七七、三七八、三七九、三八〇、三八一、三八二、三八三、三八四、三八五、三八六、三八七、三八八、三八九、三九〇、三九一、三九二、三九三、三九四、三九五、三九六、三九七、三九八、三九九、四〇〇、四〇一、四〇二、四〇三、四〇四、四〇五、四〇六、四〇七、四〇八、四〇九、四一〇、四一一、四一二、四一三、四一四、四一五、四一六、四一七、四一八、四一九、四二〇、四二一、四二二、四二三、四二四、四二五、四二六、四二七、四二八、四二九、四三〇、四三一、四三二、四三三、四三四、四三五、四三六、四三七、四三八、四三九、四四〇、四四一、四四二、四四三、四四四、四四五、四四六、四四七、四四八、四四九、四五〇、四五一、四五二、四五三、四五四、四五五、四五六、四五七、四五八、四五九、四六〇、四六一、四六二、四六三、四六四、四六五、四六六、四六七、四六八、四六九、四七〇、四七一、四七二、四七三、四七四、四七五、四七六、四七七、四七八、四七九、四八〇、四八一、四八二、四八三、四八四、四八五、四八六、四八七、四八八、四八九、四九〇、四九一、四九二、四九三、四九四、四九五、四九六、四九七、四九八、四九九、五〇〇、五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、五〇六、五〇七、五〇八、五〇九、五一〇、五一一、五一二、五一三、五一四、五一五、五一六、五一七、五一八、五一九、五二〇、五二一、五二二、五二三、五二四、五二五、五二六、五二七、五二八、五二九、五三〇、五三一、五三二、五三三、五三四、五三五、五三六、五三七、五三八、五三九、五四〇、五四一、五四二、五四三、五四四、五四五、五四六、五四七、五四八、五四九、五五〇、五五一、五五二、五五三、五五四、五五五、五五六、五五七、五五八、五五九、五六〇、五六一、五六二、五六三、五六四、五六五、五六六、五六七、五六八、五六九、五七〇、五七一、五七二、五七三、五七四、五七五、五七六、五七七、五七八、五七九、五八〇、五八一、五八二、五八三、五八四、五八五、五八六、五八七、五八八、五八九、五九〇、五九一、五九二、五九三、五九四、五九五、五九六、五九七、五九八、五九九、六〇〇、六〇一、六〇二、六〇三、六〇四、六〇五、六〇六、六〇七、六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一二、六一三、六一四、六一五、六一六、六一七、六一八、六一九、六二〇、六二一、六二二、六二三、六二四、六二五、六二六、六二七、六二八、六二九、六三〇、六三一、六三二、六三三、六三四、六三五、六三六、六三七、六三八、六三九、六四〇、六四一、六四二、六四三、六四四、六四五、六四六、六四七、六四八、六四九、六五〇、六五一、六五二、六五三、六五四、六五五、六五六、六五七、六五八、六五九、六六〇、六六一、六六二、六六三、六六四、六六五、六六六、六六七、六六八、六六九、六七〇、六七一、六七二、六七三、六七四、六七五、六七六、六七七、六七八、六七九、六八〇、六八一、六八二、六八三、六八四、六八五、六八六、六八七、六八八、六八九、六九〇、六九一、六九二、六九三、六九四、六九五、六九六、六九七、六九八、六九九、七〇〇、七〇一、七〇二、七〇三、七〇四、七〇五、七〇六、七〇七、七〇八、七〇九、七一〇、七一一、七一二、七一三、七一四、七一五、七一六、七一七、七一八、七一九、七二〇、七二一、七二二、七二三、七二四、七二五、七二六、七二七、七二八、七二九、七三〇、七三一、七三二、七三三、七三四、七三五、七三六、七三七、七三八、七三九、七四〇、七四一、七四二、七四三、七四四、七四五、七四六、七四七、七四八、七四九、七五〇、七五一、七五二、七五三、七五四、七五五、七五六、七五七、七五八、七五九、七六〇、七六一、七六二、七六三、七六四、七六五、七六六、七六七、七六八、七六九、七七〇、七七一、七七二、七七三、七七四、七七五、七七六、七七七、七七八、七七九、七八〇、七八一、七八二、七八三、七八四、七八五、七八六、七八七、七八八、七八九、七九〇、七九一、七九二、七九三、七九四、七九五、七九六、七九七、七九八、七九九、八〇〇、八〇一、八〇二、八〇三、八〇四、八〇五、八〇六、八〇七、八〇八、八〇九、八一〇、八一一、八一二、八一三、八一四、八一五、八一六、八一七、八一八、八一九、八二〇、八二一、八二二、八二三、八二四、八二五、八二六、八二七、八二八、八二九、八三〇、八三一、八三二、八三三、八三四、八三五、八三六、八三七、八三八、八三九、八四〇、八四一、八四二、八四三、八四四、八四五、八四六、八四七、八四八、八四九、八五〇、八五一、八五二、八五三、八五四、八五五、八五六、八五七、八五八、八五九、八六〇、八六一、八六二、八六三、八六四、八六五、八六六、八六七、八六八、八六九、八七〇、八七一、八七二、八七三、八七四、八七五、八七六、八七七、八七八、八七九、八八〇、八八一、八八二、八八三、八八四、八八五、八八六、八八七、八八八、八八九、八九〇、八九一、八九二、八九三、八九四、八九五、八九六、八九七、八九八、八九九、九〇〇、九〇一、九〇二、九〇三、九〇四、九〇五、九〇六、九〇七、九〇八、九〇九、九一〇、九一一、九一二、九一三、九一四、九一五、九一六、九一七、九一八、九一九、九二〇、九二一、九二二、九二三、九二四、九二五、九二六、九二七、九二八、九二九、九三〇、九三一、九三二、九三三、九三四、九三五、九三六、九三七、九三八、九三九、九四〇、九四一、九四二、九四三、九四四、九四五、九四六、九四七、九四八、九四九、九五〇、九五一、九五二、九五三、九五四、九五五、九五六、九五七、九五八、九五九、九六〇、九六一、九六二、九六三、九六四、九六五、九六六、九六七、九六八、九六九、九七〇、九七一、九七二、九七三、九七四、九七五、九七六、九七七、九七八、九七九、九八〇、九八一、九八二、九八三、九八四、九八五、九八六、九八七、九八八、九八九、九九〇、九九一、九九二、九九三、九九四、九九五、九九六、九九七、九九八、九九九、一〇〇〇、一〇〇一、一〇〇二、一〇〇三、一〇〇四、一〇〇五、一〇〇六、一〇〇七、一〇〇八、一〇〇九、一〇一〇、一〇一一、一〇一二、一〇一三、一〇一四、一〇一五、一〇一六、一〇一七、一〇一八、一〇一九、一〇二〇、一〇二一、一〇二二、一〇二三、一〇二四、一〇二五、一〇二六、一〇二七、一〇二八、一〇二九、一〇三〇、一〇三一、一〇三二、一〇三三、一〇三四、一〇三五、一〇三六、一〇三七、一〇三八、一〇三九、一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇四三、一〇四四、一〇四五、一〇四六、一〇四七、一〇四八、一〇四九、一〇五〇、一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、一〇五五、一〇五六、一〇五七、一〇五八、一〇五九、一〇六〇、一〇六一、一〇六二、一〇六三、一〇六四、一〇六五、一〇六六、一〇六七、一〇六八、一〇六九、一〇七〇、一〇七一、一〇七二、一〇七三、一〇七四、一〇七五、一〇七六、一〇七七、一〇七八、一〇七九、一〇八〇、一〇八一、一〇八二、一〇八三、一〇八四、一〇八五、一〇八六、一〇八七、一〇八八、一〇八九、一〇九〇、一〇九一、一〇九二、一〇九三、一〇九四、一〇九五、一〇九六、一〇九七、一〇九八、一〇九九、一一〇〇、一一〇一、一一〇二、一一〇三、一一〇四、一一〇五、一一〇六、一一〇七、一一〇八、一一〇九、一一一〇、一一一一、一一一二、一一一三、一一一四、一一一五、一一一六、一一一七、一一一八、一一一九、一一二〇、一一二一、一一二二、一一二三、一一二四、一一二五、一一二六、一一二七、一一二八、一一二九、一一三〇、一一三一、一一三二、一一三三、一一三四、一一三五、一一三六、一一三七、一一三八、一一三九、一一四〇、一一四一、一一四二、一一四三、一一四四、一一四五、一一四六、一一四七、一一四八、一一四九、一一五〇、一一五一、一一五二、一一五三、一一五四、一一五五、一一五六、一一五七、一一五八、一一五九、一一六〇、一一六一、一一六二、一一六三、一一六四、一一六五、一一六六、一一六七、一一六八、一一六九、一一七〇、一一七一、一一七二、一一七三、一一七四、一一七五、一一七六、一一七七、一一七八、一一七九、一一八〇、一一八一、一一八二、一一八三、一一八四、一一八五、一一八六、一一八七、一一八八、一一八九、一一九〇、一一九一、一一九二、一一九三、一一九四、一一九五、一一九六、一一九七、一一九八、一一九九、一二〇〇、一二〇一、一二〇二、一二〇三、一二〇四、一二〇五、一二〇六、一二〇七、一二〇八、一二〇九、一二一〇、一二一一、一二一二、一二一三、一二一四、一二一五、一二一六、一二一七、一二一八、一二一九、一二二〇、一二二一、一二二二、一二二三、一二二四、一二二五、一二二六、一二二七、一二二八、一二二九、一二三〇、一二三一、一二三二、一二三三、一二三四、一二三五、一二三六、一二三七、一二三八、一二三九、一二四〇、一二四一、一二四二、一二四三、一二四四、一二四五、一二四六、一二四七、一二四八、一二四九、一二五〇、一二五一、一二五二、一二五三、一二五四、一二五五、一二五六、一二五七、一二五八、一二五九、一二六〇、一二六一、一二六二、一二六三、一二六四、一二六五、一二六六、一二六七、一二六八、一二六九、一二七〇、一二七一、一二七二、一二七三、一二七四、一二七五、一二七六、一二七七、一二七八、一二七九、一二八〇、一二八一、一二八二、一二八三、一二八四、一二八五、一二八六、一二八七、一二八八、一二八九、一二九〇、一二九一、一二九二、一二九三、一二九四、一二九五、一二九六、一二九七、一二九八、一二九九、一三〇〇、一三〇一、一三〇二、一三〇三、一三〇四、一三〇五、一三〇六、一三〇七、一三〇八、一三〇九、一三一〇、一三一一、一三一二、一三一三、一三一四、一三一五、一三一六、一三一七、一三一八、一三一九、一三二〇、一三二一、一三二二、一三二三、一三二四、一三二五、一三二六、一三二七、一三二八、一三二九、一三三〇、一三三一、一三三二、一三三三、一三三四、一三三五、一三三六、一三三七、一三三八、一三三九、一三四〇、一三四一、一三四二、一三四三、一三四四、一三四五、一三四六、一三四七、一三四八、一三四九、一三五〇、一三五一、一三五二、一三五三、一三五四、一三五五、一三五六、一三五七、一三五八、一三五九、一三六〇、一三六一、一三六二、一三六三、一三六四、一三六五、一三六六、一三六七、一三六八、一三六九、一三七〇、一三七一、一三七二、一三七三、一三七四、一三七五、一三七六、一三七七、一三七八、一三七九、一三八〇、一三八一、一三八二、一三八三、一三八四、一三八五、一三八六、一三八七、一三八八、一三八九、一三九〇、一三九一、一三九二、一三九三、一三九四、一三九五、一三九六、一三九七、一三九八、一三九九、一四〇〇、一四〇一、一四〇二、一四〇三、一四〇四、一四〇五、一四〇六、一四〇七、一四〇八、一四〇九、一四一〇、一四一一、一四一二、一四一三、一四一四、一四一五、一四一六、一四一七、一四一八、一四一九、一四二〇、一四二一、一四二二、一四二三、一四二四、一四二五、一四二六、一四二七、一四二八、一四二九、一四三〇、一四三一、一四三二、一四三三、一四三四、一四三五、一四三六、一四三七、一四三八、一四三九、一四四〇、一四四一、一四四二、一四四三、一四四四、一四四五、一四四六、一四四七、一四四八、一四四九、一四五〇、一四五一、一四五二、一四五三、一四五四、一四五五、一四五六、一四五七、一四五八、一四五九、一四六〇、一四六一、一四六二、一四六三、一四六四、一四六五、一四六六、一四六七、一四六八、一四六九、一四七〇、一四七一、一四七二、一四七三、一四七四、一四七五、一四七六、一四七七、一四七八、一四七九、一四八〇、一四八一、一四八二、一四八三、一四八四、一四八五、一四八六、一四八七、一四八八、一四八九、一四九〇、一四九一、一四九二、一四九三、一四九四、一四九五、一四九六、一四九七、一四九八、一四九九、一五〇〇、一五〇一、一五〇二、一五〇三、一五〇四、一五〇五、一五〇六、一五〇七、一五〇八、一五〇九、一五一〇、一五一一、一五一二、一五一三、一五一四、一五一五、一五一六、一五一七、一五一八、一五一九、一五二〇、一五二一、一五二二、一五二三、一五二四、一五二五、一五二六、一五二七、一五二八、一五二九、一五三〇、一五三一、一五三二、一五三三、一五三四、一五三五、一五三六、一五三七、一五三八、一五三九、一五四〇、一五四一、一五四二、一五四三、一五四四、一五四五、一五四六、一五四七、一五四八、一五四九、一五五〇、一五五一、一五五二、一五五三、一五五四、一五五五、一五五六、一五五七、一五五八、一五五九、一五六〇、一五六一、一五六二、一五六三、一五六四、一五六五、一五六六、一五六七、一五六八、一五六九、一五七〇、一五七一、一五七二、一五七三、一五七四、一五七五、一五七六、一五七七、一五七八、一五七九、一五八〇、一五八一、一五八二、一五八三、一五八四、一五八五、一五八六、一五八七、一五八八、一五八九、一五九〇、一五九一、一五九二、一五九三、一五九四、一五九五、一五九六、一五九七、一五九八、一五九九、一六〇〇、一六〇一、一六〇二、一六〇三、一六〇四、一六〇五、一六〇六、一六〇七、一六〇八、一六〇九、一六一〇、一六一一、一六一二、一六一三、一六一四、一六一五、一六一六、一六一七、一六一八、一六一九、一六二〇、一六二一、一六二二、一六二三、一六二四、一六二五、一六二六、一六二七、一六二八、一六二九、一六三〇、一六三一、一六三二、一六三三、一六三四、一六三五、一六三六、一六三七、一六三八、一六三九、一六四〇、一六四一、一六四二、一六四三、一六四四、一六四五、一六四六、一六四七、一六四八、一六四九、一六五〇、一六五一、一六五二、一六五三、一六五四、一六五五、一六五六、一六五七、一六五八、一六五九、一六六〇、一六六一、一六六二、一六六三、一六六四、一六六五、一六六六、一六六七、一六六八、一六六九、一六七〇、一六七一、一六七二、一六七三、一六七四、一六七五、一六七六、一六七七、一六七八、一六七九、一六八〇、一六八一、一六八二、一六八三、一六八四、一六八五、一六八六、一六八七、一六八八、一六八九、一六九〇、一六九一、一六九二、一六九三、一六九四、一六九五、一六九六、一六九七、一六九八、一六九九、一七〇〇、一七〇一、一七〇二、一七〇三、一七〇四、一七〇五、一七〇六、一七〇七、一七〇八、一七〇九、一七一〇、一七一一、一七一二、一七一三、一七一四、一七一五、一七一六、一七一七、一七一八、一七一九、一七二〇、一七二一、一七二二、一七二三、一七二四、一七二五、一七二六、一七二七、一七二八、一七二九、一七三〇、一七三一、一七三二、一七三三、一七三四、一七三五、一七三六、一七三七、一七三八、一七三九、一七四〇、一七四一、一七四二、一七四三、一七四四、一七四五、一七四六、一七四七、一七四八、一七四九、一七五〇、一七五一、一七五二、一七五三、一七五四、一七五五、一七五六、一七五七、一七五八、一七五九、一七六〇、一七六一、一七六二、一七六三、一七六四、一七六五、一七六六、一七六七、一七六八、一七六九、一七七〇、一七七一、一七七二、一七七三、一七七四、一七七五、一七七六、一七七七、一七七八、一七七九、一七八〇、一七八一、一七八二、一七八三、一七八四、一七八五、一七八六、一七八七、一七八八、一七八九、一七九〇、一七九一、一七九二、一七九三、一七九四、一七九五、一七九六、一七九七、一七九八、一七九九、一八〇〇、一八〇一、一八〇二、一八〇三、一八〇四、一八〇五、一八〇六、一八〇七、一八〇八、一八〇九、一八一〇、一八一一、一八一二、一八一三、一八一四、一八一五、一八一六、一八一七、一八一八、一八一九、一八二〇、一八二一、一八二二、一八二三、一八二四、一八二五、一八二六、一八二七、一八二八、一八二九、一八三〇、一八三一、一八三二、一八三三、一八三四、一八三五、一八三六、一八三七、一八三八、一八三九、一八四〇、一八四一、一八四二、一八四三、一八四四、一八四五、一八四六、一八四七、一八四八、一八四九、一八五〇、一八五一、一八五二、一八五三、一八五四、一八五五、一八五六、一八五七、一八五八、一八五九、一八六〇、一八六一、一八六二、一八六三、一八六四、一八六五、一八六六、一八六七、一八六八、一八六九、一八七〇、一八七一、一八七二、一八七三、一八七四、一八七五、一八七六、一八七七、一八七八、一八七九、一八八〇、一八八一、一八八二、一八八三、一八八四、一八八五、一八八六、一八八七、一八八八、一八八九、一八九〇、一八九一、一八九二、一八九三、一八九四、一八九五、一八九六、一八九七、一八九八、一八九九、一九〇〇、一九〇一、一九〇二、一九〇三、一九〇四、一九〇五、一九〇六、一九〇七、一九〇八、一九〇九、一九一〇、一九一一、一九一二、一九一三、一九一四、一九一五、一九一六、一九一七、一九一八、一九一九、一九二〇、一九二一、一九二二、一九二三、一九二四、一九二五、一九二六、一九二七、一九二八、一九二九、一九三〇、一九三一、一九三二、一九三三、一九三四、一九三五、一九三六、一九三七、一九三八、一九三九、一九四〇、一九四一、一九四二、一九四三、一九四四、一九四五、一九四六、一九四七、一九四八、一九四九、一九五〇、一九五一、一九五二、一九五三、一九五四、一九五五、一九五六、一九五七、一九五八、一九五九、一九六〇、一九六一、一九六二、一九六三、一九六四、一九六五、一九六六、一九六七、一九六八、一九六九、一九七〇、一九七一、一九七二、一九七三、一九七四、一九七五、一九七六、一九七七、一九七八、一九七九、一九八〇、一九八一、一九八二、一九八三、一九八四、一九八五、一九八六、一九八七、一九八八、一九八九、一九九〇、一九九一、一九九二、一九九三、一九九四、一九九五、一九九六、一九九七、一九九八、一九九九、二〇〇〇、二〇〇一、二〇〇二、二〇〇三、二〇〇四、二〇〇五、二〇〇六、二〇〇七、二〇〇八、二〇〇九、二〇一〇、二〇一一、二〇一二、二〇一三、二〇一四、二〇一五、二〇一六、二〇一七、二〇一八、二〇一九、二〇二〇、二〇二一、二〇二二、二〇二三、二〇二四、二〇二五、二〇二六、二〇二七、二〇二八、二〇二九、二〇三〇、二〇三一、二〇三二、二〇三三、二〇三四、二〇三五、二〇三六、二〇三七、二〇三八、二〇三九、二〇四〇、二〇四一、二〇四二、二〇四三、二〇四四、二〇四五、二〇四六、二〇四七、二〇四八、二〇四九、二〇五〇、二〇五一、二〇五二、二〇五三、二〇五四、二〇五五、二〇五六、二〇五七、二〇五八、二〇五九、二〇六〇、二〇六一、二〇六二、二〇六三、二〇六四、二〇六五、二〇六六、二〇六七、二〇六八、二〇六九、二〇七〇、二〇七一、二〇七二、二〇七三、二〇七四、二〇七五、二〇七六、二〇七七、二〇七八、二〇七九、二〇八〇、二〇八一、二〇八二、二〇八三、二〇八四、二〇八五、二〇八六、二〇八七、二〇八八、二〇八九、二〇九〇、二〇九一、二〇九二、二〇九三、二〇九四、二〇九五、二〇九六、二〇九七、二〇九八、二〇九九、二一〇〇、二一〇一、二一〇二、二一〇三、二一〇四、二一〇五、二一〇六、二一〇七、二一〇八、二一〇九、二一一〇、二一一一、二一一二、二一一三、二一一四、二一一五、二一一六、二一一七、二一一八、二一一九、二一二〇、二一二一、二一二二、二一二三、二一二四、二一二五、二一二六、二一二七、二一二八、二一二九、二一三〇、二一三一、二一三二、二一三三、二一三四、二一三五、二一三六、二一三七、二一三八、二一三九、二一四〇、二一四一、二一四二、二一四三、二一四四、二一四五、二一四六、二一四七、二一四八、二一四九、二一五〇、二一五一、二一五二、二一五三、二一五四、二一五五、二一五六、二一五七、二一五八、二一五九、二一六〇、二一六一、二一六二、二一六三、二一六四、二一六五、二一六六、二一六七、二一六八、二一六九、二一七〇、二一七一、二一七二、二一七三、二一七四、二一七五、二一七六、二一七七、二一七八、二一七九、二一八〇、二一八一、二一八二、二一八三、二一八四、二一八五、二一八六、二一八七、二一八八、二一八九、二一九〇、二一九一、二一九二、二一九三、二一九四、二一九五、二一九六、二一九七、二一九八、二一九九、二二〇〇、二二〇一、二二〇二、二二〇三、二二〇四、二二〇五、二二〇六、二二〇七、二二〇八、二二〇九、二二一〇、二二一一、二二一二、二二一三、二二一四、二二一五、二二一六、二二一七、二二一八、二二一九、二二二〇、二二二一、二二二二、二二二三、二二二四、二二二五、二二二六、二二二七、二二二八、二二二九、二二三〇、二二三一、二二三二、二二三三、二二三四、二二三五、二二三六、二二三七、二二三八、二二三九、二二四〇、二二四一、二二四二、二二四三、二二四四、二二四五、二二四六、二二四七、二二四八、二二四九、二二五〇、二二五一、二二五二、二二五三、二二五四、二二五五、二二五六、二二五七、二二五八、二二五九、二二六〇、二二六一、二二六二、二二六三、二二六四、二二六五、二二六六、二二六七、二二六八、二二六九、二二七〇、二二七一、二二七二、二二七三、二二七四、二二七五、二二七六、二二七七、二二七八、二二七九、二二八〇、二二八一、二二八二、二二八三、二二八四、二二八五、二二八六、二二八七、二二八八、二二八九、二二九〇、二二九一、二二九二、二二九三、二二九四、二二九五、二二九六、二二九七、二二九八、二二九九、二三〇〇、二三〇一、二三〇二、二三〇三、二三〇四、二三〇五、二三〇六、二三〇七、二三〇八、二三〇九、二三一〇、二三一一、二三一二、二三一三、二三一四、二三一五、二三一六、二三一七、二三一八、二三一九、二三二〇、二三二一、二三二二、二三二三、二三二四、二三二五、二三二六、二三二七、二三二八、二三二九、二三三〇、二三三一、二三三二、二三三三、二三三四、二三三五、二三三六、二三三七、二三三八、二三三九、二三四〇、二三四一、二三四二、二三四三、二三四四、二三四五、二三四六、二三四七、二三四八、二三四九、二三五〇、二三五一、二三五二、二三五三、二三五四、二三五五、二三五六、二三五七、二三五八、二三五九、二三六〇、二三六一、二三六二、二三六三、二三六四、二三六五、二三六六、二三六七、二三六八、二三六九、二三七〇、二三七一、二三七二、二三七三、二三七四、二三七五、二三七六、二三七七、二三七八、二三七九、二三八〇、二三八一、二三八二、二三八三、二三八四、二三八五、二三八六、二三八七、二三八八、二三八九、二三九〇、二三九一、二三九二、二三九三、二三九四、二三九五、二三九六、二三九七、二三九八、二三九九、二四〇〇、二四〇一、二四〇二、二四〇三、二四〇四、二四〇五、二四〇六、二四〇七、二四〇八、二四〇九、二四一〇、二四一一、二四一二、二四一三、二四一四、二四一五、二四一六、二四一七、二四一八、二四一九、二四二〇、二四二一、二四二二、二四二三、二四二四、二四二五、二四二六、二四二七、二四二八、二四二九、二四三〇、二四三一、二四三二、二四三三、二四三四、二四三五、二四三六、二四三七、二四三八、二四三九、二四四〇、二四四一、二四四二、二四四三、二四四四、二四四五、二四四六、二四四七、二四四八、二四四九、二四五〇、二四五一、二四五二、二四五三、二四五四、二四五五、二四五六、二四五七、二四五八、二四五九、二四六〇、二四六一、二四六二、二四六三、二四六四、二四六五、二四六六、二四六七、二四六八、二四六九、二四七〇、二四七一、二四七二、二四七三、二四七四、二四七五、二四七六、二四七七、二四七八、二四七九、二四八〇、二四八一、二四八二、二四八三、二四八四、二四八五、二四八六、二四八七、二四八八、二四八九、二四九〇、二四九一、二四九二、二四九三、二四九四、二四九五、二四九六、二四九七、二四九八、二四九九、二五〇〇、二五〇一、二五〇二、二五〇三、二五〇四、二五〇五、二五〇六、二五〇七、二五〇八、二五〇九、二五一〇、二五一一、二五一二、二五一三、二五一四、二五一五、二五一六、二五一七、二五一八、二五一九、二五二〇、二五二一、二五二二、二五二三、二五二四、二五二五、二五二六、二五二七、二五二八、二五二九、二五三〇、二五三一、二五三二、二五三三、二五三四、二五三五、二五三六、二五三七、二五三八、二五三九、二五四〇、二五四一、二五四二、二五四三、二五四四、二五四五、二五四六、二五四七、二五四八、二五四九、二五五〇、二五五一、二五五二、二五五三、二五五四、二五五五、二五五六、二五五七、二五五八、二五五九、二五六〇、二五六一、二五六二、二五六三、二五六四、二五六五、二五六六、二五六七、二五六八、二五六九、二五七〇、二五七一、二五七二、二五七三、二五七四、二五七五、二五七六、二五七七、二五七八、二五七九、二五八〇、二五八一、二五八二、二五八三、二五八四、二五八五、二五八六、二五八七、二五八八、二五八九、二五九〇、二五九一、二五九二、二五九三、二五九四、二五九五、二五九六、二五九七、二五九八、二五九九、二六〇〇、二六〇一、二六〇二、二六〇三、二六〇四、二六〇五、二六〇六、二六〇七、二六〇八、二六〇九、二六一〇、二六一一、二六一二、二六一三、二六一四、二六一五、二六一六、二六一七、二六一八、二六一九、二六二〇、二六二一、二六二二、二六二三、二六二四、二六二五、二六二六、二六二七、二六二八、二六二九、二六三〇、二六三一、二六三二、二六三三、二六三四、二六三五、二六三六、二六三七、二六三八、二六三九、二六四〇、二六四一、二六四二、二六四三、二六四四、二六四五、二六四六、二六四七、二六四八、二六四九、二六五〇、二六五一、二六五二、二六五三、二六五四、二六五五、二六五六、二六五七、二六五八、二六五九、二六六〇、二六六一、二六六二、二六六三、二六六四、二六六五、二六六六、二六六七、二六六八、二六六九、二六七〇、二六七一、二六七二、二六七三、二六七四、二六七五、二六七六、二六七七、二六七八、二六七九、二六八〇、二六八一、二六八二、二六八三、二六八四、二六八五、二六八六、二六八七、二六八八、二六八九、二六九〇、二六九一、二六九二、二六九三、二六九四、二六九五、二六九六、二六九七、二六九八、二六九九、二七〇〇、二七〇一、二七〇二、二七〇三、二七〇四、二七〇五、二七〇六、二七〇七、二七〇八、二七〇九、二七一〇、二七一一、二七一二、二七一三、二七一四、二七一五、二七一六、二七一七、二七一八、二七一九、二七二〇、二七二一、二七二二、二七二三、二七二四、二七二五、二七二六、二七二七、二七二八、二七二九、二七三〇、二七三一、二七三二、二七三三、二七三四、二七三五、二七三六、二七三七、二七三八、二七三九、二七四〇、二七四一、二七四二、二七四三、二七四四、二七四五、二七四六、二七四七、二七四八、二七四九、二七五〇、二七五一、二七五二、二七五三、二七五四、二七五五、二七五六、二七五七、二七五八、二七五九、二七六〇、二七六一、二七六二、二七六三、二七六四、二七六五、二七六六、二七六七、二七六八、二七六九、二七七〇、二七七一、二七七二、二七七三、二七七四、二七七五、二七七六、二七七七、二七七八、二七七九、二七八〇、二七八一、二七八二、二七八三、二七八四、二七八五、二七八六、二七八七、二七八八、二七八九、二七九〇、二七九一、二七九二、二七九三、二七九四、二七九五、二七九六、二七九七、二七九八、二七九九、二八〇〇、二八〇一、二八〇二、二八〇三、二八〇四、二八〇五、二八〇六、二八〇七、二八〇八、二八〇九、二八一〇、二八一一、二八一二、二八一三、二八一四、二八一五、二八一六、二八一七、二八一八、二八一九、二八二〇、二八二一、二八二二、二八二三、二八二四、二八二五、二八二六、二八二七、二八二八、二八二九、二八三〇、二八三一、二八三二、二八三三、二八三四、二八三五、二八三六、二八三七、二八三八、二八三九、二八四〇、二八四一、二八四二、二八四三、二八四四、二八四五、二八四六、二八四七、二八四八、二八四九、二八五〇、二八五一、二八五二、二八五三、二八五四、二八五五、二八五六、二八五七、二八五八、二八五九、二八六〇、二八六一、二八六二、二八六三、二八六四、二八六五、二八六六、二八六七、二八六八、二八六九、二八七〇、二八七一、二八七二、二八七三、二八七四、二八七五、二八七六、二八七七、二八七八、二八七九、二八八〇、二八八一、二八八二、二八八三、二八八四、二八八五、二八八六、二八八七、二八八八、二八八九、二八九〇、二八九一、二八九二、二八九三、二八九四、二八九五、二八九六、二八九七、二八九八、二八九九、二九〇〇、二九〇一、二九〇二、二九〇三、二九〇四、二九〇五、二九〇六、二九〇七、二九〇八、二九〇九、二九一〇、二九一一、二九一二、二九一三、二九一四、二九一五、二九一六、二九一七、二九一八、二九一九、二九二〇、二九二一、二九二二、二九二三、二九二四、二九二五、二九二六、二九二七、二九二八、二九二九、二九三〇、二九三一、二九三二、二九三三、二九三四、二九三五、二九三六、二九三七、二九三八、二九三九、二九四〇、二九四一、二九四二、二九四三、二九四四、二九四五、二九四六、二九四七、二九四八、二九四九、二九五〇、二九五一、二九五二、二九五三、二九五四、二九五五、二九五六、二九五七、二九五八、二九五九、二九六〇、二九六一、二九六二、二九六三、二九六四、二九六五、二九六六、二九六七、二九六八、二九六九、二九七〇、二九七一、二九七二、二九七三、二九七四、二九七五、二九七六、二九七七、二九七八、二九七九、二九八〇、二九八一、二九八二、二九八三、二九八四、二九八五、二九八六、二九八七、二九八八、二九八九、二九九〇、二九九一、二九九二、二九九三、二九九四、二九九五、二九九六、二九九七、二九九八、二九九九、三〇〇〇、三〇〇一、三〇〇二、三〇〇三、三〇〇四、三〇〇五、三〇〇六、三〇〇七、三〇〇八、三〇〇九、三〇一〇、三〇一一、三〇一二、三〇一三、三〇一四、三〇一五、三〇一六、三〇一七、三〇一八、三〇一九、三〇二〇、三〇二一、三〇二二、三〇二三、三〇二四、三〇二五、三〇二六、三〇二七、三〇二八、三〇二九、三〇三〇、三〇三一、三〇三二、三〇三三、三〇三四、三〇三五、三〇三六、三〇三七、三〇三八、三〇三九、三〇四〇、三〇四一、三〇四二、三〇四三、三〇四四、三〇四五、三〇四六、三〇四七、三〇四八、三〇四九、三〇五〇、三〇五一、三〇五二、三〇五三、三〇五四、三〇五五、三〇五六、三〇五七、三〇五八、三〇五九、三〇六〇、三〇六一、三〇六二、三〇六三、三〇六四、三〇六五、三〇六六、三〇六七、三〇六八、三〇六九、三〇七〇、三〇七一、三〇七二、三〇七三、三〇七四、三〇七五、三〇七六、三〇七七、三〇七八、三〇七九、三〇八〇、三〇八一、三〇八二、三〇八三、三〇八四、三〇八五、三〇八六、三〇八七、三〇八八、三〇八九、三〇九〇、三〇九一、三〇九二、三〇九三、三〇九四、三〇九五、三〇九六、三〇九七、三〇九八、三〇九九、三一〇〇、三一〇一、三一〇二、三一〇三、三一〇四、三一〇五、三一〇六、三一〇七、三一〇八、三一〇九、三一一〇、三一一一、三一一二、三一一三、三一一四、三一一五、三一一六、三一一七、三一一八、三一一九、三一二〇、三一二一、三一二二、三一二三、三一二四、三一二五、三一二六、三一二七、三一二八、三一二九、三一三〇、三一三一、三一三二、三一三三、三一三四、三一三五、三一三六、三一三七、三一三八、三一三九、三一四〇、三一四一、三一四二、三一四三、三一四四、三一四五、三一四六、三一四七、三一四八、三一四九、三一五〇、三一五一、三一五二、三一五三、三一五四、三一五五、三一五六、三一五七、三一五八、三一五九、三一六〇、三一六一、三一六二、三一六三、三一六四、三一六五、三一六六、三一六七、三一六八、三一六九、三一七〇、三一七一、三一七二、三一七三、三一七四、三一七五、三一七六、三一七七、三一七八、三一七九、三一八〇、三一八一、三一八二、三一八三、三一八四、三一八五、三一八六、三一八七、三一八八、三一八九、三一九〇、三一九一、三一九二、三一九三、三一九四、三一九五、三一九六、三一九七、三一九八、三一九九、三二〇〇、三二〇一、三二〇二、三二〇三、三二〇四、三二〇五、三二〇六、三二〇七、三二〇八、三二〇九、三二一

腦膜球菌　三七六、三七九、三八二、三八四、三八八、三九六
腦膜球菌腦膜炎　三七六
腦膜疾患　三六七
腦麻痺　四一七
腦結核　三三六
腦結核腫　三九七
腦血管栓塞　三九五
腦硬化　四一〇、四四一
腦炎　三七三
腦炎症　四四六
腦壓　三七〇、三七二、三八六
腦壓症候　三九八
腦局竈症候　三九五
腦畸形　四四一
腦出血　四四一、五〇七
腦疾患　五〇七
腦質炎　三九九、四六〇
腦室穿刺　三九三、三九七
腦腫瘍　三八八、三九一、三九二、三九五、三九七、三九八、三九九、四〇八
腦性兩癱　四〇五
腦性麻痺　四〇六、四〇八
腦性小兒麻痺　三九六、三九九、四〇六、四一七、四五七
腦性全身强直　四〇七
腦脊髓膜炎　三九三
流行性腦脊髓膜炎　三七六、四一七
腦脊髓液　三八三
腦水腫　三八一、三八七、三九一、四〇八、四四一、四六〇、五〇七
黴毒性腦水腫　三九一
腦水腫性喚叫　三七一
鬱積性腦水腫　三八八、三九三
佝僂病性腦水腫　三九二
慢性腦水腫　三八三、三八六、三八七、三九一、三九九
後天性腦水腫　二五八
腦髓炎　三九三、三九四
化膿性腦髓炎　三九六
續發性腦髓炎　三九三
原發性腦髓炎　三九四
局竈症狀腦髓炎　三九五、四〇〇、四〇一、四〇八
急性腦髓炎　三九三
急性出血性腦髓炎　三九五
出血性腦髓炎　三九三
膿漏眼　一六七、三七七
膿疱　二九二
膿疱性發疹　三六六
膿疱性出血性痘瘡　六〇
膿痂期　二七九、二九三
膿痂疹性結痂　二八四
膿毒性轉移　一七六
囊腫　四四六
膿疱疹　二一四
膿痂疹　二六四、二九二、三〇六、三〇八
續發性膿痂疹　二九二
原發性膿痂疹　二九二
傳染性膿痂疹　二九二、二九三
膿疱性發疹　二五四
能働的免疫　九八

ク

クリオン反應　二六七
クヂステック氏徵候　四三二、四四〇
グラム氏法　七三、一三八、一四六
グアルニーリ氏試驗法　五五
グアルニーリ氏小體　五五
クループ性上葉肺炎　三八〇
驅黴療法　二七〇、三四五、三九三
佝僂病　一六七、二五二、二八七、三〇三、三六五、三八八、三九三、四三五、四四四
空洞性疾患　一九六
空氣療法　二二七
空想的嘘言症　四六四
鉤足　四一六
癩風病　一三五
クロロフォルム　四四三
クロラール　四五八
グリコール酸ナトリウム法　三六七
クレオソート　二三五、二三七
クレオソタール　二三七
クレーデ氏軟膏　一七九
グアヤコール劑　二三五

ヤ

夜尿症　三六三、三六四
夜中舞蹈病　四五五
夜間頸首轉展　四六四
夜間驚怖　四六七
藥物疹　一七、三六

マ

末梢神經疾患　四三九
膜樣性鼻炎　八五
痲剌利亞　三三七
蔓延性皮膚病　一八八
慢性傳染病　一九三、二五九、四八四
慢性營養障碍　四四〇
慢性耳疾患　三九六
痲疹　一、三五、四〇、四六、四九、九〇、九七、一四三、一五三、一五四、一五六、一八四、一八九、二一三、二三三、二三三、二三七、二三一、三三七、三三一、三五八、三六八、三七七、三八三、四〇〇
敗血性痲疹　九
無熱性痲疹　一〇

丘疹性痲疹　一一
融合性痲疹　一一
小水疱性痲疹　一一
出血性痲疹　一〇
痲痺　九三、四三九
背筋痲痺　四一六
晩發痲痺　九三
偏癱性痲痺　四〇一
偏癱性腦性痲痺　四〇一
疼痛性腕痲痺　四三九
疼痛性痲痺　四三九
假性痲痺　二一七
脚氣痲痺　四一八
眼筋痲痺　九三、三七八
顏面神經痲痺　三九四、四〇三、四三九
早發痲痺　九三
不全痲痺　九三、三九四、四〇九
口蓋痲痺　九三
口蓋帆痲痺　九三、九七
急性萎縮性脊髓性痲痺　四一一
急性流行性小兒痲痺　四一一
舌咽性唇痲痺　四〇七
持續痲痺　四一五、四一七
實扶的里後痲痺　九三、九七、一〇〇、一〇四、四一八、四三一
實扶的里性痲痺　九三
小兒痲痺　三九四
小兒假延性髓性球痲痺　四〇七
小兒痙攣性脊髓痲痺　四〇六
脊髓性痲痺　四一七
脊髓性小兒痲痺　四〇七、四一一
痲痺狂　四三〇、四九七
痲痺性癡呆　二六〇
痲痺症候　三七一
慢性淋巴腺硬結　二一五
慢性關節僂痲質斯　一七〇
慢性腦內水腫　二五七
慢性ブライト氏病　三三〇
慢性腎臟炎　三三六
慢性滲出性腹膜炎　二二五

ケ

ケルニッヒ氏症候　一一三、一一九
繼發症　三三
痙攣發作　四〇六
痙攣咳　一五五
痙攣性素質　四四〇、四三二、四四二、四六五、四六八
痙攣性疾患　四四九
脛骨軟骨炎　二七四
頸椎僂痲質斯　一七〇
頸腺結核　三六八
經皮應用　二三四
血尿　三三四、三四五、三四四
血痂　三〇四
血管腫　三九七
血管神經病　三九八、三〇一、三〇三
血友病　三四四
血液除去　三九五
血色素尿　三四三、三四四
血清　八三、九九
血清反應　二六七
血清注射　九八
血清療法　四〇、六三、七五、七八、八三、九八、一三三
血清診斷法　一三九
血清病　八六、一〇三
血性傳染　三一五
結核　一三、一七二、一九三、三一七、三六六、三四四、三九八、四四〇
哺乳兒結核　二〇〇
續發性結核　一七一
喉頭結核　二一四
局所的結核　二一八
潛在性結核　三六八
結核病竈　二一九、三六七、三六八
原發性結核病竈　三三〇
結核性胎盤　一九四
結核性體質　二一一
結核性物質交換　三三三
結核菌　一九三、一九六、二〇六、二〇八、二一四、二一七、三三一、三二一、三四七、三八三
有毒性結核菌　一九三
結核性小兒　三六六
結核疹　三一九
丘疹鱗屑性結核疹　三一七
丘疹壞死性結核疹　三一八
小丘疹性結核疹　三一七
結核腫　三九八
結核性中毒疹　二〇四、二三五、三一一、三一九、三三〇
結核性僂痲質斯　一六七
結核性僂痲質斯樣症　一六七
結節性僂痲質斯　一六六
結核節　二二八
結膜反應　二二五
結膜炎　三〇、四七八
フリクテン性結膜炎　二〇九
結節性浸潤　三一四
結石　三四四、三四九
激怒痙攣　四六八
劇熱腦水腫　三九七
原發性落屑性紅皮症　二八三
原發性筋病　四二六
膠組織腫　三九七
言語緩徐　四〇八、四三三、四三九
言語蹇澁　四〇六
減鹽療法　三三三
限局性發疹　二五一、二五五
ゲラチン　一七七

ア

フィンゼン氏光線療法 三二九
プロフェール法 三三三
フリードライヒ氏失調症 四〇八
フリッチン 二〇四
ブリスニアック氏療法 六二一、二一〇
ブルッゲンスキー氏頭現象 三八、三四〇
フォエルステル氏手術 四〇九
フンケスチル氏血清 三六二
フンキシナー氏固 一三四
プラタアック注射器 三二九
フモルフィサム注射 三五五
腐敗狀態 二四四
舞踊病 一六、四五一、四六三
　半側舞踊病 四五八、四六七
　軟性舞踊病 四五五
　大舞踊病 四六〇
　小舞踊病 一六二、一六六
　ヒステリー性舞踊病 四六七
　老年性舞踊病 四五五
舞踊病樣症候 四六八
舞踊病性痙攣 四五五
葡萄狀菌糸 一二一、一二二、一二四、一二七、一二〇、一二六、一二七
風參 一六、一四一、一四二、一四〇、一四一、一一九
　局發性風參 四六
　現紅熱性風參 四五
風疹病 一一三
腹痛手吉 一二六、一四六、一四〇、一四四
腹膜副痛 六八
腹內發留 一二〇
腹水 一〇四
不定形菌 二四七
不在症 四四七
不自然的眼鏡 一六六
浮腫 一〇四、一一六、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一四
　丹毒後性浮腫 一二七
　腐汚性浮腫 一二七
　腎臟性浮腫 一〇四
　全身浮腫 一〇四
分娩假死 四〇〇
分娩前傳染 一四〇
分娩後傳染 一四一
分娩膿瘍 四一七
分娩時傳染 一四一
參考振動 四四一
フィンタルスタイン氏原汁 一六六
フローレ氏法 一六七、一六八
フロート氏丸 一四四
フロームヘル 一六六、一四六、一四〇、一四七
プロタルゴール 一二四、一二七
プロモフォルム 一六一

ヘ

ヘルフ氏現象 四三一、四四〇
ヘルフ氏徴候 一六六
ヘルギーテ 一二四
ヘルギーテー現象 一二三
ヘーリンゲル氏盤用法 四一一
ヘムポリー 四六
ヘクチーマ 一六七、四〇八
膜狀狀弗勞 四〇八、四三四
膜狀狀腔鼓 四〇七、四一七、四四〇
膜狀狀陰嚢 四〇六
發疹陰嚢 四〇一、四〇八、四一八、四四一
壞疽性紅斑口蓋炎 一四四
永久的心臟瓣膜陰嚢 四六六
衛生食物療法 一九
疫疫 一四四
疫病 一四四
蟯下潰瘍 一三一
蟯下回腸 四六六
圓盤塞作用 一六九
圓感塞 一六八
ヨカイン 一一〇
ヨフエイン 一一〇、一一六、一一七、一一八、一一九、一二一、一二六、一二七、一四一、一四九
ヨテイン 一一〇
ヨンヤユランゴー酒 一二四

ヒ、ヲ

ヒルフ氏徴候 一六六
ヒルギーテ 一二四
ヒルギーテー現象 一二三
ヒーリンゲル氏盤用法 四一一
ヒムポリー 四六
ヒクチーマ 一六七、四〇八
銀鹽弗勞 四〇八、四三四
銀鹽腔鼓 四〇七、四一七、四四〇
銀鹽陰嚢 四〇六
發疹陰嚢 四〇一、四〇八、四一八、四四一
壞疽性紅斑口蓋炎 一四四
永久的心臟瓣膜陰嚢 四六六
衛生食物療法 一九
疫疫 一四四
疫病 一四四
蟯下潰瘍 一三一
蟯下回腸 四六六
圓盤塞作用 一六九
圓感塞 一六八

ル

ルフ氏徴候 一六六
ルフ氏徴候 一六六
ルギーテ 一二四
ルギーテー現象 一二三
ルフ氏現象 四三一、四四〇

レ

レムポリー 四六
レクチーマ 一六七、四〇八
レンツ氏盤用法 四一一
レルヒテー現象 一二三
レルヒテー徴候 一六六
レルヒテー酒 一二四

ロ

ロンベルク及ボーメ法則 一二四
ロブリング氏症 一四六、一四七、一四八、一四九、一四一、一四四、一四六、一四四
ロンヤローム 一六一、一六二、一六三、一六四
　扁平コンヤローム 一六四、一六〇
　扁平粘膜コンヤローム 一六〇、一六一
格格布 九、一〇〇、一〇一、一〇六
　假性格格布 九
　嫌惡性格格布 一一
　實非性的眼性格格布 一一
　眞性格格布 九
格格布性型 九
　基效性表意 一一六
　基立結膜膿 一六八
　基非性膜結膜 一六一
　考慮質病腺狂 四六八
皮列剝 一六、一六一
呼息時無息 四四六
呼吸痙攣 四四、四六、四六八
呼吸器表意 四一一
呼吸障碍 四六一

骨結核 一六二
骨膜膿瘍 一六六、一七七
骨軟骨炎 一四六、一四六、一六六、一七七
　部發性骨軟骨炎 一四六、一四六、一六六
骨結核 一七、一〇七、一六八
骨膜膿瘍 一六二
骨炎性變化 一六八
膿瘍膿 一六二、一六六、一七一、一七六、一七七、一七八
　膿病性膿瘍 一一四
膿瘍膿性膿瘍 一六二
膿瘍膿形皆乳 一六二
膿瘍膿形皮 一七一
膿瘍膿結節 一六二、一六四
紅疹 一四四、一六六、一六七、一六八、一〇二
　中毒性紅疹 一一一、一一二
　流行性大紅疹 四六
　多形性紅疹 一一一、一一六
　多形性滲出性紅疹 四六、四七、四八、一六六、一六七、一六八
　疹 一四六
　疹 一四六
　紅斑狀紅疹 一一六
　結節性紅疹 一六六、一一六
　紅彩狀紅疹 一一六
　傳發性紅疹 一一、一四六、一四七、一〇〇
　小天測性紅疹 一一六
　環狀多樣紅疹 一〇二
　皮膚紅疹 一一一、一六六
紅面 六六、六七、九〇
抗圈酵性療法 一〇四

抗毒單位 一〇〇
抗毒素 二六六
抗毒性 九六
抗體 一〇四、一二六、一六六、一六七
抗菌素 一六六
抗酸性桿菌 一二六
抗菌性 九六
廣汎性細胞壞疽 一二四
廣汎性筋肉炎 一二七
度汎性脂肪 一二四
廣汎性皮膚病 一二四
喉頭痙攣 九
喉頭炎 一二六
構音不明 四二
構音障碍 四六
睾丸ノ位置異常 一六〇
睾丸停留 一六〇
睾丸炎 一一二
睾丸潛伏 四六
硬壞性肥大 一四四
硬化 四一〇
硬結 一二七
項部強直 一六、一二四、一二六、一二七、一六〇、一六一、一六六、一六七、一六八、一六九
口內炎 一二四
口蓋炎 一六、一二四、一二一
　微毒性口蓋炎 九

コルロイド水銀 一二四
コルタルゴール 一七、一二九
コンプリカ氏膠ツベルクリン 一二六
洪合傳染 一二四
洪合膿毒 一六一
個人的素因 一七、一六、一六八
股三角 一六
鼓膜穿開術 一〇六
椎骨狀狀層 八
甲狀腺狀表意 一一〇
好氣性乳酸菌 一二七
虹彩毛樣腺炎 一二〇
虹彩狀疣巻 一二九
虹彩炎 一六、一六八
後天的痙攣 四四〇
後弓反張 一二八
後索 一四、一六八
構音不明 四二
構音障碍 四六
睾丸ノ位置異常 一六〇
睾丸停留 一六〇
睾丸炎 一一二
睾丸潛伏 四六
硬壞性肥大 一四四
硬化 四一〇
硬結 一二七
項部強直 一六、一二四、一二六、一二七、一六〇、一六一、一六六、一六七、一六八、一六九
口內炎 一二四
口蓋炎 一六、一二四、一二一
　微毒性口蓋炎 九

定型的下疳　二七七
定型的前彎　三三七、三三八
定型的痤瘡結節　三二六
定型痘顆疱　一八八
轉移性血性自家傳染　三二四
轉向症　四八六
天疱瘡　五五、一五四、二五四、二七七
黴毒性天疱瘡　二四六、二四八、二五四
晩發性天疱瘡　二五四
初生兒天疱瘡　二四八、二八三、二九二、二九四、二九五
天然牛痘漿　六四
天然榮養　二三一
癲癇　三六六、四〇六、四〇七、四〇八、四一七、四三八、四四六、四六〇、五〇七
不全性癲癇　三六四
點頭癲癇　四四七
小兒癲癇　四四八
症候性癲癇　四四六
新陳代謝性癲癇　四五〇
眞性癲癇　四〇九、四四一、四四六、四五〇、四六八
前走癲癇　四四七
癲癇性朦朧狀態　四九一
癲癇發作　四〇四、四〇九
癲癇様發作　二六四、三九一
癲癇様痙攣　三七三
癲癇等價症　四四六、四四八
癲癇持續狀態　四四七、四五一
癲癇大發作　四四六
癲癇小發作　四四六、四四七
癲癇性疾患　三九五
點頭痙攣　四四四
電速性腦脊髓膜炎　三七九
傳染性眼炎　一八九
傳染性根基　三九六
傳染性疾患　三八三
傳染性皮膚病　一八九
傳染病的基礎　四〇〇
テゲミン　六五
デルマトール　三〇〇、三一九
泥膏　二八八、二九〇
鐵劑　三四三

ア

アテトージス　四〇四、四〇五、四〇七、四一七
半側アテトージス　四〇三
アテトージス様散開位置　四〇四
アレルギー　六九、二三〇、二三四
アネルギー　二三六
アルギー反應　二〇六
アメーバ　一三〇
アセトン尿　二六
アンチフォルミン法　二一七
アンギナ　四七八
惡液質　二九六、二九七
惡質性反應　六七、三三三
惡液質性幼兒　九七、一七八
惡質性潮紅　三三三
惡液質性結核性小兒　五四
惡布答性潰瘍　一一
淺川氏診斷液　一三三
暗示療法　三六六
鞍鼻　二四七
アトロピン　三六六
アリストセン　一五八
アルコール飲料　四一九
アネステジン　一三四
アミレンニトラート　四五八
アンチスパスミン　一五九
アンチピリン　一五八、一六九、三八三、三九六
アブロール　五〇一
アスピリン　三九、一四五、一六八、一七七、三〇〇
　三九六、四一九
阿片　一三四、一七三、四五一
安息香酸ナトリウム　二〇
安息香酸ナトリウムコフエイン　一二七
安息香酸水銀　二七五
亞鉛華　二八〇、二九〇、二九一
亞鉛華軟膏　二九〇
亞鉛華泥膏　二九五
亞砒酸加里液　二三三

サ

ザーリー氏法　二二七
再發作　一四九、一五三、一五六
細菌尿　三四八
細纖維性攣縮　四三五、四三六
截癱型　三九九
截癱的形式　四〇六
截腱術　四〇九
截癱性强直　四〇五、四〇六、四〇七
催進反應　六九、一〇三
最重症猩紅熱　一七
左右相稱的　四一八
醋酸體　三四一
刷出症　四六五
坐骨神經痛　四一八
酸性尿　三五一
酸性反應　三五〇
酸性下痢　三八三
三叉神經痛　四三〇
算數症　四七一
ザロール　一三六、一六九、三六五
サリピリン　一五九、一六九、三〇〇
サルチール酸　二六八、二九一、三一〇
サリチール酸ナトリウム　三九、三〇〇、
　四一九
サリチール酸曹達　一六八

サルヴアルサン　二七二、二七六、三九二、五〇一
醋　三一一
醋酸　三〇三、三一一
醋酸礬土　一〇五、三〇〇
醋酸カルシウム　四四三
撒酸石鹸硬膏　二九〇

キ

企動攣拘　四〇三
企動震顫　四〇三、四〇八
龜頭炎　三五八、三五九
龜頭包皮炎　三五八、三五九
起立性　三三五
起立性蛋白尿　三三三、三三五
起立性型　三三二、三四二
疑惑病　四七二
氣管枝呼吸音　二一三
氣管枝炎性雜音　二一六
氣管枝炎　一一〇、一一九、三七六
　結核性氣管枝炎　二〇三
氣管枝腺結核　一五五、二〇一、二〇三、二一二
氣管切開術　一〇五、一〇六、一〇九
氣管切開及插管法　八八
氣候療法　二二七
强迫放笑　四三六
强迫觀念　四七〇
强迫行爲　四七〇、四七二
强迫哄笑　四三九
强迫恐怖　四七〇、四七二
强迫狂　四七〇
强直性痙攣　三七八、四三一
　四三六、四三八、四三九、四四六
巨大白色腎　三三〇
極急性型　三七九
局處反應　二一九
局處性膀胱ノイローゼ　三六四
局竈症候　三九七、三九八
畸足　三五〇
畸形性關節炎　一七一
舊コッホ氏法　二二七
牛痘　六三、六四
牛痘苗　一八六
牛痘小體　五七
牛型　一九三
急癇　四四三
　輕症急癇　四三六
　後發急癇　四三八
テタニー様急癇　三八一
小兒急癇　四三四、四三五、四三六、四三七、四四一、
　四四二
スパスモフィール性小兒急癇　四四九
急癇性痙攣　三七五、三八九
急癇持續狀態　四三七、四四三
急性僂麻質斯　一四三
急性關節僂麻質斯　一六三、一七〇
急性內腦水腫　三六七
急性腦性震顫　四一〇
急性腦灰白質炎　四〇〇
急性限局性皮膚浮腫　三〇三
急性ブライト氏病　三三一
急性傳染　三三一
急性傳染病　一、一二四、一七八、二二三、三三一
急性傳染性加答兒　一三八
急性脊髓前角炎　三八二、三九四、四〇〇
急性觸接性傳染病　一三八
丘疹　三二一、三二三、三二四
丘疹性膿疱性熱　二五五
機能的變質徵候　三六五
機能的神經病　四八四
鏡様足蹠　二五三
逆屈膝　四一六
驚風　四六八
胸水　二三四
義膜　七三、七四、七七、七八、七九、八一、八二、八三、
　八四、八七、八八、八九、九〇、九三、九七、九八、一〇〇
稀有ナル占居　八九
記名症　四七一
器質的根基　四四一
器質的疾患　四八三
器質的腦疾患　四四六、四五七、五〇〇、五一〇
器質的神經疾患　三六七
筋肉萎縮　四三六、四三八、四三九
幼年性筋肉萎縮　四三六
幼兒性脊髓性進行性筋肉萎縮　二八三
進行性筋肉萎縮　四三六
進行性神經病性筋肉萎縮　四三五
青年性筋肉萎縮　四三七
筋肉ノ變性反應　四三五
筋肉攣縮　四三六
筋肉自家攣縮　四三三
筋病性顏面　四三三
緊張性强直　三七八
菌携帶者　一一四
キニン　三九六
ギームザ液　二四〇
舊ツベルクリン　二二三
規尼涅鹽類　一七七
規那　一三七、一四五、三四三
稀鹽酸　一三七

ユ

有痛性骨膜炎　一六七
有菌牛乳　一九五

メ

メニンギスムス　三八六
メタヘモクロビン　三四四
免疫單位　一〇〇

免疫血清 三六、三六
メソタン 一六、一七
メントール 二七
メントール脳 三〇一
メントール樟 三〇一

ミ

病舌 二
膵管膵結核 三七、三八

シ

志賀アールセ菌 一三
シュルチ氏法 一二
シュースストークス氏呼吸 三七
シュースストークス氏式 三七
脂漏性乳痂 二六一
自動的物質起 三六
自動的的鹽基 三七
自動的失血 二一
自家傳染 一六、二四
自己暗示性 四六
紫斑 一四、一六
紫斑病 一六
　淋菌性紫斑病 六〇、六一
杵頭歩 四三
治療血清 七、一三
四角形頭 三六

耳下腺炎 二〇
　流行性耳下腺炎 一〇六、一六、三七
　慢性性耳下腺炎 一一〇、一一三
　原發性特發性耳下腺炎 一一〇
　轉移性耳下腺炎 一一〇、一一三
持續的温浴 三〇九
持續的無尿症 三六
持續的潜伏 二四
虱 三一〇
膝蓋腱反射 四三、四四、四六、四七
膝關節炎 三六
膝出血性紫斑 一六、三四
出血性性 八
出血性性結核炎 三三
腸閉塞 三六
腸 一六、二三、二六、二七、二八、三六、三七、三八、三九、四〇、四六、三一〇
　膠質性慢性腸參 三〇
　膠質性乾性腸參 三〇
　腸參性腸參 三六
　皿腸性腸參 三三
　乾性腸參 三六
　膠質性小兒腸參 三五
　第一年目兒腸參 三六
　繼發性腸參 三一
　頭部腸參 二六、二五
　腸結參性腸參 二四

腱反射 四三、四四、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇
　腱結性腱參 二六、二七
　結結性腱參 二六
　浮腫性顔面腸參 二六
　廣汎性腸參 三七
　廣汎性脂腸性腸參 二六
　正參性腸參 二七
　急性腸參 一七
　脂腸性腸參 二〇、二三
　小兒腸參 二七、二六、二六
　腸性腸參 二六
　腸性結結性頭部腸參 二六
　腸病性腸參 二六、二四
腸寄死 二六
腸參性補乳兒 二三
失語症 二四、四〇
失節 二六、二七、四〇、四二、四三、四六
　痙攣性失節 四二、四三、四四
　動性的失節 四三、四四
失動症 四〇
顎門膨隆 二八
顎門陥凹 二六、二〇
顎門陥凹 二七、二〇
實其的里 一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇
　胃腸實其的里 九
　腸頭實其的里 一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇
　隆門實其的里 八、一〇五
　血性實其的里 八
　膠結實其的里 九、一〇
　原發性腸頭實其的里 八、九、一〇五
　原發性急腸實其的里 八
　原發性急腸實其的里 八、八、九、七
　腸局性實其的里 九、九、一〇〇
　腸頭實其的里 八、九、一〇五
　腸頭腸管及系管樣實其的里 八
　口腔腺性實其的里 一三
　口腔實其的里 八
　惡性實其的里 八
　類紅斑性實其的里 一四
　類紅斑性實其的里 一六、九、七
　重症實其的里 八〇
　耳實其的里 八、九、一〇五
　鼻正實其的里 一四
　鼻腔實其的里 八、八、九、一〇五
　膀胱性實其的里 九
　皮膚實其的里 九、一〇五
　實其的里雜素 九、九、一〇〇
　實其的里抗雜素 九
　實其的里對類 八
　實其的里血清 一六、一〇〇、一〇一
　實其的里血清療法 九
　實其的里菌 一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇

實質性角膜炎 一六、一八
膵骨炎 二七
色素斑 二六
重複染色法 二
重複球菌 二六
重症麻痺膜 一六、二六
酒血 二六
結膜 二一、二二、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇
手洗 一六、二
手歩者 四六
種痘 一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇
　廣汎性種痘 一六、二
種痘療法 一六、二〇、一六、一七、一八
種痘療法 一六、二
種痘療鋼鑷 一六、二
種痘療法 一六、二
種痘療式 一六、二
受種者 一七、二
膵臓位 一六、二
鷲爪手 一六、二
膵腫 一四、一六、二一、二六
　膠性膵腫 一六、二
酒精中毒 一四、二
培地骨前骨膜炎 二一、二
錯誤及歪 二六、二

腎盂膀胱炎　二四九
續發性腎盂膀胱炎　三五二
腎盂炎　二四八、三五一、三五二
腎炎　二七四
眞正腎炎　二七七
腎臟腫瘍　二六一
蕁麻疹　九〇、一四三、一五四、一七五、二九三、三〇〇、三〇三、三〇四、三〇五、三〇七、三〇八
白陶色蕁麻疹　三〇一
大水疱性蕁麻疹　三〇一
慢性蕁麻疹　三〇一
紅色蕁麻疹　三〇一
食餌性蕁麻疹　三〇一
出血性蕁麻疹　三〇一
持久性蕁麻疹　三〇一
全身性蕁麻疹　一〇二
蕁麻疹樣苔癬　三〇三、三〇五
蕁麻疹樣疾患　三〇〇
神經痛　四三〇
後頭神經痛　四三一
精神性神經病　四八四
神經刺戟症狀　三八二
神經系疾患　三六七
神經系統ノ內原的疾患　四三〇
神經病　三三六
神經病質　四六八
神經性體質　三六二
神經性素質　三六二、三六三
神經病質性體質　四四二、四七三
神經性障碍　三九五
神經症狀　三八一
神經衰弱　四七三
衂血　一六五
進行性麻痺　四三〇
呻吟性吸息　四四一
呻吟性呼吸　三七三、三七四
針刺反應　二一九
滲出性素質　一三九、二〇八、二六三、二八三、二八四、三一七
緘默症　四八〇
震顫　三七八、三八九、三九四、四二〇、四三九
浸漬腐敗　二四五
食鹽　二〇、三五三
昇汞　二七三、二七五、二七六、三五七、三九七
昇汞グリセリン　二七四
臭素劑　四〇九、四五八
脂肪性軟膏　二六八
重曹　二七三
硝酸銀　二〇、一三五、二七四、二九〇、三五三
次硝酸蒼鉛　一三六、一三四、一三五

ヒ

ヒベルネフローム　三六一
ピック、ヤゴゾーン氏法　三五五
ビール氏鬱血療法　一七〇、三五七、四八三
ビルケー氏皮膚反應　四四、一九六、三三五、三三四
ヒョレア　四〇五、四四〇、四〇七、四一七、四六〇
半側ヒョレア　四〇三
症候的ヒョレア　四五七
全身ヒョレア　四〇七
ヒョレア性運動　四五四
ヒステリー　一五六、四七〇、四八〇、四七七
外傷性ヒステリー　四七七
單症候的ヒステリー　四七七
ヒステリア特徵　四八一
ヒステリー療法　三六四
ヒステリア性嘔吐　四七九
鼻咽頭炎　四〇一
鼻咽腔腺增殖症　三六五
鼻加答兒　一九、九七、二四四、二七四、二七七
徵毒性鼻加答兒　二四六
乾性鼻加答兒　二四七
慢性鼻加答兒　四六七
鼻息　二六八
鼻腔狹窄音　二四六、二六七
肥胖療法　二三三
肥大性肝臟硬變症　二六三
被働的免疫　七四、一〇一
非働性免疫血清　三六六
表面性疾患　二八四
脾臟肥大　二四五
脾腫　一一八、一三〇、一三三、一三四、二四六、二四八、二四九、二六三、二六七
徵毒性脾腫　二四九
泌尿生殖器疾患　三三一
泌尿生殖器ノ腫瘍　三六一
百日咳　一四五、一八四、一八九、三三一、三三七、三六八、三六三、三九三、四〇〇
眞正百日咳　一四四
假性百日咳　一四〇、一四四
百日咳樣結核　三〇一
百日咳菌　一四六
皮下反應　三一九
皮下注射　三一八、三三七
表面素因　七四
皮疹　四一、一四三
皮膚反應　一九九、三三五
皮膚結核　三〇四、三二一、三三九、三四〇
眞正皮膚結核　三三二
皮膚粉刺　四五一
皮膚護謨腫　三六三
皮膚丘疹　三三五
皮膚疾患　三七六
皮膚出血　一五五、一七六
皮膚紋畫　三八〇
皮膚紋畫症　三六九、四六五、四七五
皮膚接種　三三四、三三七

皮膚腺病　三一四、三一九
病竈反應　三一九
病的尿意頻數　三五八
病的包莖　三六四
病的譫言症　四六四、四八一
貧尿　三七四
貧血　一九七、二〇〇、二五九、三〇三
貧血病　一九九
貧血性壞疽　二四四
貧血性小兒　一七九
鞏壁　四〇四
ヒッポール　三五三
ピック氏軟膏　二九〇
ヒラミトン　一二七、三八二
ビスミトーセ　一三四
白檀油　三七五
粃素　一七二、二八七、二八八、四五八
蓖麻子油　一三三、三〇三

モ

モーゼル氏猩紅熱血清　四〇、一〇三
盲　三八二
毛細氣管枝炎　一三、一四〇、一五三
毛囊疹　三一八
網膜出血　三六六
網膜炎　三五八、三三一
木爹兒　二八九、二九〇、三〇七、三〇九
モルフィン　一六二、三八二、四四五

セ

セクーセ　四四七
セールムグロブリン　三四二、四〇八
生理的落屑　二九五
精蟲傳染　二四一
精神的發育抑制　四六〇、五〇一
精神原的　四七〇
精神的變質　四六三、四六二
精神的等價症　四四八
精神的外傷　四七八
精神病的障碍　四六一
精神病質性體質　四六一、四六八、四七三、四七八
生活力萎弱症　二五〇
生來性筋無緊張症　四〇八、四一七
生來的精神薄弱　五〇一
生殖器發育遲鈍　三六八
生殖器硬結　二四一
生齒痙攣　四三八
靜脈鬱血　三三八
靜脈擴張　二五八
靜的失調　四二三
成骨細胞　二五六
喘鳴　二〇一
聲門痙攣　一五四、一六一、四三四、四三三、四三五、四三六、四三七、四四〇、四四一、四四二、四四三、四六八
重症聲門痙攣　四三五
輕症聲門痙攣　四三五
眞正聲門痙攣　四六九
聲門水腫　三〇五、三三八
癤　二九七
多發性癤　二九六
孤發性癤　二九六
舌繫帶潰瘍　一五〇、一五六
接種　一八八
切稱式　一八七
赤痢　一三〇、一五六、一八九、一九三
慢性赤痢　一三三
赤痢菌　一三〇、一五六
纖維素化膿性心囊炎　一七四
纖維性死產　二四四
脊柱强直　三七〇
脊髓癆　二六〇、四三〇
攣性脊髓癆　四〇六
小兒脊髓癆　二六五、四三六
脊髓炎　三六八、四一九、四三〇
壓迫脊髓炎　四三〇
急性灰白質脊髓炎　四三九
急性前灰白質脊髓炎　四一一
脊髓疾患　三六四、四一九
脊椎結核　四三〇
脊椎披裂症　二五〇
纖維性攣縮　四三八
腺窩性型　七九
腺結核　一九七、三一四
腺病　二〇七
腺病性苔癬　三一五、三一六、三一九
腺病性痤瘡　三一六
腺病性小兒　三三六
尖足　四一六
尖足位　四〇三
遲延性型　一一七
旋轉索動　四〇三
先天性黴毒　二三八、二四二、二四六、二五五、二六二、二六六、二七五、二八二、二九六、三三五、三四五、五一〇
先天性黴毒兒　二六八
先天性乳兒黴毒　二五四、二七七
先天性缺損　二八四
先天性股關節脫臼　四三八
先天性腎臟水腫　三六一
先天性腺增殖症　二六八
全身知覺脫失　四八一
全身「チック」病　四五七
全身攣性强直　四〇九
全身蔓延　二〇四
全身强直　四〇五
全眼炎　三八〇
穿顱術　三九七、四〇九、四五〇
穿刺反應　三一三

センナ茶　三九
石油　三一
石炭酸グリセリン　一〇五
石灰水　二五

ス

スパモフィルニア　四三四、四四〇
スパスモフィル素質　四三五、四三六、四四五
スパスモフィル的狀態　四三三、四三四
スパスモフィル性　四四一
スパスモフィル性根基　四四一
スパスモフィル性營養障碍　四四九
ストロフルス　三〇五、三〇六、三〇六
惡質性ストロフルス　三一七
小水疱性ストロフルス　三〇四
小出血性ストロフルス　三一七
ストロンフアンツス　四五一
スチル氏病　一四一
スクロフローゼ　二一〇
スピロヘーテ　二四〇、二四一、二四三、二四四、二四五、二四八、二五八、二六〇
スピロヘーテ、パリーダ　三九
水反應　三六七
水痘　四九、五〇、六二、二五四、二六六、一七八、一八九、二五七、二五八、二六一、三〇七
水痘疹　三四
水膿　三一
水腫無膿　三七
吹竊性　三三
睡遊狀態　四四八、四四九
催眠術　三六六
ストリセニン　一〇四、一一九
水蛭　二〇、三九五
水銀　三九
水銀レゾルビン　三九
水銀絵擦　三九六、三九八
水銀軟膏　三九三、三九五
水銀劑　三九三、三九四
水銀蒸氣吸入法　三九五

最新兒科學下卷索引終

大正三年六月十七日印刷
大正三年六月二十日發行

定價金參圓貳拾錢

著者　眞島隆輔
著者　樋口辰助

不許複製

最新兒科學下卷

發行兼印刷者　東京市本郷區龍岡町三十四番地　田中增藏
印刷所　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　杏林舍（電話下谷二七四五番）

發行所　東京市本郷區龍岡町三十四番地（振替貯金口座東京四百十八番）　吐鳳堂書店（電話下谷一六七二番　四〇七九番）

關西大賣捌所
大阪市南區心齋橋筋一丁目　松村九兵衛
大阪市東區心齋橋筋博勞町　丸善株式會社支社

弘通書林

東京市本郷區切通坂町　南江堂書店
同　同區春木町二丁目　牛田屋書店
同　同區切通坂町　金原商店
同　同區本富士町　克誠堂書店
同　神田區通新石町　朝香屋書店
同　本郷區春木町三丁目　南江堂支店
同　同區龍岡町　朝陽堂書店
同　同區本富士町　明文館書店
同　同區本富士町　文光堂書店
同　同　豐文堂書店
同　同區龍岡町　南山堂書店
同　同區龍岡町　根津書店
同　同區切通坂町　宮澤書店
名古屋市中區榮町　丸善書店
京都市寺町通二條下ル　若林茂一郎
京都市上京區寺町通御池南　南江堂支店
市都市三條通麩屋町　丸善株式會社支社
京都市河原町　大黑屋書舗
大阪市中ノ島玉江町　角屋書店
同山市內山下　渡邊泰山舍
熊本市新二丁目　長崎次郎
熊本市洗馬町　芹川廣喜
長崎市引地町　安中集榮堂
金澤市片町　宇都宮書店
仙臺市新傳馬町　金英堂書店
新潟市古町　萬松堂支店

ト工3T-82

各地醫學專門學校

教科及參考書

千葉醫學專門學校教授 井上良二 著	上	○	井上小內科新書	（講義筆記）	全四冊
同	上	○	井上內科斷	（定價壹八圓五拾錢）	全一冊
金澤醫學專門學校教授 村上玄水 著	上	○	診斷學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	新外科各論	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	新外科總論	（定價壹圓拾錢）	全一冊
醫學博士 小川鼎三 著	上	○	產科學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	新撰耳目科	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	眼科學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	近世外科學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	新撰藥治學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
醫學士 小金井良精 著	上	○	精神病學講義	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	藥治學講義	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	神經病學概機	（定價壹圓拾錢）	全一冊
大阪高等學校教諭 田中敬一 著	上	○	病理學總論	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	臨床病理學提綱	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	病理解剖學講義	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	醫化學及實習法	（定價壹圓拾錢）	全一冊
千葉醫學專門學校教授 鈴木良一 著	上	○	最新兒科學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
船橋市 三輪卓爾 著	上	○	胎生及組織學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
醫學博士 金子治郎 著	上	○	細胞學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
金澤醫學專門學校教授 五味渕三 著	上	○	人體解剖學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	局處解剖實習	（定價壹圓拾錢）	全一冊
石川醫學專門學校教授	上	○	人體解剖學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	新撰生理學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	近世病理學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
醫學士 大島良雄 著	上	○	名醫對照辭典	（定價壹圓拾錢）	全一冊
醫學士 大槻俊良 著	上	○	花柳病學	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	新語辭典	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	醫語字典	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	日獨羅語新照辭典	（定價壹圓拾錢）	全一冊
醫學士 大槻俊良 著	上	○	醫語字典	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	臨中藥譜	（定價壹圓拾錢）	全一冊
同	上	○	臨掌範	（定價壹圓拾錢）	全一冊

終